

平成29年度広域観光周遊ルート形成促進事業
「外国人観光客の動態調査（せとうち・海の道）」

調査結果報告書

目次

1. 調査概要

- (1) 調査目的、調査対象市場等 …… 4
- (2) 調査対象エリア …… 5
- (3) 調査フロー …… 6
- (4) 分析フロー …… 7
- (5) モバイル空間統計について …… 8
- (6) アンケート調査について …… 9

2. 瀬戸内全体の外国人観光客の動向

- (1) 瀬戸内全体の外国人来訪者数 …… 11
- (2) 瀬戸内エリアにおける宿泊日数 …… 14
- (3) 瀬戸内エリアにおける滞在時間 …… 15
- (4) 訪問目的・旅行形態・移動手段 …… 16
- (5) 観光消費額 …… 17

3. 外国人観光客の県別動向

- (1) 兵庫県 …… 19
- (2) 岡山県 …… 25
- (3) 広島県 …… 29
- (4) 山口県 …… 35
- (5) 徳島県 …… 41
- (6) 香川県 …… 47
- (7) 愛媛県 …… 51

4. 外国人観光客の国籍別動向

- (1) 韓国 …… 56
- (2) 台湾 …… 59
- (3) タイ …… 62
- (4) オーストラリア …… 65
- (5) アメリカ …… 68
- (6) フランス …… 71
- (7) イギリス …… 74
- (8) ドイツ …… 77
- (9) 興味あるテーマ（国別） …… 80

5. 打ち手の検討

- (1) 瀬戸内エリアへの来訪属性からみる課題と方向性 …… 82
- (2) 瀬戸内エリア周遊に向けた戦略の考え方 …… 83
- (3) 県別の来訪属性からみる周遊促進の方向性 …… 84
- (4) 国別の特性からみる周遊促進の方向性 …… 85

添付資料（データ集）

- (1) 外国人来訪者数分析
- (2) 入出国空港・港湾分析
- (3) 他都市訪問分析
- (4) 周遊ルート分析
- (5) 宿泊日数分析
- (6) 滞在時間分析
- (7) 外国人観光客アンケート調査結果

1. 調査概要

- (1) 調査目的、調査対象市場等
- (2) 調査対象エリア
- (3) 調査フロー
- (4) 分析フロー
- (5) モバイル空間統計について
- (6) アンケート調査について

(1) 調査目的、調査対象市場等

調査目的

現在、国では訪日外国人旅行者数2020年4,000万人、訪日外国人旅行消費額2020年8兆円等の新たな目標を掲げ、戦略的に取り組んでいるところであり、テーマ性・ストーリー性を持った魅力ある観光地域のネットワークを強化し、訪日外国人旅行者の滞在日数にあわせた広域観光周遊ルートの形成により、訪日外国人旅行者の周遊を促進し、もって地域の活性化を図ることとしている。

このためには、「せとうち・海の道」地域を中心とした外国人旅行者の実際の滞在時間や動線等のデータを正確に把握し、P D C Aサイクルを回していくことが重要と考えられる。

そこで、モバイル空間統計データ（携帯電話ローミングビッグデータ）等を活用して、外国人旅行者の動向を継続的に分析することで、瀬戸内エリア（「兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県」を指す。）および広域観光周遊ルート「せとうち・海の道」における1 1の広域観光拠点地区での今後の事業計画策定および効果検証等に活用することを目的としている。

調査対象市場

韓国、台湾、タイ、オーストラリア、アメリカ、フランス、イギリス、ドイツを重点対象とする。

調査対象期間

モバイル空間統計調査：平成28年6月～平成29年5月

アンケート調査：平成29年12月～平成30年2月

調査分析データソース

主にモバイル空間統計データ（携帯電話ローミングビッグデータ）を利用する。

(2) 調査対象エリア

調査対象エリア

区分	対象エリア
瀬戸内全体（7県エリア）	兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県

区分	対象エリア（29市町）
神戸地区	神戸市
姫路地区	姫路市
岡山・倉敷地区	岡山市・倉敷市・備前市
瀬戸内しまなみ海道地区	尾道市・福山市・竹原市・今治市
広島・宮島・岩国地区	広島市・廿日市市・岩国市
山口・萩地区	山口市・萩市
下関地区	下関市
徳島・鳴門・淡路島地区	徳島市・鳴門市・淡路島市・洲本市・南あわじ市
大歩危・祖谷地区	三好市
高松・直島・琴平・小豆島地区	高松市・直島町・琴平町・小豆島町・土庄町
松山・内子地区	松山市・大洲市・内子町

(3) 調査フロー

外国来訪者 動向分析

1. 瀬戸内全体（7県）及び11拠点地区における外国人来訪者の動向分析

モバイル空間統計（携帯ローミングデータ）を用いた、瀬戸内エリアにおける外国人来訪者の動向分析を実施します。

- ・外国人来訪者数分析
- ・外国人来訪者周遊ルート分析
- ・宿泊日数・滞在時間分析

要因分析

2. 瀬戸内エリアを訪れた外国人観光客へのアンケート調査によるデータ収集・分析

打ち手の検討を行うための基礎データ取得を目的として、外国人観光客の来訪理由、6つのテーマ〔クルーズ／サイクリング／アート／食／宿／地域産品〕に関する嗜好や経験（体験）、瀬戸内エリア内で人気の観光施設等について、アンケート調査を実施します。

体系化した打 ち手の検討

3. 外国人観光客の瀬戸内エリア周遊に向けた打ち手の検討

統計的精度の高い携帯ローミングデータによる動向分析と外国人旅行者へのアンケート調査から瀬戸内エリアの周遊状況及び課題を浮き彫りにして、瀬戸内全体（7県）及び11拠点地区における事業計画等に反映可能な打ち手の提案を実施します。

(4) 分析フロー

モバイル空間統計

瀬戸内全体

・外国人来訪者数分析

・宿泊日数分析

・滞在時間分析

7県別

・外国人来訪者数分析

・入出国空港・港湾分析

・他都市訪問分析

・宿泊日数分析

11拠点地区別

・外国人来訪者数分析

・入出国空港・港湾分析

・他地域メッシ訪問分析

・地域内周遊ルート分析

・宿泊日数分析

・滞在時間分析

添付資料

→(1)

→(2)

→(3)

→(4)

→(5)

→(6)

アンケート調査

添付資料(7)

- ・属性
- ・来日回数
- ・旅行形態
- ・来訪目的
- ・情報入手・予約手法
- ・訪問先、移動手段
- ・嗜好や経験
- ・人気の観光施設

2. 瀬戸内全体の
外国人観光客の動向3. 外国人観光客の
県別動向4. 外国人観光客の国籍別動向
(韓国、台湾、タイ、オーストラリア、アメリカ、フランス、イギリス、ドイツ)

5. 打ち手の検討

(5) モバイル空間統計について

モバイル空間統計とは

本事業での外国人来訪者動向分析には、主にモバイル空間統計で取得するビックデータを活用します。

モバイル空間統計は、携帯電話ローミングデータから基地局エリア毎に所在する携帯電話台数を集計し、入国管理データと照らし合わせて推計します。サンプル数は、約500万人/年間（平成28年実績）を母数としており、観光ビックデータとして統計精度の高いデータを算出することができます。但し、ログデータ僅少の場合は、秘匿処理を行うためデータ取得できない場合があります。

調査仕様について

● 調査エリア・サンプル数

項目	内容
調査エリア（7県）	兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県
調査エリア（11拠点地区）	神戸地区、姫路地区、岡山・倉敷地区、瀬戸内しまなみ海道地区、広島地区・宮島・岩国地区、山口・萩地区、下関地区、徳島・鳴門・淡路島地区、大歩危・祖谷地区、高松・直島・琴平・小豆島地区、松山・内子地区
サンプル数（瀬戸内7県）	約63万サンプル（平成28年サンプル数約500万人/年間に対し、平成28年瀬戸内7県年間外国人訪問者数の全国構成比12.6%（※）を係数として推定しています。） ※RESAS（外国人訪問分析）【出典】観光庁「訪日外国人消費動向調査」、日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」より算出

● データ抽出条件

取得データ	対象サンプル数	調査期間	調査エリア	ログデータ取得条件
外国人来訪者数データ	約63万	平成28年6月～ 平成29年5月	瀬戸内7県	対象エリアに2時間以上滞在
			11拠点地区	対象エリアに2時間以上滞在
入出国空港データ			瀬戸内7県	ローミング開始／終了
			11拠点地区	ローミング開始／終了
他都市訪問データ			瀬戸内7県	対象エリア2時間以上滞在
			11拠点地区	対象エリア1時間以上滞在
直前直後滞在データ（周遊ルート）			11拠点地区	対象エリア1時間以上滞在
宿泊日数データ			瀬戸内7県	対象エリアに2時台～4時台に2時間以上滞在
			11拠点地区	対象エリアに2時台～4時台に2時間以上滞在
滞在時間データ			11拠点地区	対象エリアに2時間～7時間滞在 ※各時間の00分～59分の滞在

(6) アンケート調査について

実施概要

瀬戸内エリアおよび11拠点地区における事業計画等に反映可能な打ち手の検討を行うための基礎資料を得ることを目的として、外国人観光客の来訪理由、消費額、6つのテーマ〔クルーズ／サイクリング／アート／食／宿／地域産品〕に関する嗜好や経験（体験）、瀬戸内エリア内で人気の観光施設等について、アンケート調査により把握した。

調査日・サンプル数

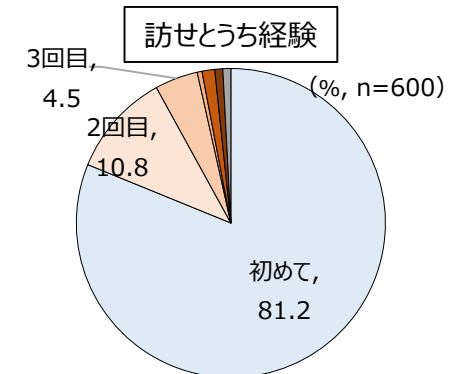
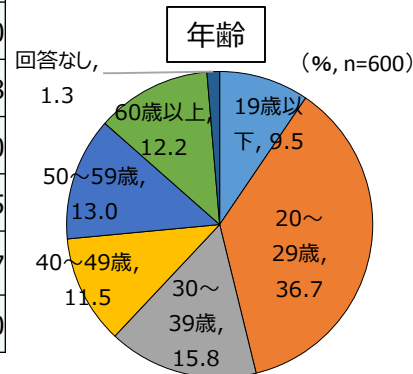
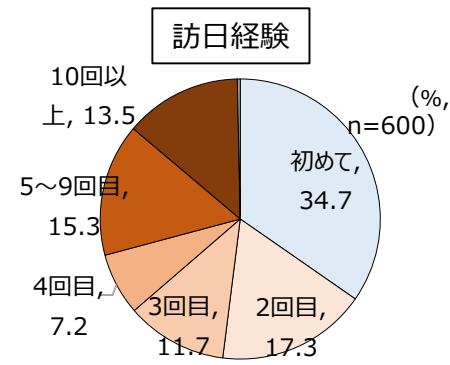
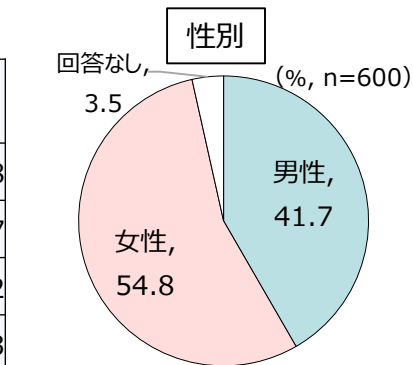
調査実施時期は2017年12月～2018年2月であり、各県2～3日間ずつ、合計600サンプルを取得した（以下表の通り）。調査人員は調査箇所ごとに英語、中国語、韓国語での会話が可能な3名体制で実施した。対象国は、韓国、台湾、タイ、オーストラリア、アメリカ、フランス、イギリス、ドイツの8カ国としたが、実施場所での来訪が多かった香港を参考数値として加えて集計した。サンプル属性は、女性、若年層、訪日リピーター層が若干多く、瀬戸内エリアには初訪問というサンプルが多かった。

●調査場所・サンプル数

実施日	実施場所	サンプル数
2017/12/21 (木)	岡山県 倉敷美観地区	17
2017/12/23 (土)	岡山県 倉敷美観地区	34
2018/ 1/ 9 (火)	山口県 唐戸市場	12
2018/ 1/12 (金)	愛媛県 道後温泉	23
2018/ 1/13 (土)	愛媛県 道後温泉	30
2018/ 1/16 (火)	岡山県 岡山後楽園	25
2018/ 1/17 (水)	広島県 平和記念資料館	54
2018/ 1/19 (金)	香川県 直島	39
2018/ 1/20 (土)	香川県 直島	28
2018/ 1/21 (日)	徳島県 阿波おどり会館	75
2018/ 1/22 (月)	徳島県 阿波おどり会館	7
2018/ 1/24 (水)	香川県 栗林公園	12
2018/ 1/25 (木)	兵庫県 JR三宮駅	23
2018/ 1/26 (金)	兵庫県 姫路城	83
2018/ 1/27 (土)	兵庫県 姫路城	59
2018/ 1/28 (日)	山口県 唐戸市場	6
2018/ 1/31 (水)	広島県 宮島	52
2018/ 2/ 3 (土)	広島県 宮島	21
合計		600

●国別サンプル数

対象国	サンプル数	割合
韓国	143	23.8
台湾	148	24.7
タイ	7	1.2
オーストラリア	104	17.3
アメリカ	60	10.0
フランス	17	2.8
イギリス	42	7.0
ドイツ	9	1.5
(参考値) 香港	70	11.7
合計	600	100.0



2. 瀬戸内全体の外国人観光客の動向

- (1) 瀬戸内全体の外国人来訪者数
- (2) 瀬戸内エリアにおける宿泊日数
- (3) 瀬戸内エリアにおける滞在時間
- (4) 訪問目的・旅行形態・移動手段
- (5) 観光消費額

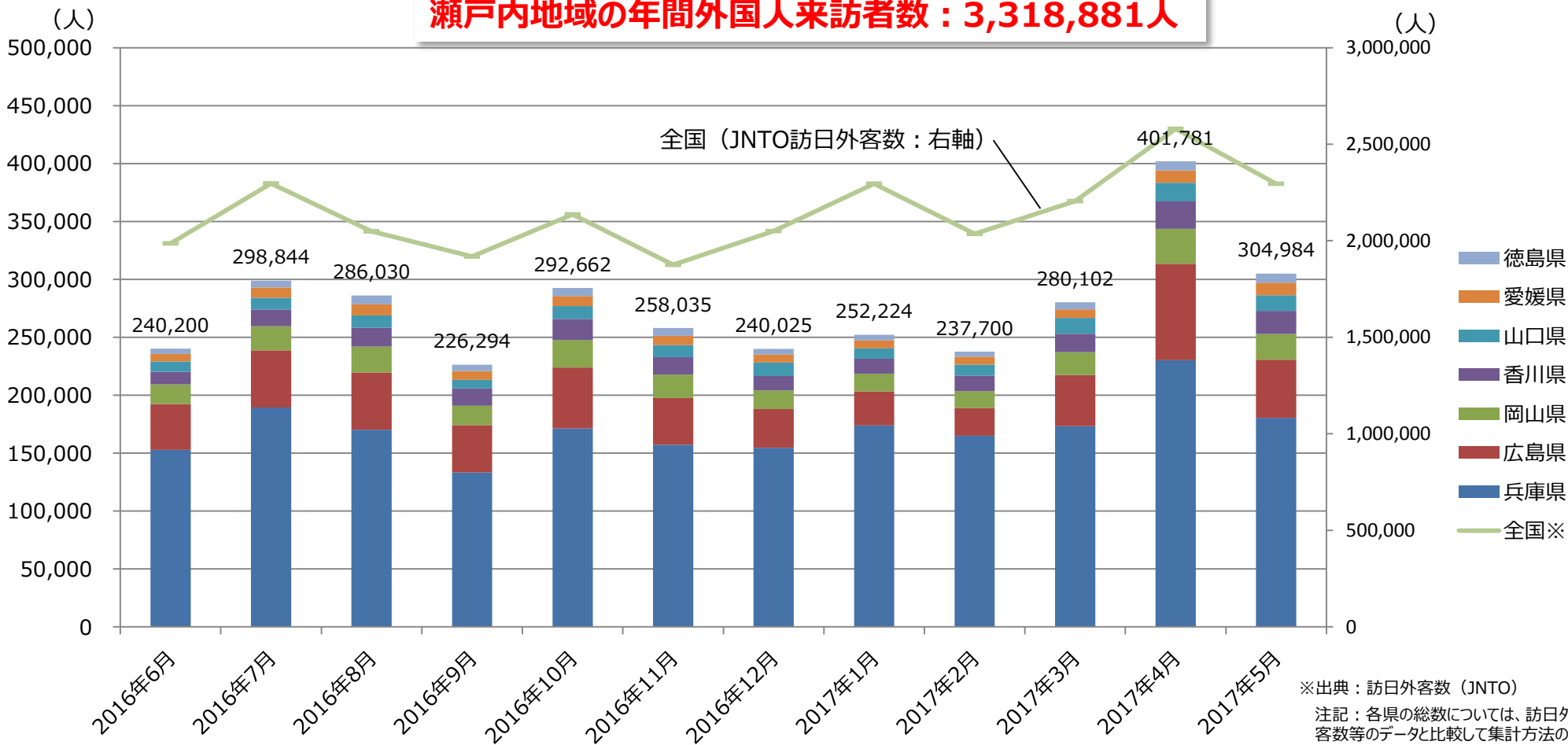
(1) 瀬戸内全体の外国人来訪者数（総数・月別推移）

瀬戸内エリアにおける年間来訪者数は、331.9万人。季節毎では、春（3月-5月）シーズンが最も多く、98.7万人となっている。JNTO（日本政府観光局）の訪日外客数データの推移と同じトレンドではあるが、冬（12月-2月）シーズンにおいては大幅な増加が見られておらず、全国のトレンドとは若干異なる傾向が見られる点に留意が必要である。

月間来訪者数分析（累計）

図表 2.1.1 瀬戸内全体の外国人来訪者数の推移

瀬戸内地域の年間外国人来訪者数：3,318,881人



※出典：訪日外客数（JNTO）

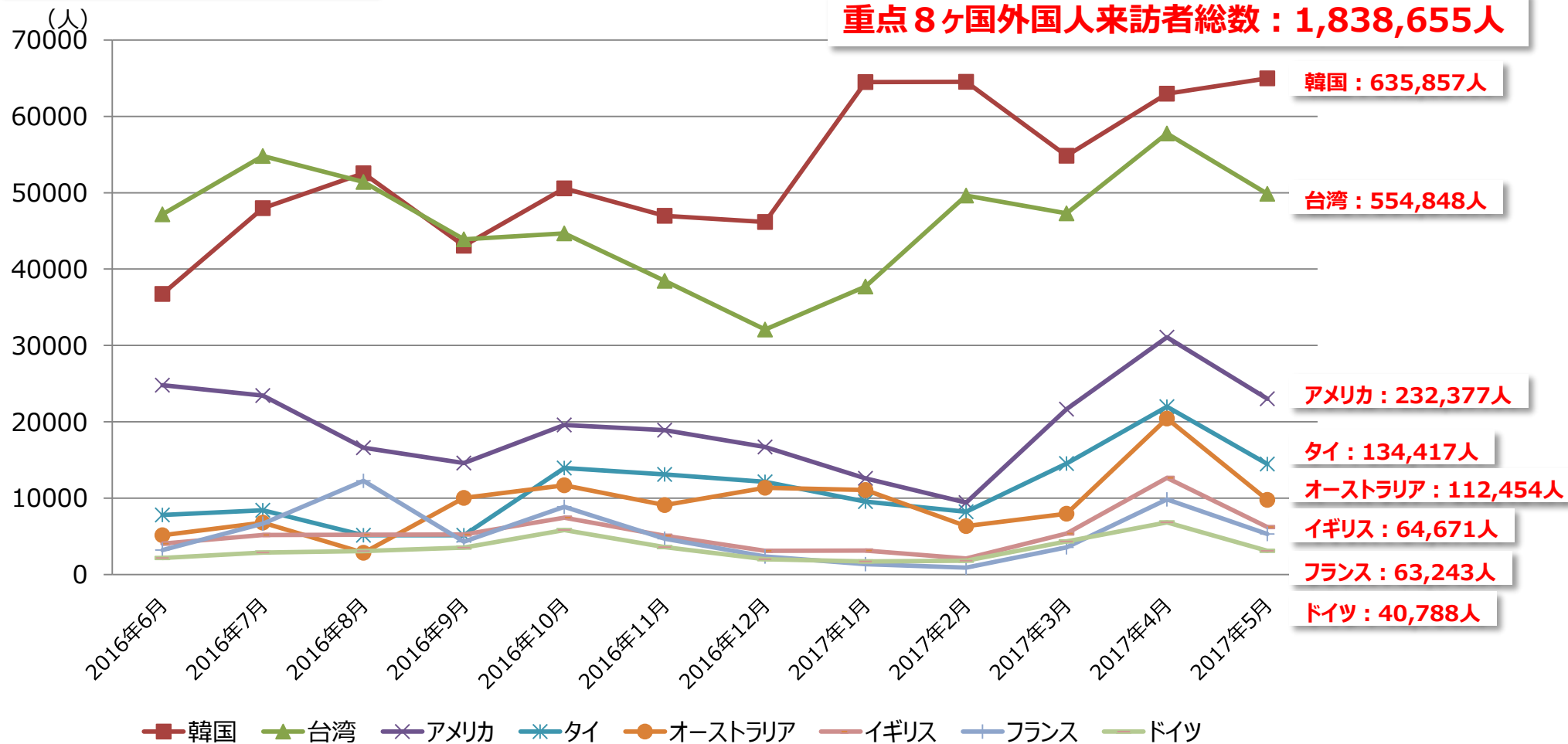
注記：各県の総数については、訪日外客数等のデータと比較して集計方法の違いから差異がみられるため留意が必要。

(1) 瀬戸内全体の外国人来訪者数 (重点8ヶ国)

瀬戸内エリアにおける重点8ヶ国の年間来訪者数は、183.9万人。季節毎では、春（3月-5月）シーズンが最も多く、56.0万人となっている。国籍別では、韓国が最も多く、63.6万人、台湾 55.5万人、アメリカ 23.2万人、タイ 13.4万人、オーストラリア 11.2万人、イギリス 6.5万人、フランス6.3万人、ドイツ 4.1万人の順となっている。

月間来訪者数分析 (累計)

図表 2.1.2 瀬戸内全体の国籍別外国人来訪者数の推移

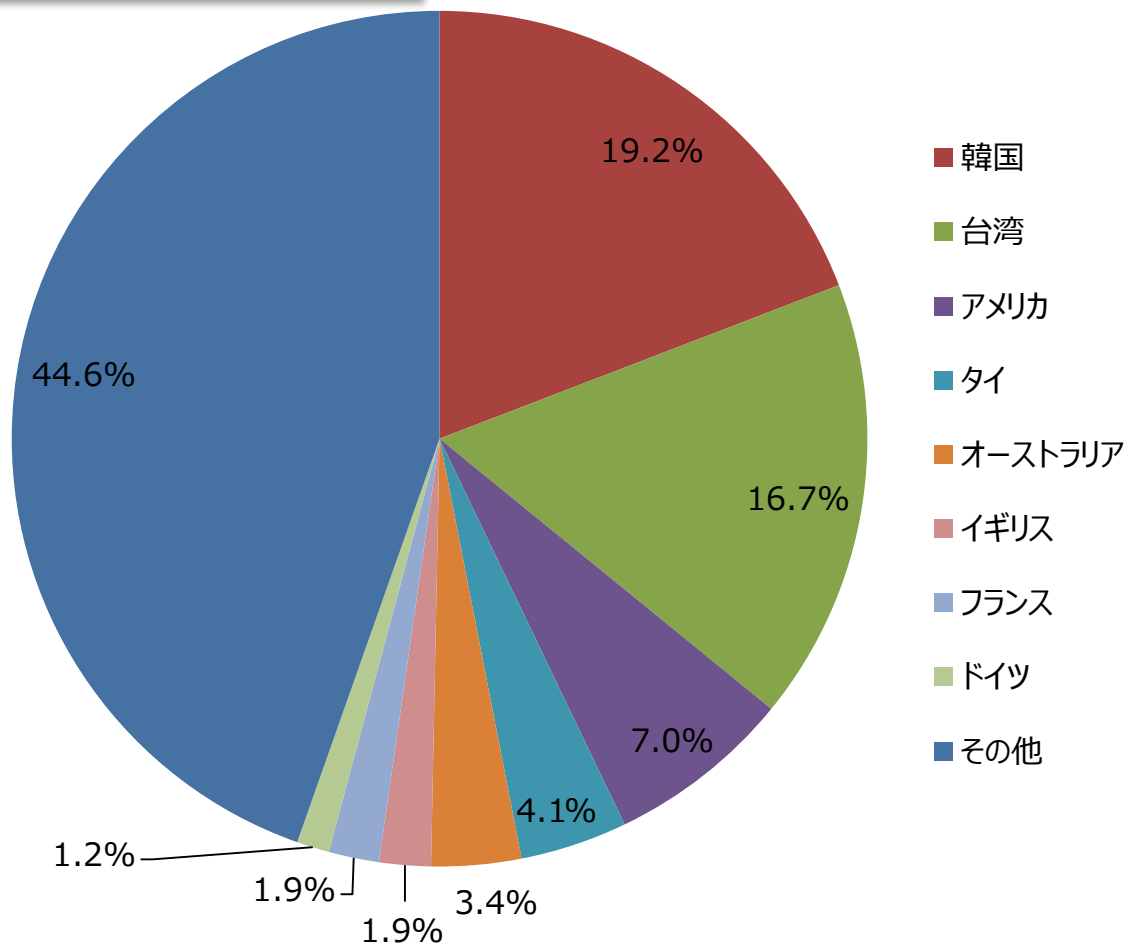


(1) 瀬戸内全体の外国人来訪者数（国籍別構成比）

瀬戸内エリアにおける重点8ヶ国の来訪者構成比は、55.4%となっている。国籍別では、韓国が最も多く、19.2%、台湾 16.7%、アメリカ 7.0%の順となっている。重点8ヶ国以外では、中国 16.7%、香港 11.8%となっている。

年間来訪者数分析（累計）

図表 2.1.3 瀬戸内全体の外国人来訪者数の国籍別構成比



順位	国籍	来訪者数（人）	割合
1	韓国	635,857	19.2%
2	台湾	554,848	16.7%
3	アメリカ	232,377	7.0%
4	タイ	134,417	4.1%
5	オーストラリア	112,454	3.4%
6	イギリス	64,671	1.9%
7	フランス	63,243	1.9%
8	ドイツ	40,788	1.2%
	その他	1,480,226	44.6%
	合計	3,318,881	100.0%

注記：国籍別構成比については、観光庁等のデータと比較して集計方法の違いから差異がみられるため留意が必要。

(2) 瀬戸内エリアにおける宿泊日数

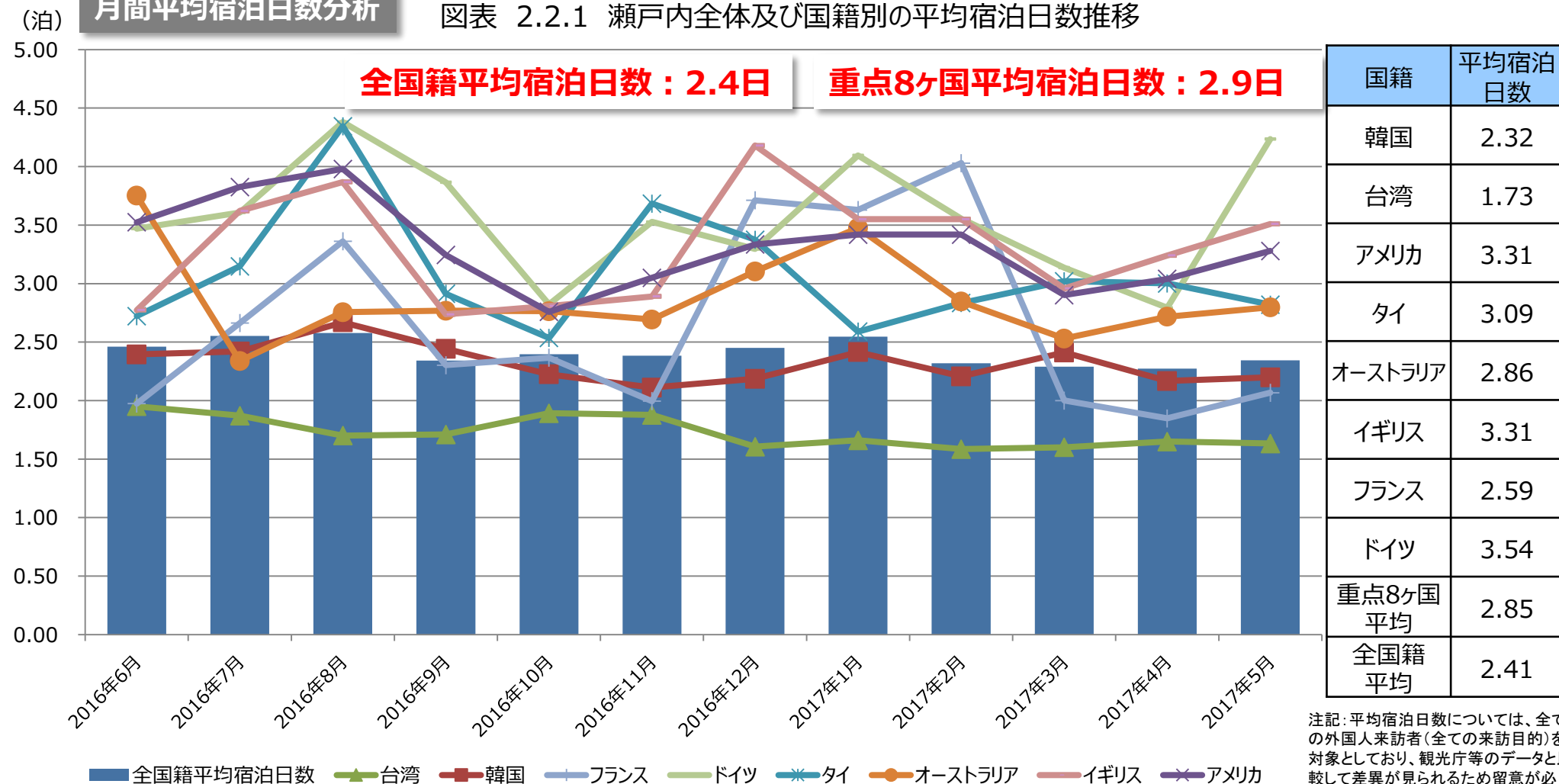
瀬戸内エリアに宿泊（2～4時台に2時間以上滞在）した外国人訪問者の平均宿泊日数は2.4日、重点8ヶ国の平均宿泊日数は2.9日（平均宿泊日数：最多=ドイツ_3.5日、最少=台湾_1.7日）。台湾、韓国は短く、タイや欧米は3～4日と若干長い宿泊日数となっている。春季・秋季よりも夏季・冬季の方が若干長い傾向が見られる。

月間平均宿泊日数分析

図表 2.2.1 瀬戸内全体及び国籍別の平均宿泊日数推移

全国籍平均宿泊日数：2.4日

重点8ヶ国平均宿泊日数：2.9日



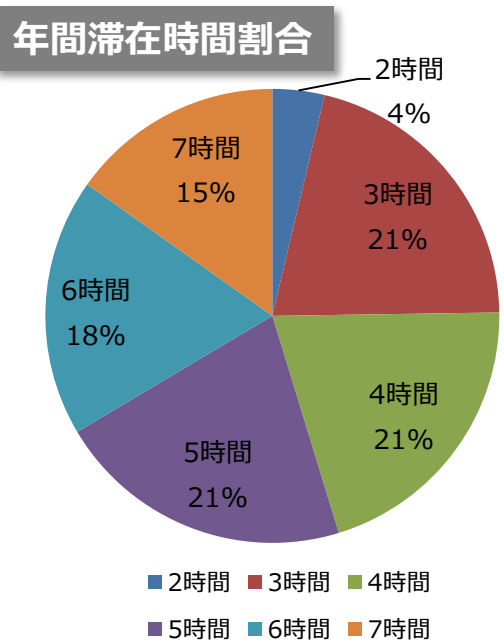
注記：平均宿泊日数については、全ての外国人来訪者（全ての来訪目的）を対象としており、観光庁等のデータと比較して差異が見られるため留意が必要。

(3) 瀬戸内エリアにおける滞在時間

瀬戸内エリアにおける8時間未満の滞在時間（主に日帰り観光客）を見ると、3～5時間台がそれぞれ21%ずつとなっており、全体の6割超を占めている。

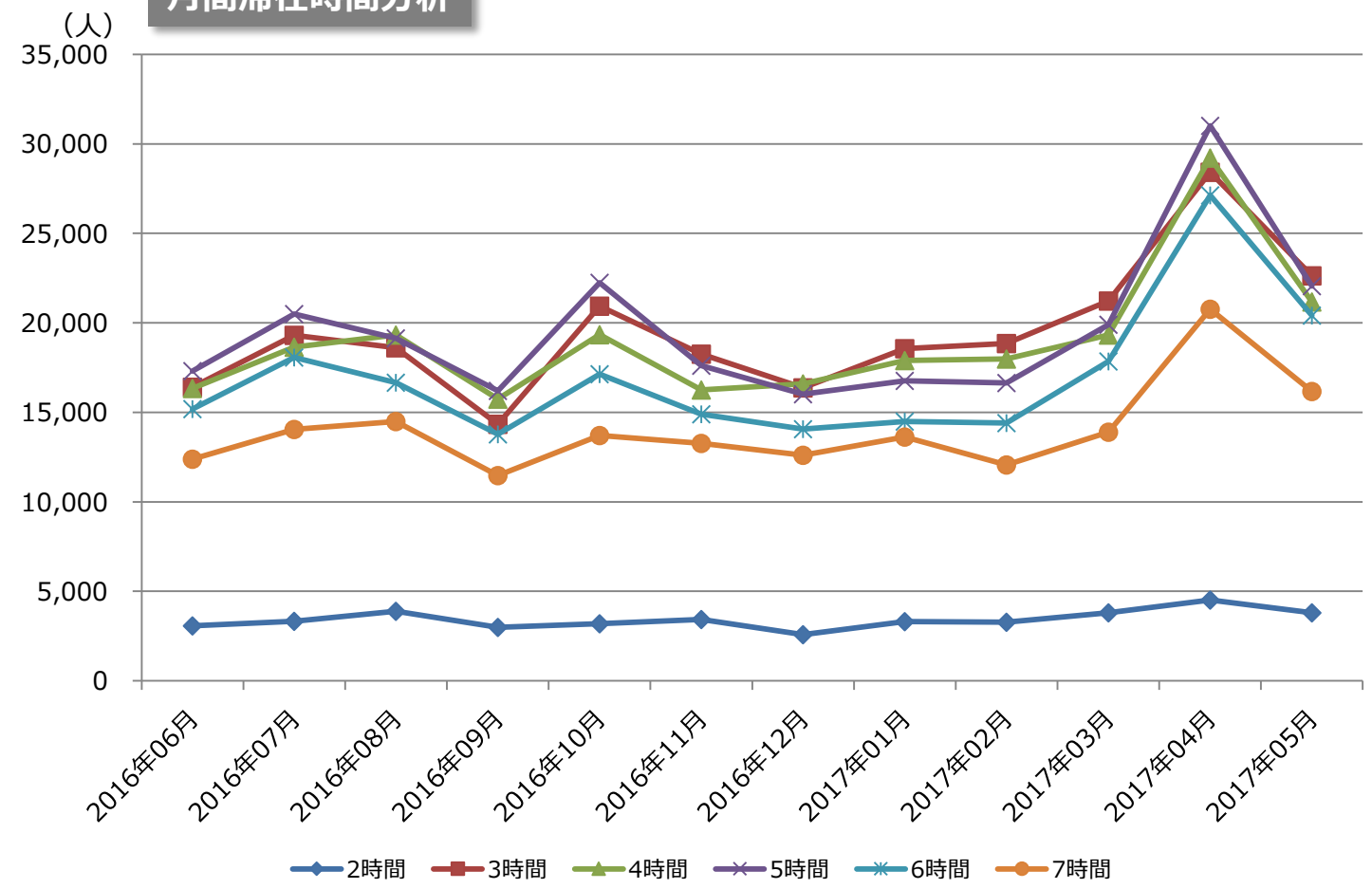
図表 2.3.1 瀬戸内全体の滞在時間構成比

図表 2.3.2 瀬戸内全体の滞在時間別推移



滞在時間	人数
2時間	41,163...人
3時間	233,891...人
4時間	227,826...人
5時間	235,339...人
6時間	204,804...人
7時間	168,461...人

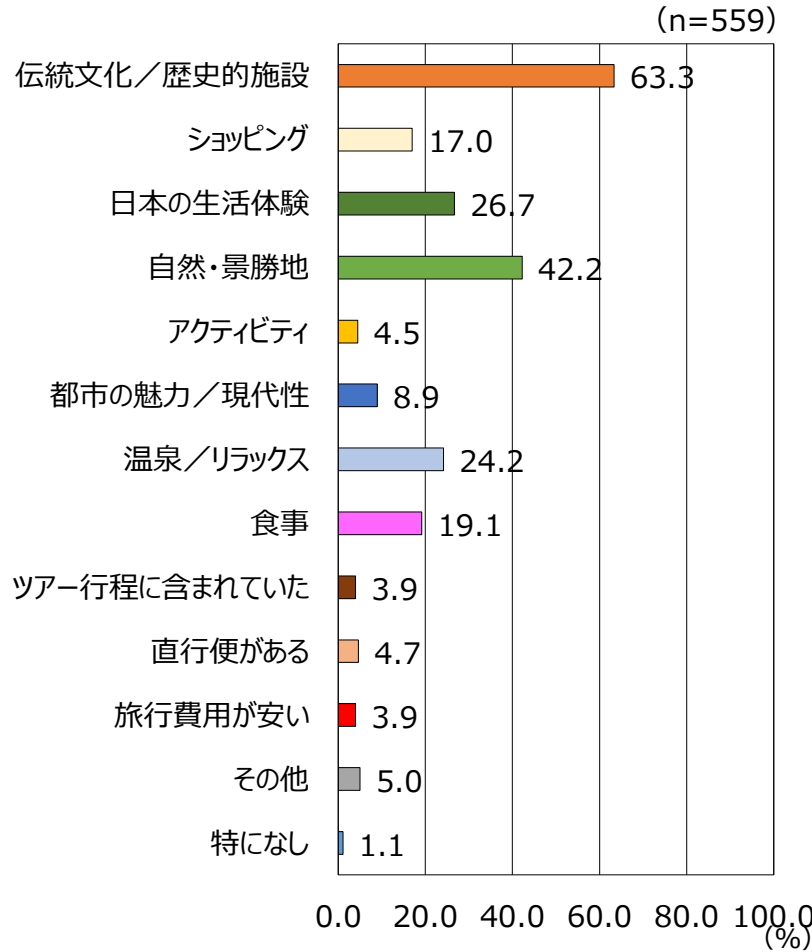
月間滞在時間分析



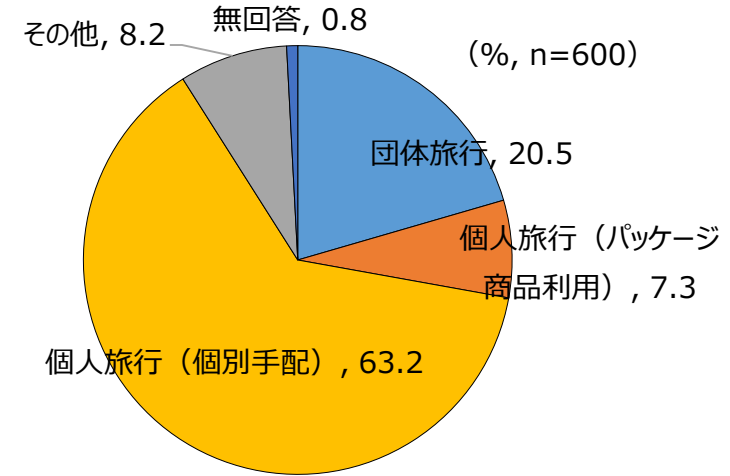
(4) 訪問目的・旅行形態・移動手段

アンケート調査によると、瀬戸内エリア訪問の目的は「伝統文化／歴史的施設」が6割超と最も多く、ついで「自然・景勝地」となっている。旅行形態は個人旅行がパッケージ商品利用を含め7割となっている。国内移動手段は新幹線や鉄道・電車等の軌道系が多いほか、船・フェリーの利用も約3割あった。

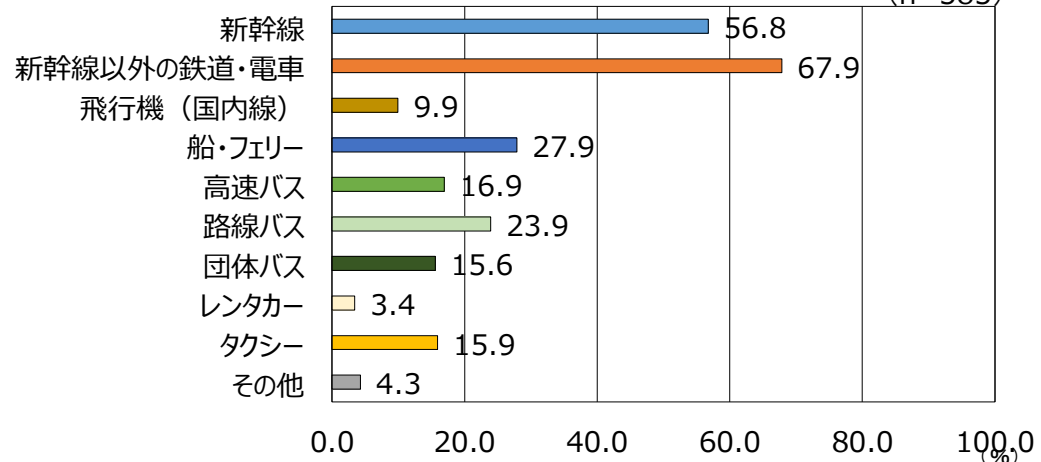
図表 2.4.1 瀬戸内エリアを訪れた目的



図表 2.4.2 旅行形態



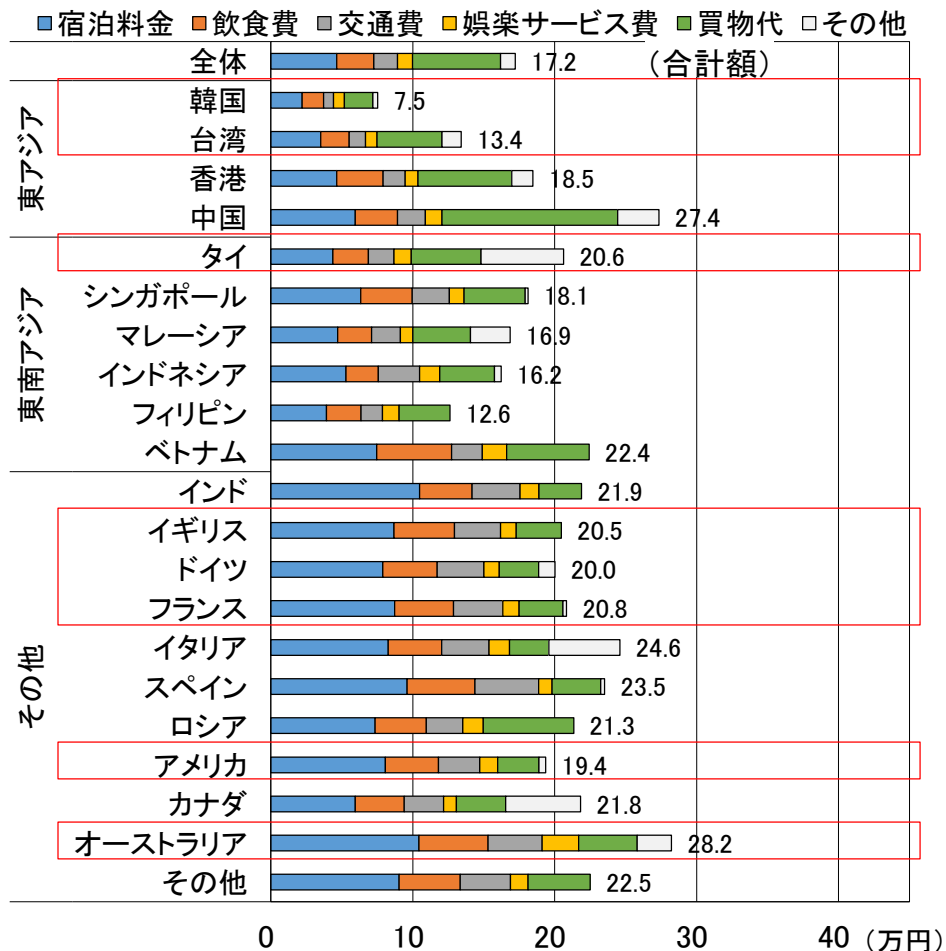
図表 2.4.3 国内移動交通手段



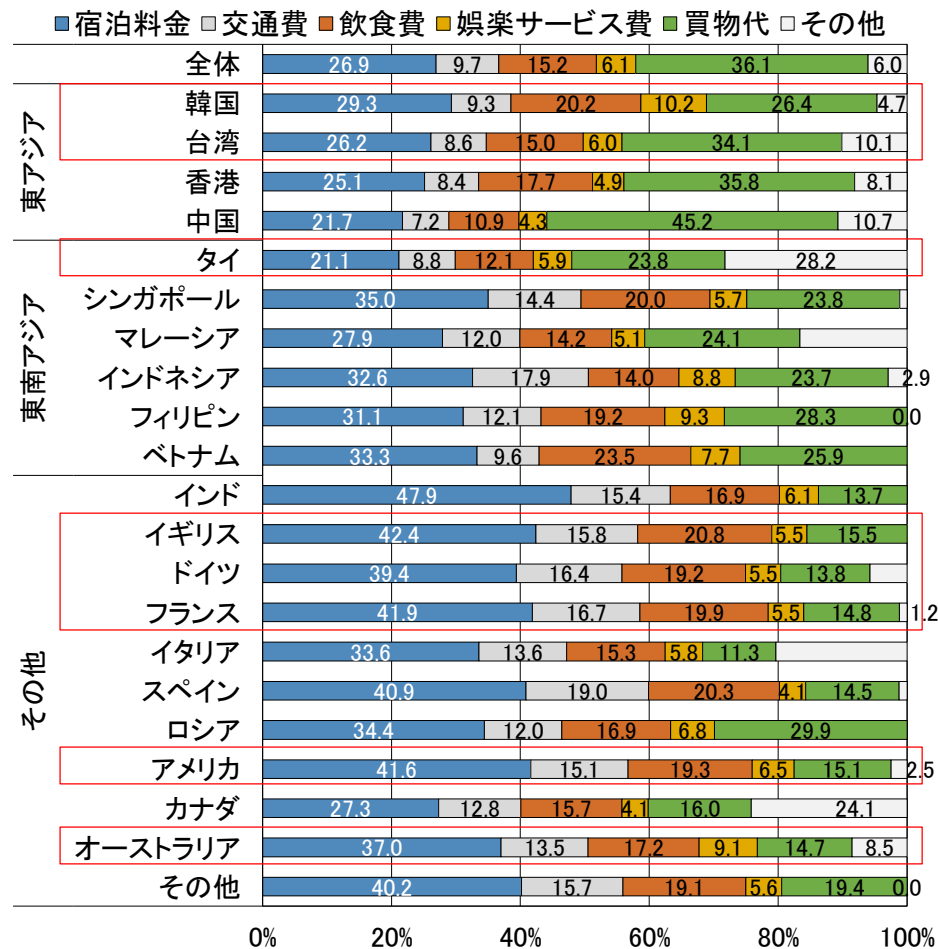
(5) 観光消費額

訪日外国人消費動向調査（観光庁）によると、重点8カ国の訪日旅行中支出はオーストラリアが約28万円と多く、タイ、イギリス、ドイツ、フランス、アメリカが20万円前後、台湾は13万円、韓国は約8万円となっている。欧米豪の各国の宿泊料金、交通費に占める割合が大きい一方、アジア諸国では買物代・その他の割合が大きい。

図表 2.5.1 日本滞在中支出の内訳
(観光・レジャー目的のみ、2016年)



図表 2.5.2 日本滞在中支出の費目別割合
(観光・レジャー目的のみ、2016年)



出典：訪日外国人消費動向調査（観光庁）

3. 外国人観光客の県別動向

- (1) 兵庫県
- (2) 岡山県
- (3) 広島県
- (4) 山口県
- (5) 徳島県
- (6) 香川県
- (7) 愛媛県

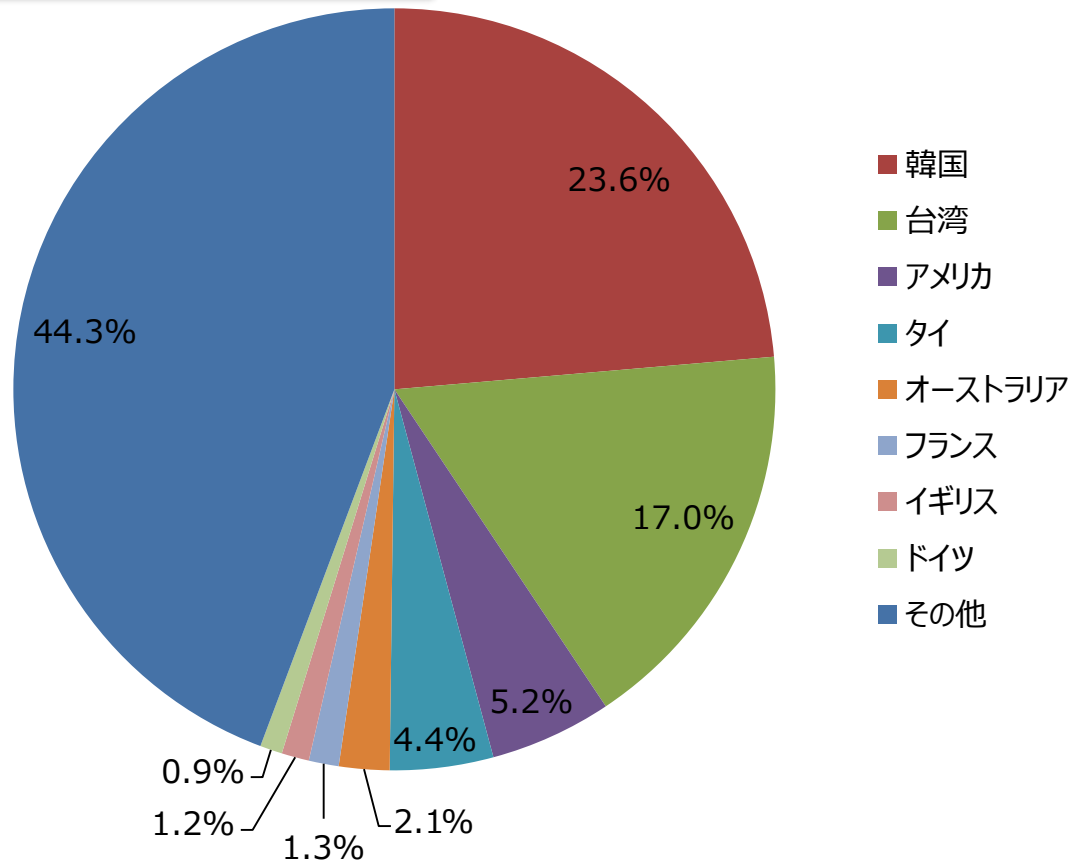
(1) 兵庫県 ①国籍別外国人来訪者数

兵庫県における年間来訪者数は205.1万人。重点8ヶ国の来訪者構成比は55.7%となっている。国籍別では、韓国が最も多く、23.6%、台湾 17.0%、アメリカ 5.2%の順となっている。東アジア3ヶ国で全体の45.0%、欧米4ヶ国で8.6%を占めている。

重点8ヶ国の平均宿泊日数は3.1日、台湾・韓国の平均日数が少なく、他6ヶ国が多い。
(平均宿泊日数：最多=イギリス_4.2日、最少=台湾_1.5日)

年間来訪者数分析 (累計)

図表 3.1.2 兵庫県の外国人来訪者数の国籍別構成比



順位	国籍	来訪者数 (人)	割合	平均宿泊日数
1	韓国	484,946	23.6%	1.9日
2	台湾	348,934	17.0%	1.5日
3	アメリカ	106,172	5.2%	3.9日
4	タイ	89,936	4.4%	3.0日
5	オーストラリア	43,949	2.1%	3.4日
6	フランス	26,062	1.3%	3.2日
7	イギリス	23,931	1.2%	4.2日
8	ドイツ	19,394	0.9%	3.5日
	その他	908,608	44.3%	-
	合計	2,051,932	100.0%	8ヶ国平均 3.1日

注記：国籍別構成比については、観光庁等のデータと比較して集計方法の違いから差異がみられるため留意が必要。
平均宿泊日数については、全ての外国人来訪者（全ての来訪目的）を対象としており、観光庁等のデータと比較して差異が見られるため留意が必要。

(1) 兵庫県 ②他都市訪問状況 (兵庫県訪問者)

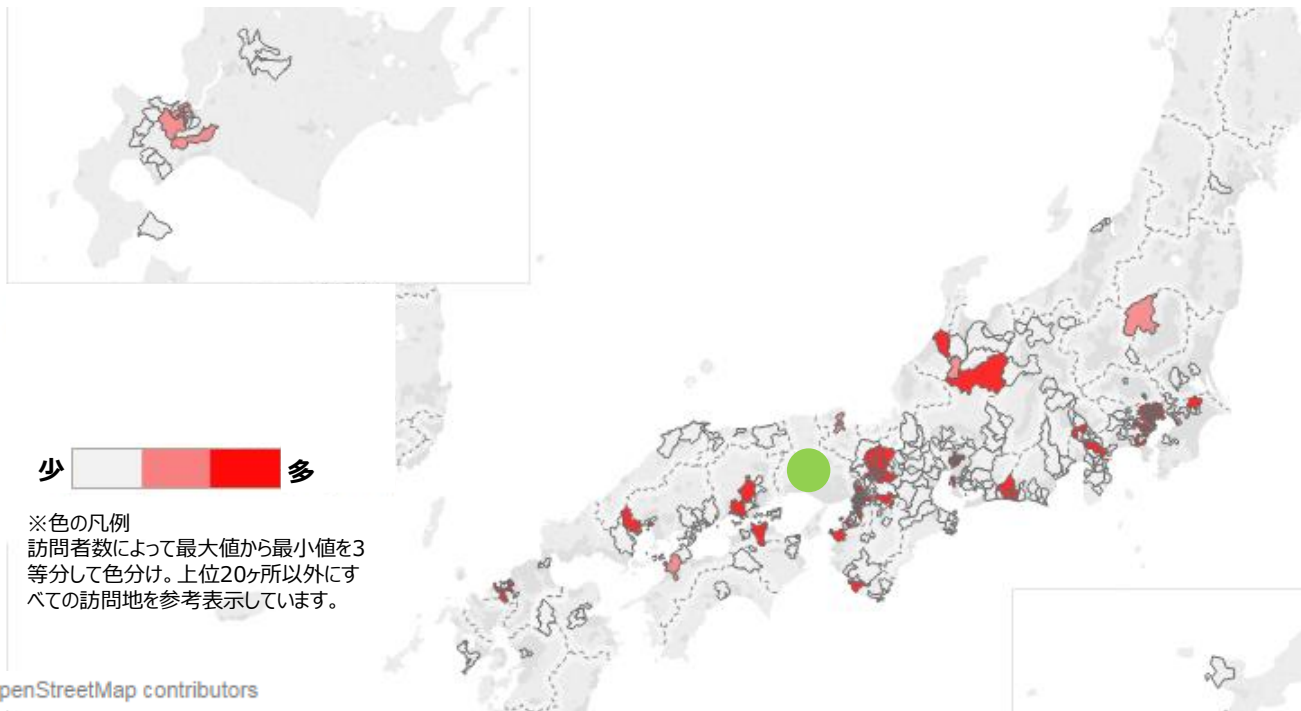
兵庫県を訪れた外国人来訪者の入出国は、関西空港が70%以上で最も多く、次いで成田・羽田空港が20%弱となっている。他の訪問都市を見ると、上位には大阪、京都、奈良の関西地方の都市が多く挙がっている他、東京都23区、千葉県成田市、広島県広島市、廿日市市が挙がっている。

図表 3.1.2 兵庫県外国人来訪者の出入国空港・港湾

順位	入国空港・港湾	人数	割合
1	関西国際空港	1,607,033人	78.2%
2	成田国際空港	243,606人	11.9%
3	東京国際空港	116,241人	5.7%
4	中部国際空港	34,009人	1.7%
5	福岡空港	12,290人	0.6%
6	大阪港	9,368人	0.5%
7	高松空港	7,703人	0.4%
8	広島空港	5,642人	0.3%
9	岡山空港	4,242人	0.2%
10	那覇空港	2,676人	0.1%

順位	出国空港・港湾	人数	割合
1	関西国際空港	1,587,274人	77.2%
2	成田国際空港	260,239人	12.7%
3	東京国際空港	124,747人	6.1%
4	中部国際空港	27,877人	1.4%
5	福岡空港	14,216人	0.7%
6	大阪港	8,798人	0.4%
7	高松空港	7,923人	0.4%
8	静岡空港	4,462人	0.2%
9	岡山空港	3,982人	0.2%
10	広島空港	3,477人	0.2%

図表 3.1.3 兵庫県外国人来訪者の他都市訪問状況



少 多

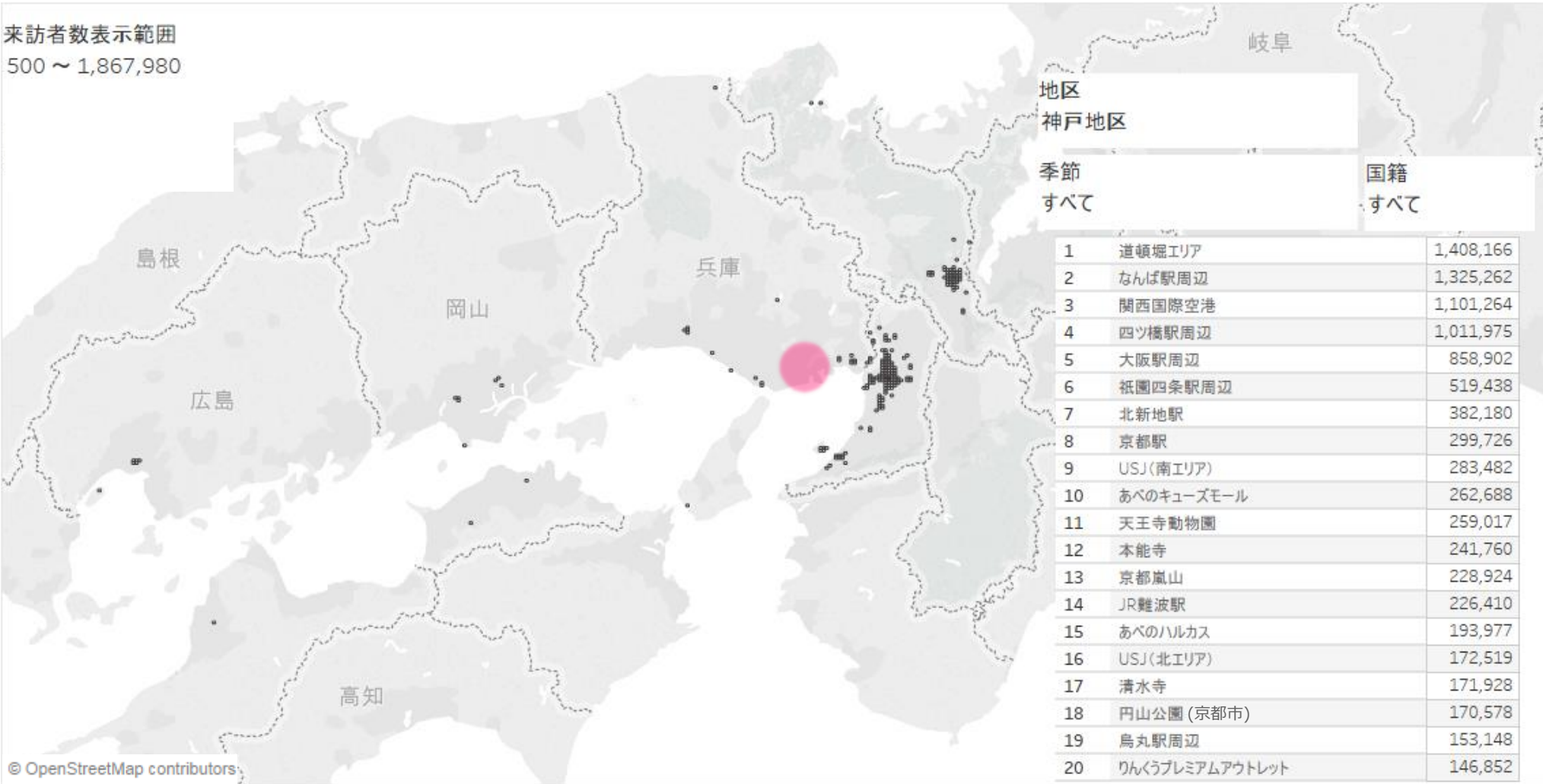
※色の凡例
訪問者数によって最大値から最小値を3等分して色分け。上位20ヶ所以外にすべての訪問地を参考表示しています。

1	大阪府 大阪市	3,903,678
2	京都府 京都市	2,187,732
3	東京都 23区	1,614,529
4	大阪府 田尻町(関空)	653,670
5	奈良県 奈良市	477,931
6	大阪府 泉佐野市(関空)	389,235
7	千葉県 成田市	218,811
8	愛知県 名古屋市	83,232
9	広島県 広島市中区	82,500
10	大阪府 吹田市	77,322
11	滋賀県 大津市	65,661
12	広島県 廿日市市	62,319
13	和歌山 和歌山市	51,719
14	岡山県 倉敷市	48,657
15	神奈川 箱根町	47,705
16	京都府 宇治市	46,293
17	千葉県 浦安市	46,036
18	岡山県 岡山市北区	45,466
19	静岡県 御殿場市	43,316
20	山梨県 富士河口湖町	40,162

(1) 兵庫県 ③他地域訪問状況 (神戸地区訪問者)

他都市訪問状況について、より詳細に見ると、神戸地区を訪れた旅行者が訪問した地域（メッシュ）は、道頓堀エリアが最も多く、次いで難波駅周辺、関西国際空港の順となっている。

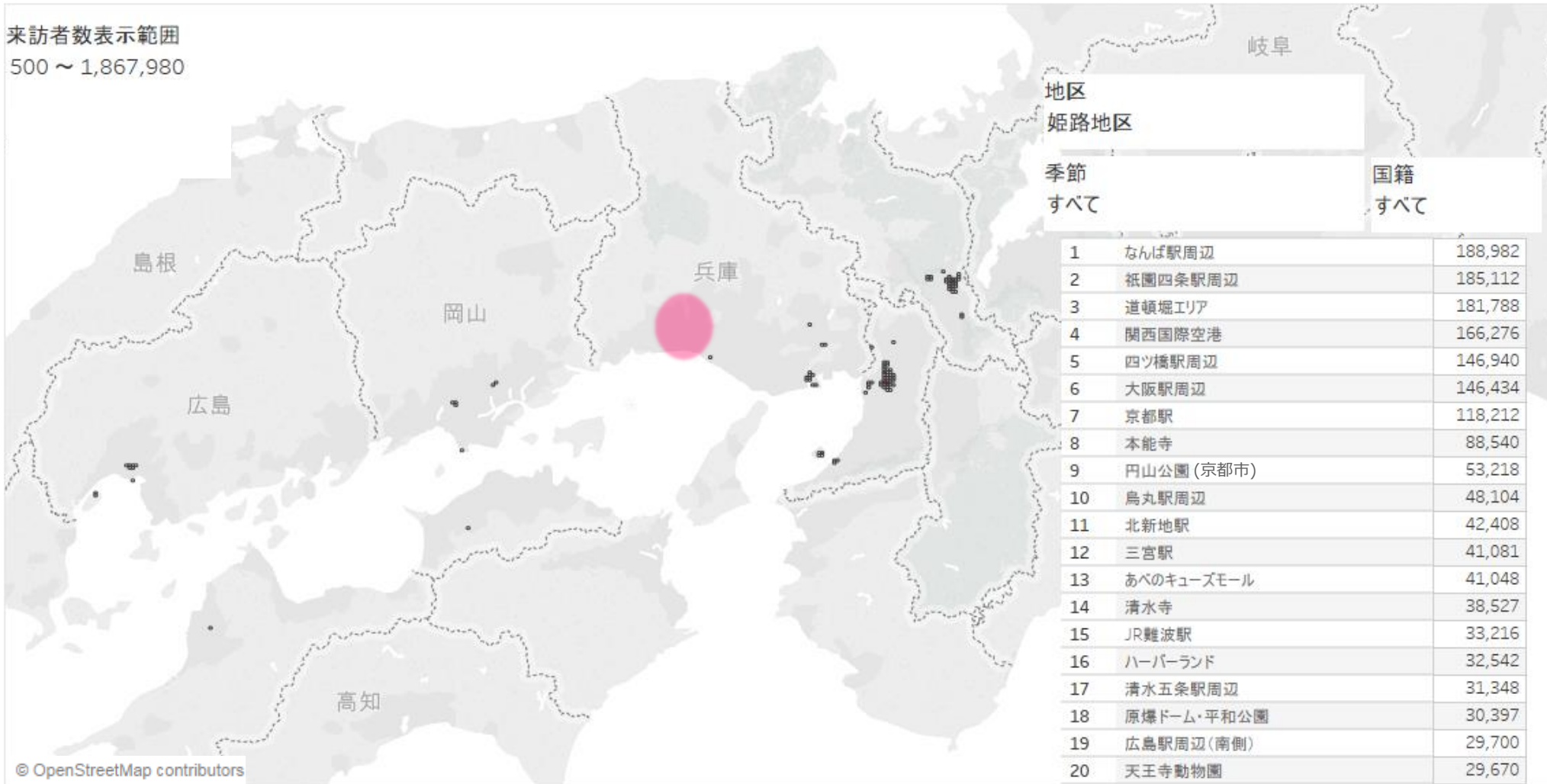
図表 3.1.4 神戸地区外国人来訪者の他地域（メッシュ）訪問状況



(1) 兵庫県 ④他地域訪問状況 (姫路地区訪問者)

姫路地区を訪れた旅行者が訪問したその他の地域（メッシュ）としては、なんば駅周辺が最も多く、次いで祇園四条駅周辺、道頓堀エリアの順となっている。関西以外では原爆ドーム・平和公園がランキング入りしている。

図表 3.1.5 姫路地区外国人来訪者の他地域（メッシュ）訪問状況



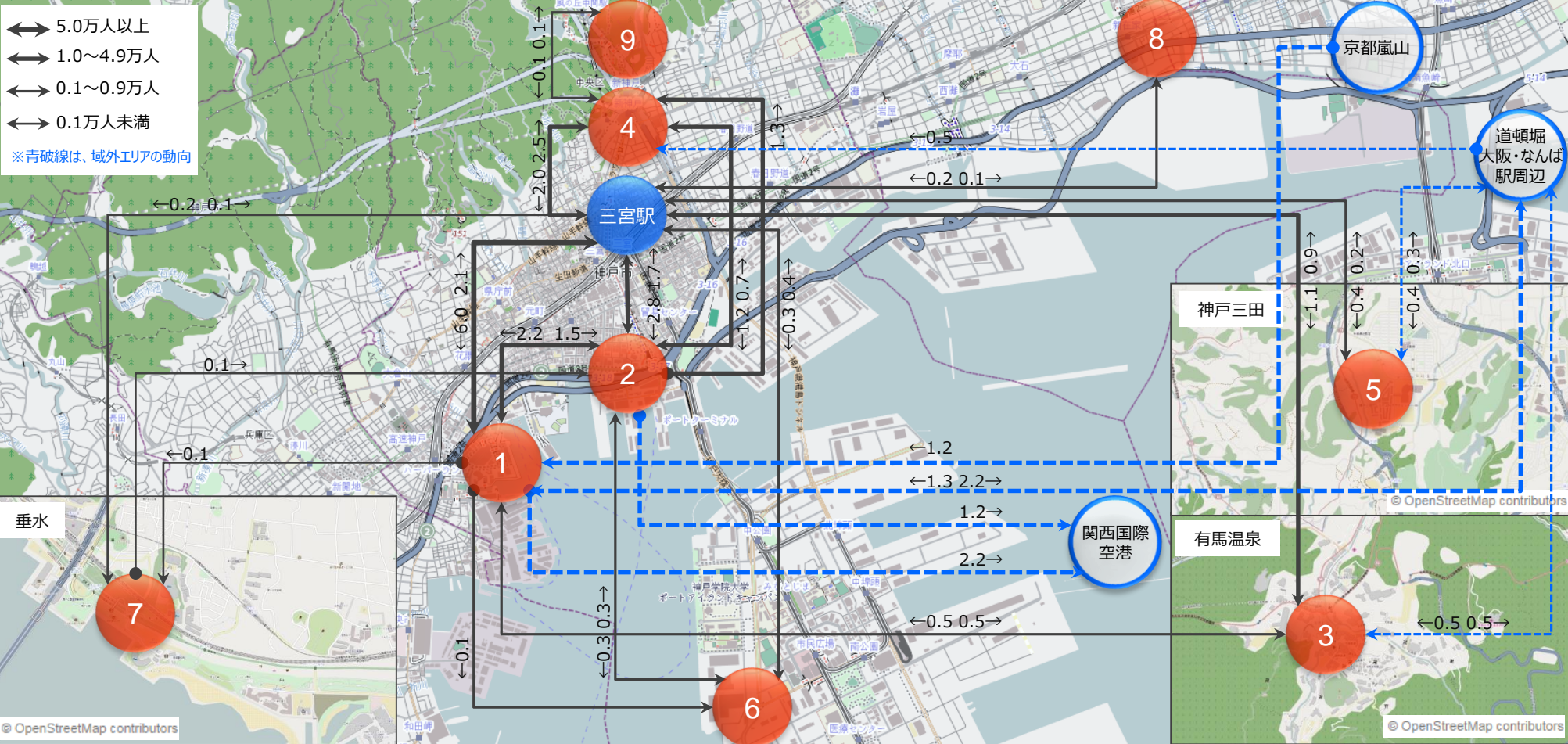
(1) 兵庫県 ⑤地区内周遊状況 (神戸地区)

神戸地区を訪れる外国人来訪者は、京都・大阪エリアから神戸地域内を周遊し、また大阪エリアに戻るルートをとる傾向が見られる。神戸域内においては、新神戸駅・三宮駅周辺を起点としてハーバーランド周辺、旧居留地周辺を中心として周辺観光地へ訪問する傾向が見られる。年間を通じて同様の傾向にあり、季節に応じた訪問地の大きな変化は見られない。

直前直後滞在状況

No.	メッシュコード	ランドマーク	No.	メッシュコード	ランドマーク	No.	メッシュコード	ランドマーク
1	52350114	ハーバーランド	4	52350145	新神戸駅/北野異人館	7	51357053	垂水 (マリニピア)
2	52350125	旧居留地エリア	5	52352135	神戸三田プレミアムアウトレット	8	52350159	灘 (神戸酒心館)
3	52351159	有馬温泉	6	51357196	ポートアイランド	9	52350155	布引滝/布引溪谷

- 起点メッシュ
- 直前直後滞在メッシュ
- 直前直後滞在メッシュ (域外エリア)



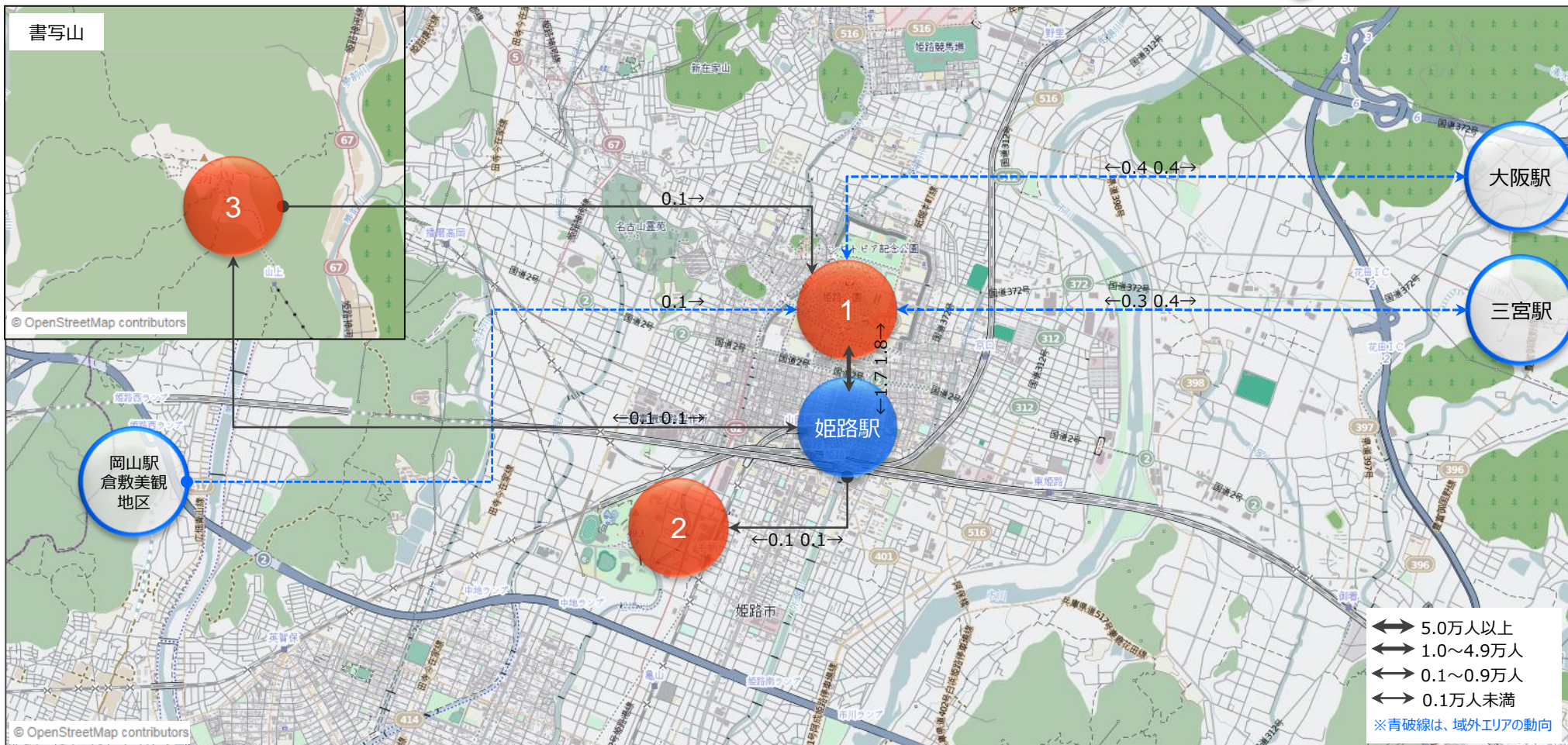
(1) 兵庫県 ⑥地区内周遊状況 (姫路地区)

姫路地区を訪れる外国人来訪者は、大阪・神戸エリアから姫路域内を周遊し、また大阪・神戸エリアに戻るルートをとる傾向がある。姫路域内においては、ほとんどが姫路城エリアを周遊し、一部の旅行者は姫路市立水族館や書写山エリアへも訪問している状況が見られる。年間を通じて同様の傾向にあり、季節に応じた訪問地の大きな変化は見られない。

直前直後滞在状況

No.	メッシュコード	ランドマーク
1	52342505	姫路城
2	52341584	姫路駅南西 (姫路市立水族館)
3	52342562	書写山

- 起点メッシュ
- 直前直後滞在メッシュ
- 直前直後滞在メッシュ (域外エリア)



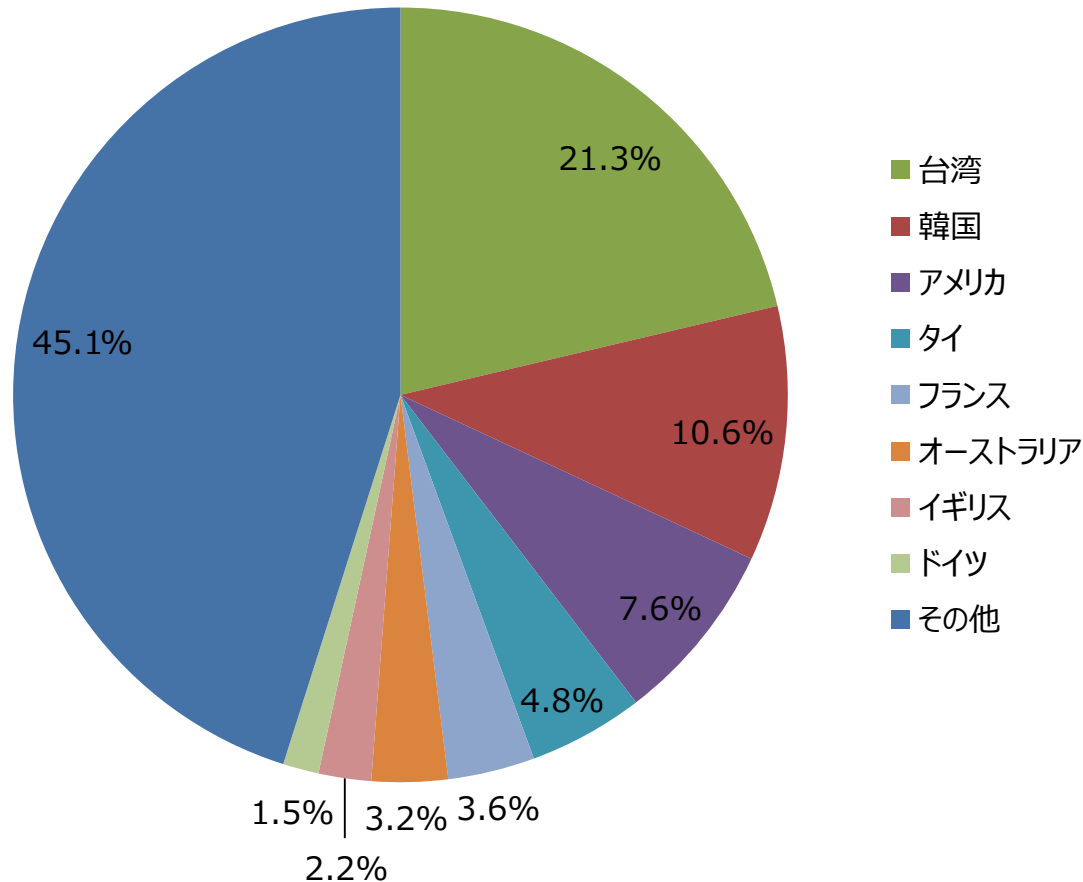
(2) 岡山県 ①国籍別外国人来訪者数及び平均宿泊日数

岡山県における年間来訪者数は23.9万人。重点8ヶ国の来訪者構成比は54.9%となっている。国籍別では、台湾が最も多く、21.3%、韓国 10.6%、アメリカ 7.6%の順となっている。東アジア3ヶ国で全体の36.8%、欧米4ヶ国で15.0%を占めている。

重点8ヶ国の平均宿泊日数は2.5日、他県と比較し東アジア3ヶ国と欧米豪の差が少ない。
(平均宿泊日数：最多=アメリカ_3.0日、最少=台湾_1.9日)

年間来訪者数分析 (累計)

図表 3.2.1 岡山県の外国人来訪者数の国籍別構成比



順位	国籍	来訪者数	割合	平均宿泊日数
1	台湾	50,837	21.3%	1.9日
2	韓国	25,390	10.6%	2.4日
3	アメリカ	18,241	7.6%	3.0日
4	タイ	11,469	4.8%	2.4日
5	フランス	8,645	3.6%	2.3日
6	オーストラリア	7,575	3.2%	2.5日
7	イギリス	5,238	2.2%	2.8日
8	ドイツ	3,571	1.5%	2.7日
	その他	107,607	45.1%	-
	合計	238,573	100.0%	8ヶ国平均 2.5日

注記：国籍別構成比については、観光庁等のデータと比較して集計方法の違いから差異がみられるため留意が必要。
平均宿泊日数については、全ての外国人来訪者（全ての来訪目的）を対象としており、観光庁等のデータと比較して差異が見られるため留意が必要。

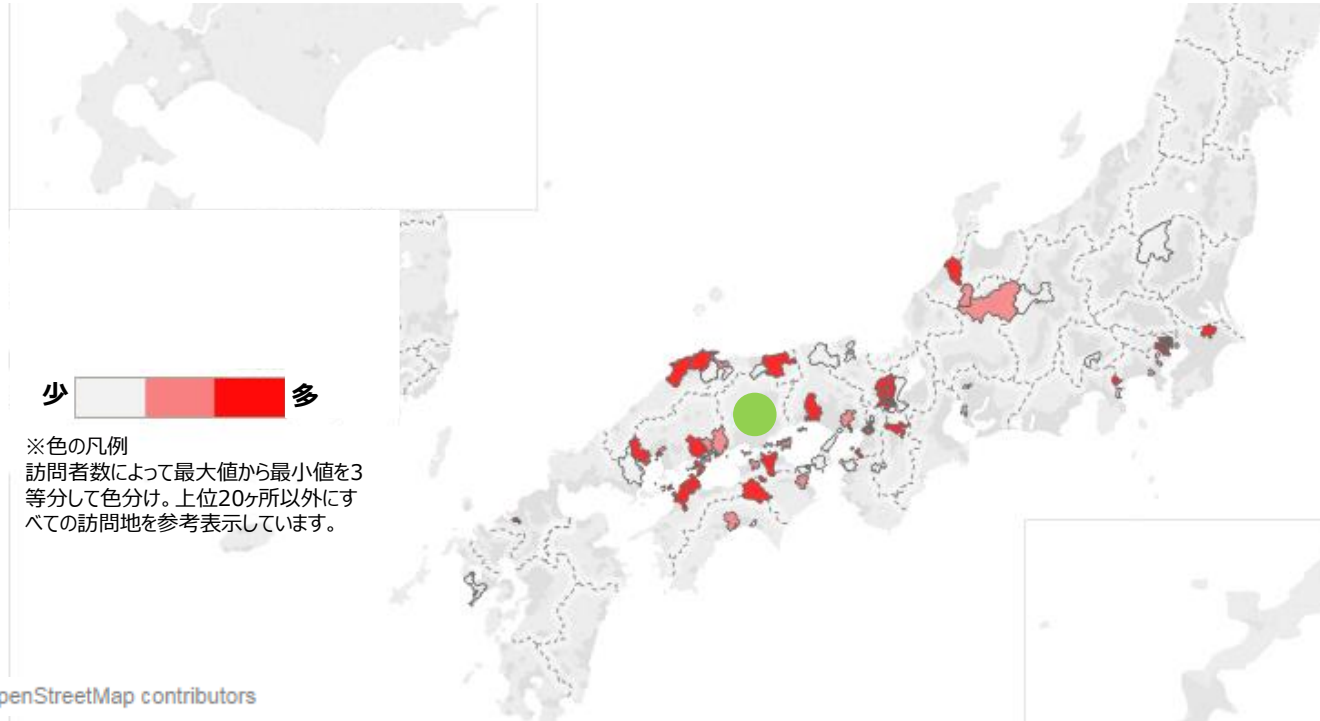
(2) 岡山県 ②他都市訪問状況 (岡山県訪問者)

岡山県を訪れた外国人来訪者の入出国は、関西空港が40%で最も多く、次いで成田・羽田空港が30%となっている。岡山空港の利用率は10%となっている。他の訪問都市を見ると、東京都23区が最も多く、次いで大阪府大阪市、京都府京都市の順となっている。

図表 3.2.2 岡山県外国人来訪者の出入国空港・港湾

順位	入国空港・港湾	人数	割合	順位	出国空港・港湾	人数	割合
1	関西国際空港	95,907人	41.5%	1	関西国際空港	98,083人	42.8%
2	成田国際空港	45,654人	19.8%	2	成田国際空港	46,223人	20.2%
3	東京国際空港	21,746人	9.4%	3	東京国際空港	22,140人	9.7%
4	岡山空港	21,429人	9.3%	4	岡山空港	21,066人	9.2%
5	広島空港	13,119人	5.7%	5	高松空港	12,981人	5.7%
6	高松空港	10,844人	4.7%	6	広島空港	9,720人	4.2%
7	美保飛行場(米子)	7,947人	3.4%	7	美保飛行場(米子)	7,457人	3.3%
8	福岡空港	7,688人	3.3%	8	福岡空港	6,674人	2.9%
9	中部国際空港	3,436人	1.5%	9	中部国際空港	3,277人	1.4%
10	境港	1,946人	0.8%	10	境港	867人	0.4%

図表 3.2.3 岡山県外国人来訪者の他都市訪問状況



少 多

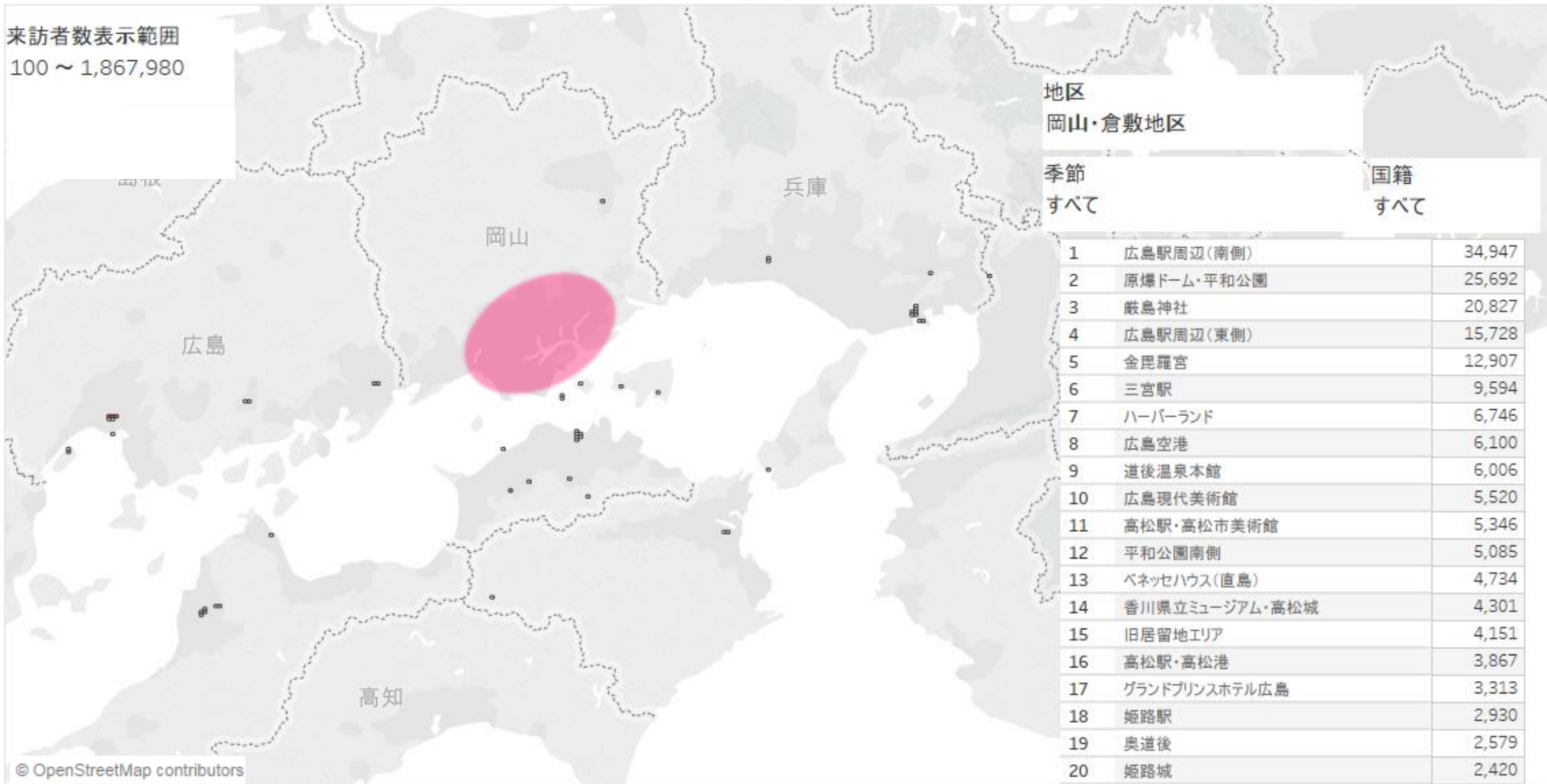
※色の凡例
訪問者数によって最大値から最小値を3等分して色分け。上位20分所以外にすべての訪問地を参考表示しています。

1	東京都 23区	225,563
2	大阪府 大阪市	164,537
3	京都府 京都市	161,118
4	広島県 広島市中区	46,023
5	兵庫県 姫路市	41,745
6	大阪府 田尻町 (関空)	41,344
7	香川県 高松市	40,030
8	広島県 廿日市市	39,161
9	兵庫県 神戸市中央区	31,553
10	奈良県 奈良市	27,813
11	千葉県 成田市	24,874
12	香川県 直島町	24,159
13	大阪府 泉佐野市 (関空)	23,494
14	愛媛県 松山市	21,368
15	広島県 広島市南区	21,040
16	徳島県 三好市	16,610
17	香川県 琴平町	16,375
18	広島県 三原市	12,797
19	福岡県 福岡市	11,653
20	島根県 松江市	10,923

(2) 岡山県 ③他地域訪問状況（岡山・倉敷地区訪問者）

他都市訪問状況について、より詳細に見ると、岡山・倉敷地区を訪れた旅行者が訪問した地域（メッシュ）は、広島駅周辺（南側）が最も多く、次いで原爆ドーム・平和公園、厳島神社の順と広島県が多くなっている。

図表 3.2.4 岡山・倉敷地区外国人来訪者の他地域（メッシュ）訪問状況



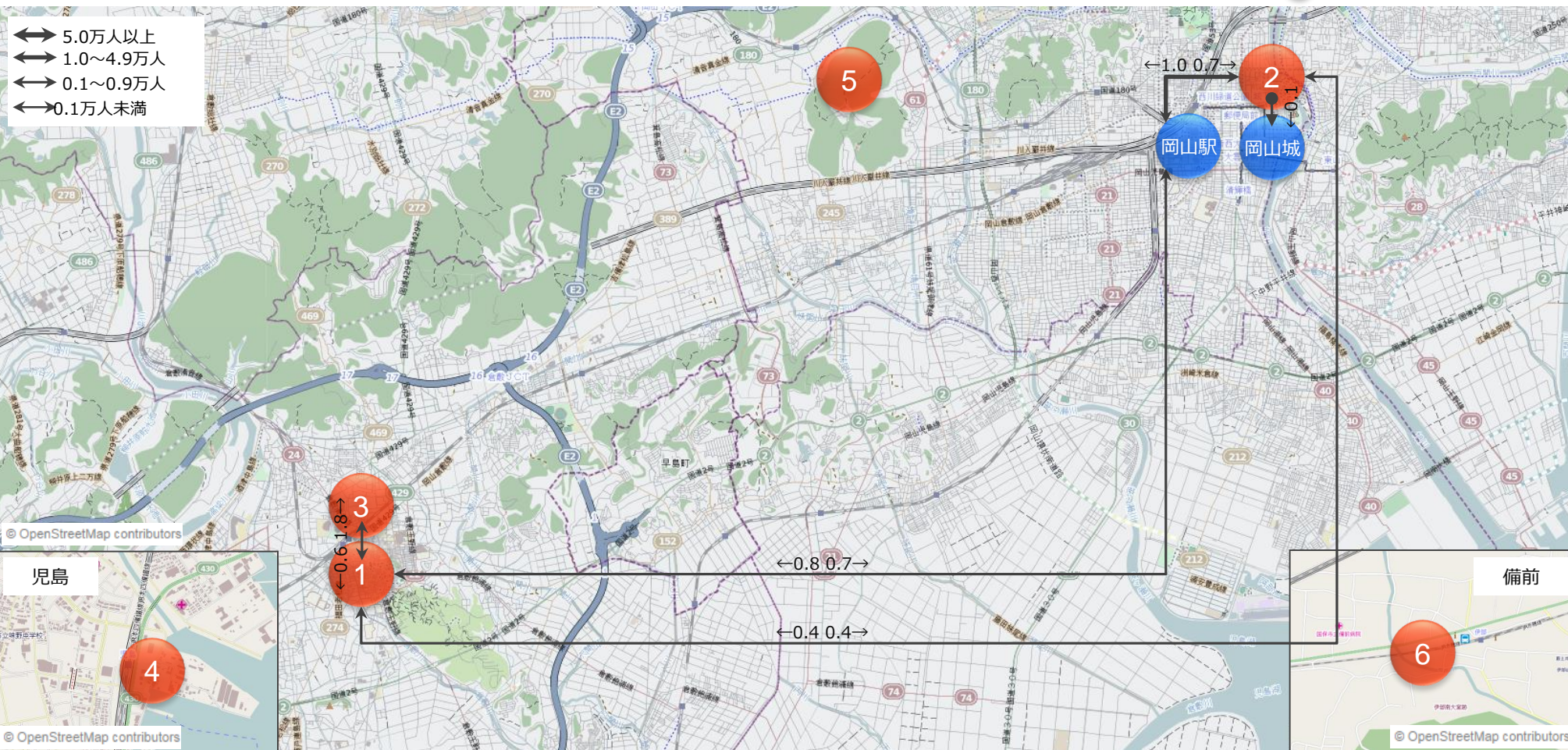
(2) 岡山県 ④地区内周遊状況 (岡山・倉敷地区)

岡山・倉敷地区を訪れる外国人来訪者は、岡山駅及び後楽園エリアを訪れ、その後、倉敷美観地区、倉敷アウトレットエリアを周遊するルートをとる傾向がある。年間を通じて同様の傾向にあり、季節に応じた訪問地の大きな変化は見られない。 ※児島駅周辺、吉備津神社周辺、備前伝統産業会館周辺については、今回の直前直後滞在調査では、ログデータ僅少のため取得データなし。

直前直後滞在状況

No.	メッシュコード	ランドマーク	No.	メッシュコード	ランドマーク
1	51337611	倉敷美観地区	4	51335654	児島駅
2	52330704	後楽園	5	52330608	吉備津神社
3	51337621	倉敷アウトレット	6	52340182	備前焼伝統産業会館

- 起点メッシュ
- 直前直後滞在メッシュ
- 直前直後滞在メッシュ (域外エリア)



(3) 広島県 ①国籍別外国人来訪者数及び平均宿泊日数

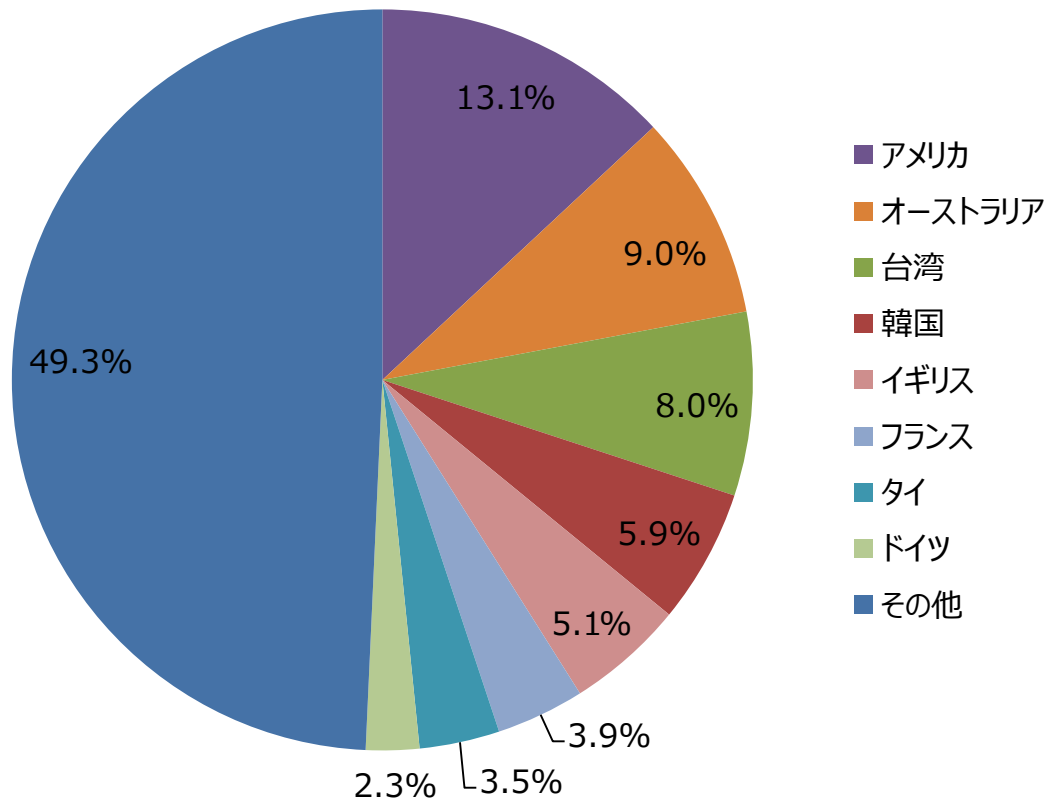
広島県における年間来訪者数は53.6万人。重点8ヶ国の来訪者構成比は50.7%となっている。国籍別では、アメリカが最も多く、13.1%、オーストラリア 9.0%、台湾 8.0%の順となっている。欧米4ヶ国で全体の24.4%、東アジア3ヶ国で17.4%を占めている。

重点8ヶ国の平均宿泊日数は2.5日、タイの平均宿泊日数のみ3日を超えている。

(平均宿泊日数：最多=タイ_3.4日、最少=オーストラリア_2.0日)

年間来訪者数分析 (累計)

図表 3.3.1 広島県の外国人来訪者数の国籍別構成比



順位	国籍	来訪者数	割合	平均宿泊日数
1	アメリカ	69,971	13.1%	2.6日
2	オーストラリア	48,165	9.0%	2.0日
3	台湾	42,952	8.0%	2.1日
4	韓国	31,440	5.9%	2.6日
5	イギリス	27,513	5.1%	2.2日
6	フランス	20,644	3.9%	2.2日
7	タイ	18,750	3.5%	3.4日
8	ドイツ	12,466	2.3%	2.8日
	その他	264,170	49.3%	-
	合計	536,071	100.0%	8ヶ国平均 2.5日

注記：国籍別構成比については、観光庁等のデータと比較して集計方法の違いから差異がみられるため留意が必要。
平均宿泊日数については、全ての外国人来訪者（全ての来訪目的）を対象としており、観光庁等のデータと比較して差異が見られるため留意が必要。

(3) 広島県 ②他都市訪問状況 (広島県訪問者)

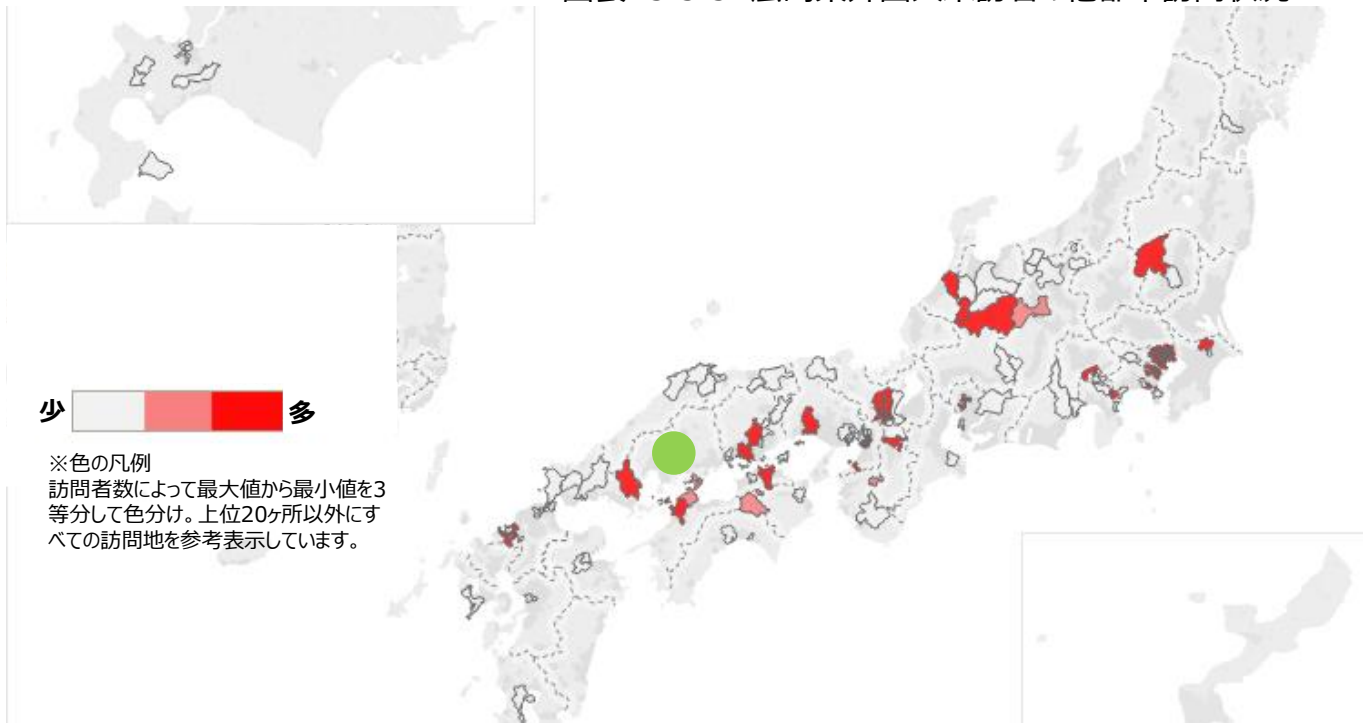
広島県を訪れた外国人来訪者の入出国は、成田・羽田空港を合わせると55%で最も多く、次いで関西空港が20%となっている。広島空港の利用率は約10%となっている。他の訪問都市を見ると、東京都23区が最も多く、次いで京都府京都市、大阪府大阪市の順となっている。

図表 3.3.2 広島県外国人来訪者の出入国空港・港湾

順位	入国空港・港湾	人数	割合
1	成田国際空港	189,025人	37.3%
2	関西国際空港	106,724人	21.0%
3	東京国際空港	89,862人	17.7%
4	広島空港	58,825人	11.6%
5	福岡空港	37,208人	7.3%
6	中部国際空港	7,401人	1.5%
7	岡山空港	5,044人	1.0%
8	博多港	3,532人	0.7%
9	高松空港	3,287人	0.6%
10	松山空港	1,299人	0.3%

順位	出国空港・港湾	人数	割合
1	成田国際空港	188,240人	37.2%
2	関西国際空港	115,445人	22.8%
3	東京国際空港	89,981人	17.8%
4	広島空港	52,007人	10.3%
5	福岡空港	35,738人	7.1%
6	中部国際空港	7,113人	1.4%
7	岡山空港	4,738人	0.9%
8	高松空港	4,657人	0.9%
9	博多港	3,228人	0.6%
10	松山空港	1,215人	0.2%

図表 3.3.3 広島県外国人来訪者の他都市訪問状況



少 多

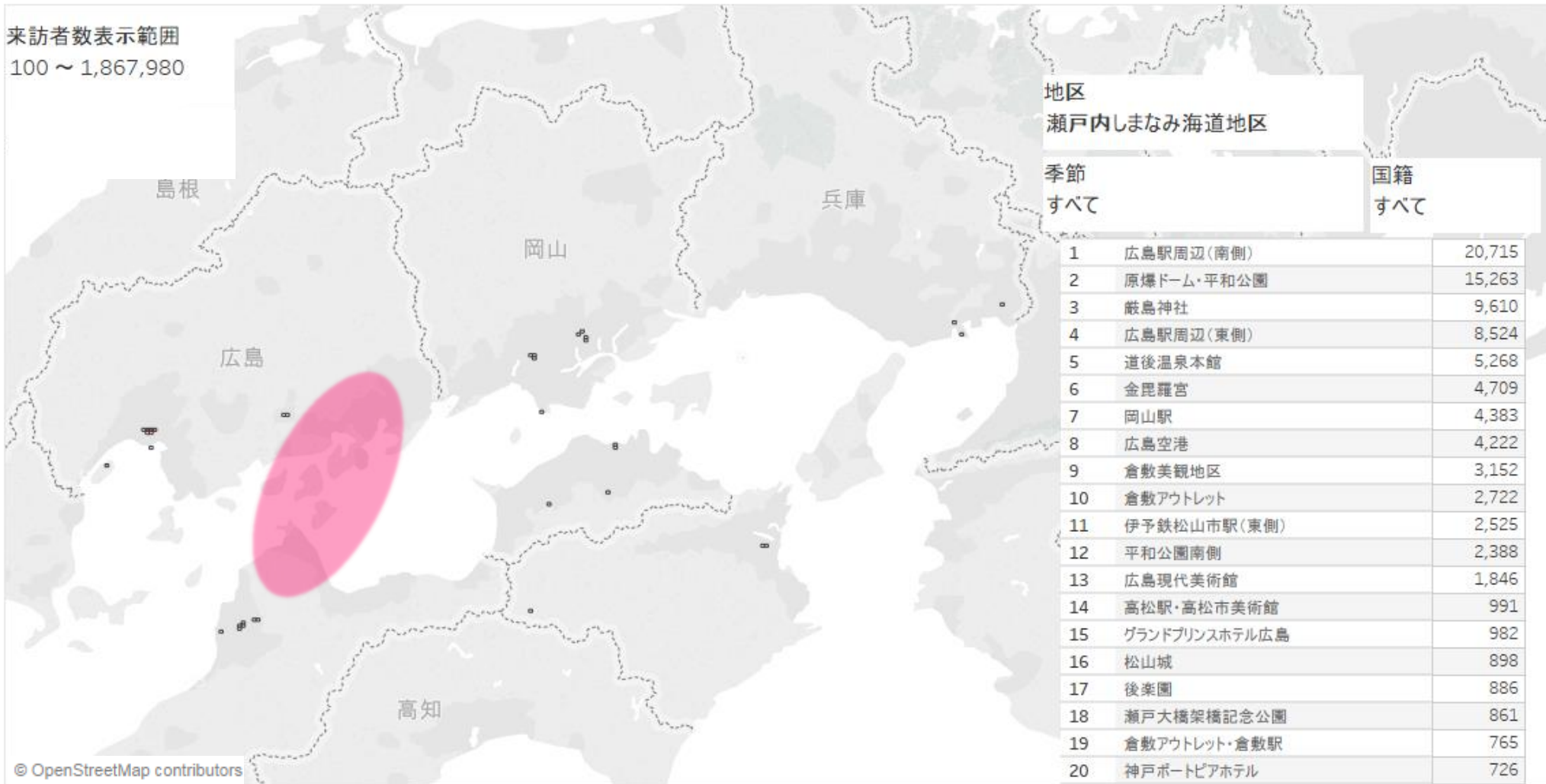
※色の凡例
訪問者数によって最大値から最小値を3等分して色分け。上位20ヶ所以外にすべての訪問地を参考表示しています。

1	東京都 23区	1,316,804
2	京都府 京都市	773,468
3	大阪府 大阪市	377,032
4	千葉県 成田市	155,676
5	奈良県 奈良市	124,837
6	福岡県 福岡市	75,000
7	兵庫県 姫路市	68,908
8	神奈川 箱根町	65,082
9	大阪府 田尻町 (関空)	49,025
10	岡山県 倉敷市	48,433
11	岐阜県 高山市	45,301
12	岡山県 岡山市北区	41,296
13	兵庫県 神戸市中央区	36,931
14	石川県 金沢市	36,335
15	神奈川 鎌倉市	36,158
16	栃木県 日光市	33,894
17	岐阜県 白川村	24,787
18	千葉県 浦安市	24,414
19	愛知県 名古屋市	24,188
20	大阪府 泉佐野市 (関空)	24,145

(3) 広島県 ③他地域訪問状況 (瀬戸内しまなみ海道地区訪問者)

他都市訪問状況について、より詳細に見ると、瀬戸内しまなみ海道地区を訪れた旅行者が訪問した地域（メッシュ）は、広島駅周辺（南側）が最も多く、次いで原爆ドーム・平和公園、厳島神社の順となっている。

図表 3.3.4 瀬戸内しまなみ海道地区外国人来訪者の他地域（メッシュ）訪問状況



(3) 広島県 ④他地域訪問状況 (広島・宮島・岩国地区訪問者)

広島・宮島・岩国地区を訪れた旅行者が訪問したその他の地域（メッシュ）は、広島空港が最も多く、次いで岡山駅、倉敷美観地区の順となっている。

図表 3.3.5 広島・宮島・岩国地区外国人来訪者の他地域（メッシュ）訪問状況



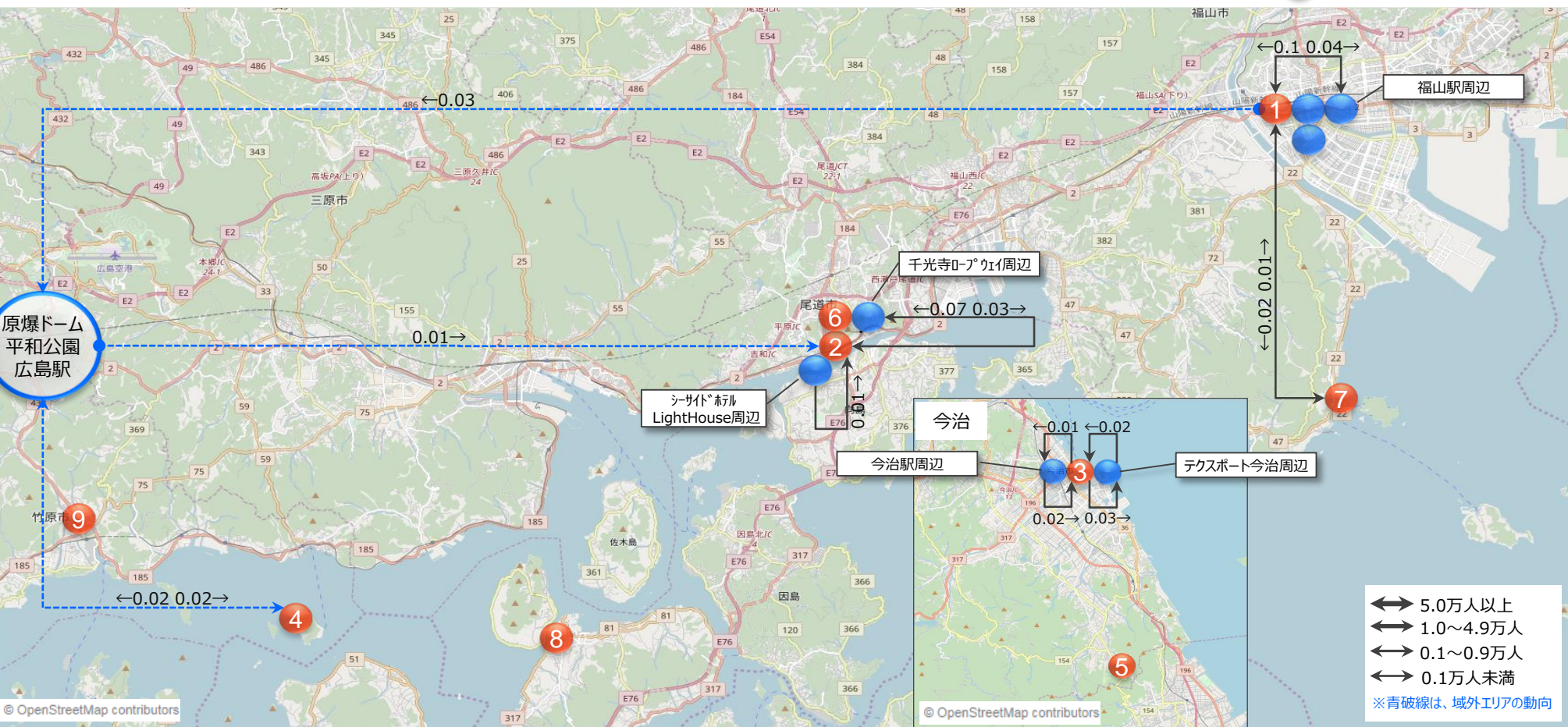
(3) 広島県 ⑤地区内周遊状況 (瀬戸内しまなみ海道地区)

福山エリアでは、福山駅・福山城を中心としたエリア（ばら公園・緑町公園周辺含む）で滞在し、鞆の浦エリアへ周遊するルートをとる傾向が見られる。尾道エリアでは、広島から来訪している傾向があり、尾道駅、千光寺エリアを中心に周遊している状況が見られる。今治エリアでは、今治駅を中心に今治城、テクスポート今治周辺が周遊ルートとなっている。大久野島については、広島エリアからの往来がほとんどを占めている。年間を通じて同様の傾向にあり、季節に応じた訪問地の大きな変化は見られない。※今治タオル館周辺、瀬戸田（耕三寺）周辺、竹原保存地区周辺については、今回の直前直後滞在調査では、ログデータ僅少のため取得データなし。

直前直後滞在状況

No.	メッシュコード	ランドマーク	No.	メッシュコード	ランドマーク	No.	メッシュコード	ランドマーク
1	51335288	福山駅/福山城	4	51323779	大久野島(うさぎ島)	7	51334360	鞆の浦
2	51334185	尾道駅	5	50337062	今治タオル美術館	8	51333067	瀬戸田(耕三寺)
3	51330070	今治城	6	51334195	千光寺	9	51324712	竹原保存地区

- 起点メッシュ
- 直前直後滞在メッシュ
- 直前直後滞在メッシュ (域外エリア)



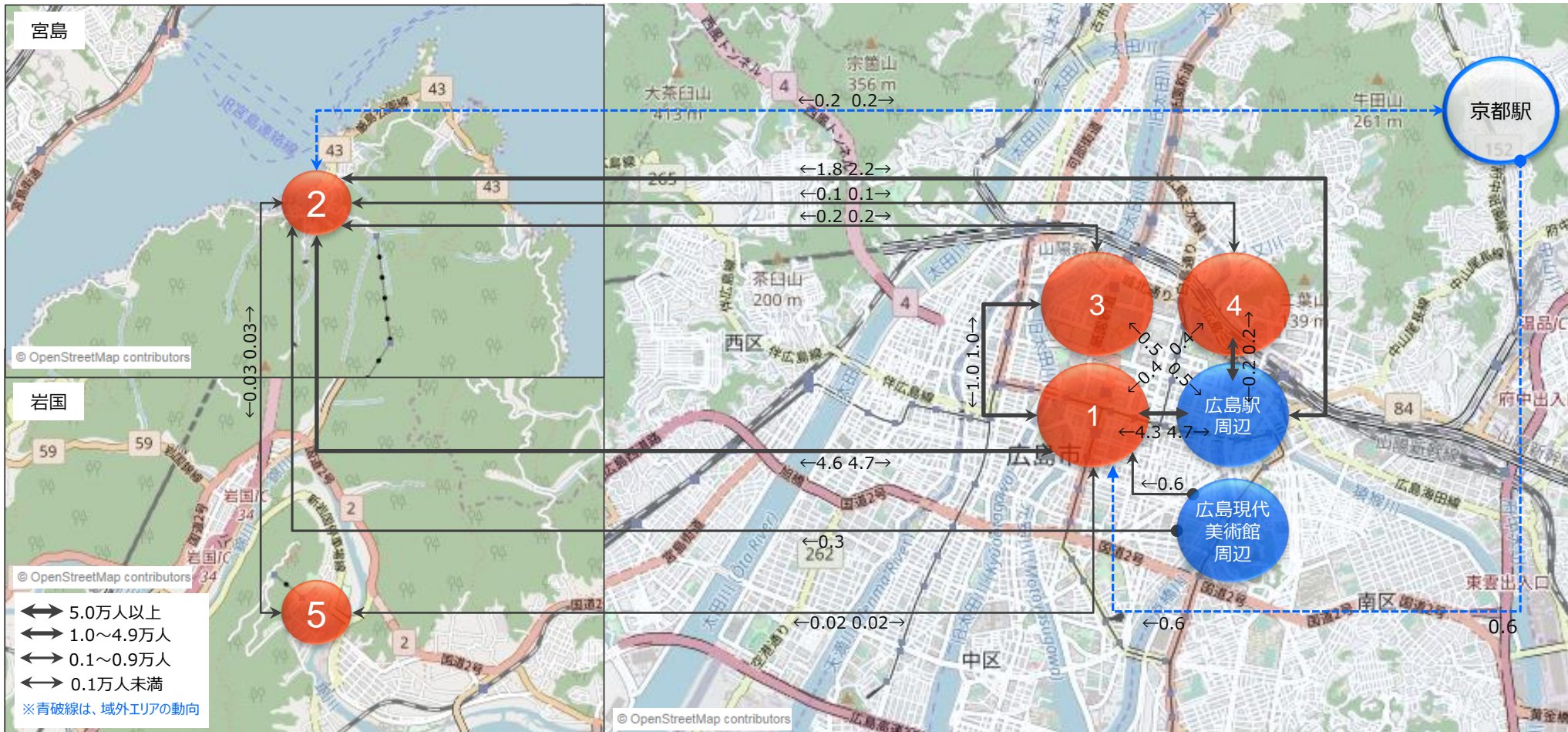
(3) 広島県 ⑥地区内周遊状況 (広島・宮島・岩国地区)

広島・宮島・岩国地区を訪れる外国人来訪者は、広島駅から原爆ドーム・平和公園エリアに滞在後、宮島を周遊し、また広島市内中心地に戻るルートをとっている傾向が見られる。原爆ドーム・平和公園エリアを起点として広島城周辺、縮景園周辺、現代美術館周辺へ訪問する傾向も見られる。錦帯橋エリアでは、宮島からの周遊状況が見られる(但し、春シーズンのみ)。年間を通じて同様の傾向にあり、季節に応じた訪問地の大きな変化は見られない。

直前直後滞在状況

No.	メッシュコード	ランドマーク	No.	メッシュコード	ランドマーク
1	51324376	原爆ドーム・平和公園	4	51324387	縮景園
2	51323255	厳島神社	5	51322104	錦帯橋
3	51324386	広島城	-	-	-

- 起点メッシュ
- 直前直後滞在メッシュ
- 直前直後滞在メッシュ (域外エリア)



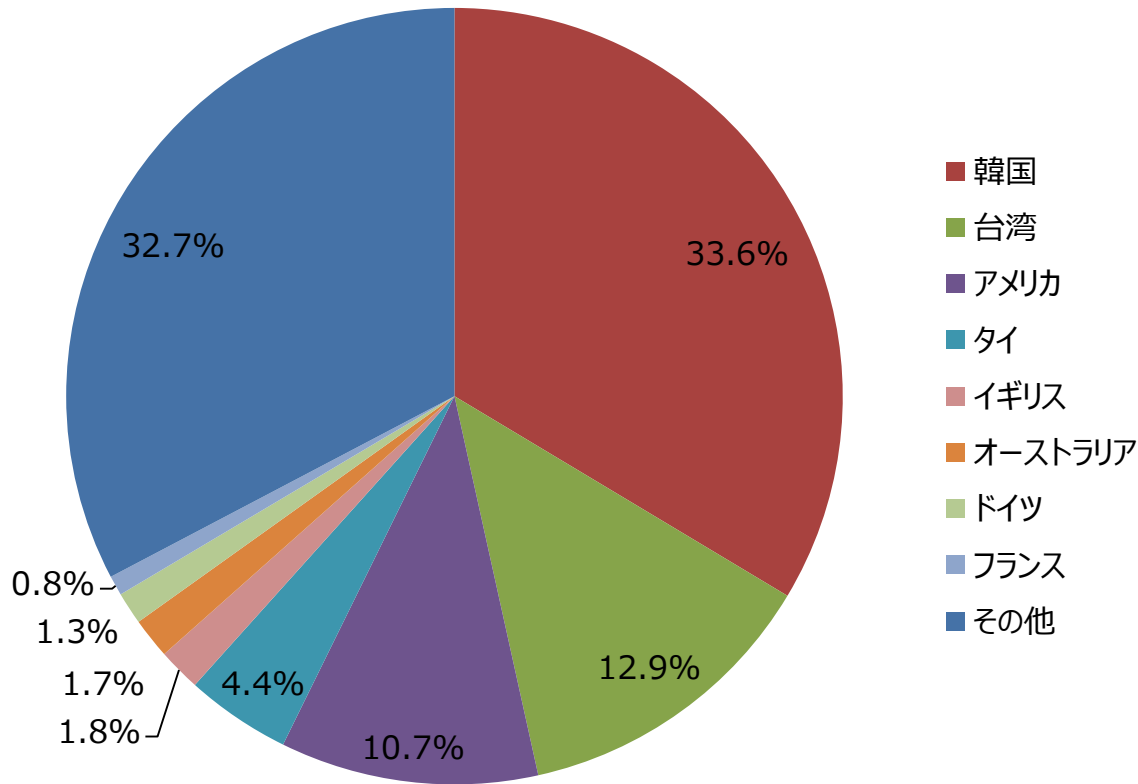
(4) 山口県 ①国籍別外国人来訪者数及び平均宿泊日数

山口県における年間来訪者数は13.2万人。重点8ヶ国の来訪者構成比は67.3%となっている。国籍別では、韓国が最も多く、33.6%、台湾 12.9%、アメリカ 10.7%の順となっている。東アジア3ヶ国で全体の50.9%、欧米4ヶ国で14.7%を占めている。

重点8ヶ国の平均宿泊日数は3.7日となっており7県中最多である。特にドイツの宿泊日数が多い。
(平均宿泊日数：最多=ドイツ_5.8日、最少=台湾_1.5日)

年間来訪者数分析 (累計)

図表 3.4.1 山口県の外国人来訪者数の国籍別構成比



順位	国籍	来訪者数	割合	平均宿泊日数
1	韓国	44,194	33.6%	1.8日
2	台湾	17,025	12.9%	1.5日
3	アメリカ	14,132	10.7%	4.8日
4	タイ	5,757	4.4%	3.5日
5	イギリス	2,348	1.8%	4.7日
6	オーストラリア	2,225	1.7%	3.4日
7	ドイツ	1,768	1.3%	5.8日
8	フランス	1,087	0.8%	3.7日
	その他	43,020	32.7%	-
	合計	131,556	100.0%	8ヶ国平均 3.7日

注記：国籍別構成比については、観光庁等のデータと比較して集計方法の違いから差異がみられるため留意が必要。
平均宿泊日数については、全ての外国人来訪者（全ての来訪目的）を対象としており、観光庁等のデータと比較して差異が見られるため留意が必要。

(4) 山口県 ②他都市訪問状況 (山口県訪問者)

山口県を訪れた外国人来訪者の入出国は、福岡空港が約40%で最も多く、次いで成田空港が14%となっている。北九州、関門、山口宇部など近隣の空港も数%の利用がある。他の訪問都市を見ると、福岡県福岡市が最も多く、次いで福岡県北九州市、東京都23区の順となっている。

図表 3.4.2 山口県外国人来訪者の出入国空港・港湾

順位	入国空港・港湾	人数	割合
1	福岡空港	53,498人	41.2%
2	成田国際空港	18,760人	14.4%
3	関西国際空港	9,931人	7.6%
4	北九州空港	9,197人	7.1%
5	東京国際空港	8,963人	6.9%
6	関門(下関)港	7,272人	5.6%
7	山口宇部空港	5,922人	4.6%
8	広島空港	5,664人	4.4%
9	博多港	5,087人	3.9%
10	比田勝港(対馬)	2,601人	2.0%

順位	出国空港・港湾	人数	割合
1	福岡空港	53,630人	41.0%
2	成田国際空港	19,791人	15.1%
3	関西国際空港	11,486人	8.8%
4	北九州空港	9,636人	7.4%
5	東京国際空港	9,501人	7.3%
6	関門(下関)港	6,389人	4.9%
7	山口宇部空港	5,611人	4.3%
8	博多港	4,824人	3.7%
9	広島空港	4,376人	3.3%
10	比田勝港(対馬)	3,439人	2.6%

図表 3.4.3 山口県外国人来訪者の他都市訪問状況

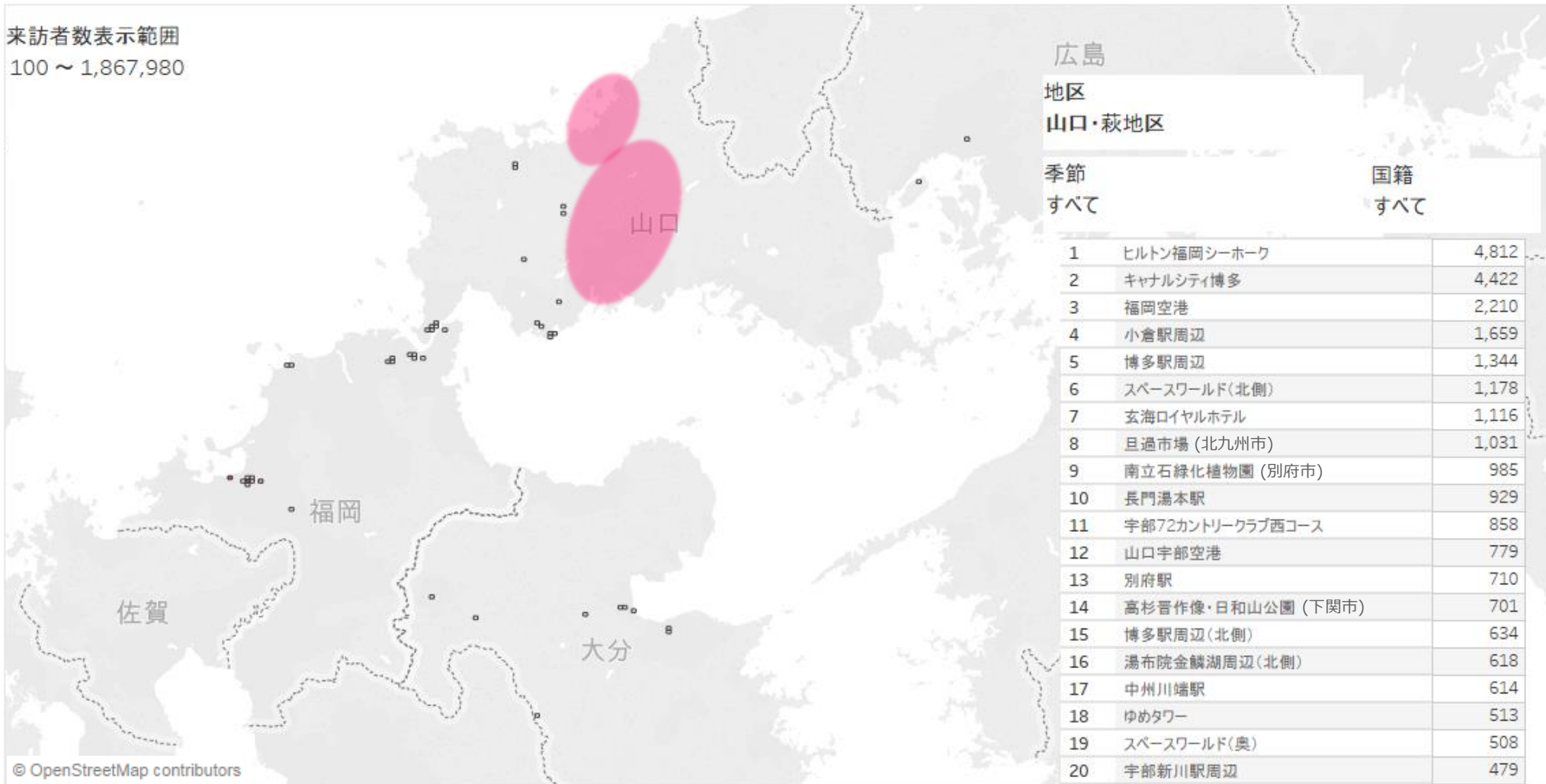


1	福岡県 福岡市	120,068
2	福岡県 北九州市	55,188
3	東京都 23区	36,739
4	大分県 由布市	22,488
5	大分県 別府市	21,302
6	広島県 広島市中区	20,279
7	広島県 廿日市市	14,826
8	大阪府 大阪市	11,722
9	広島県 広島市南区	10,214
10	福岡県 太宰府市	7,934
11	千葉県 成田市	7,439
12	佐賀県 鳥栖市	5,854
13	京都府 京都市	5,539
14	長崎県 長崎市	4,854
15	熊本県 熊本市	4,715
16	福岡県 苅田町(北九州空港)	4,239
17	岡山県 倉敷市	4,122
18	広島県 広島市東区	3,505
19	大分県 日田市	3,211
20	福岡県 宗像市	2,435

(4) 山口県 ③他地域訪問状況 (山口・萩地区)

他都市訪問状況について、より詳細に見ると、山口・萩地区を訪れた旅行者が訪問した地域（メッシュ）は、ヒルトン福岡シーホークが最も多く、次いでキャナルシティ博多、福岡空港の順となっている。

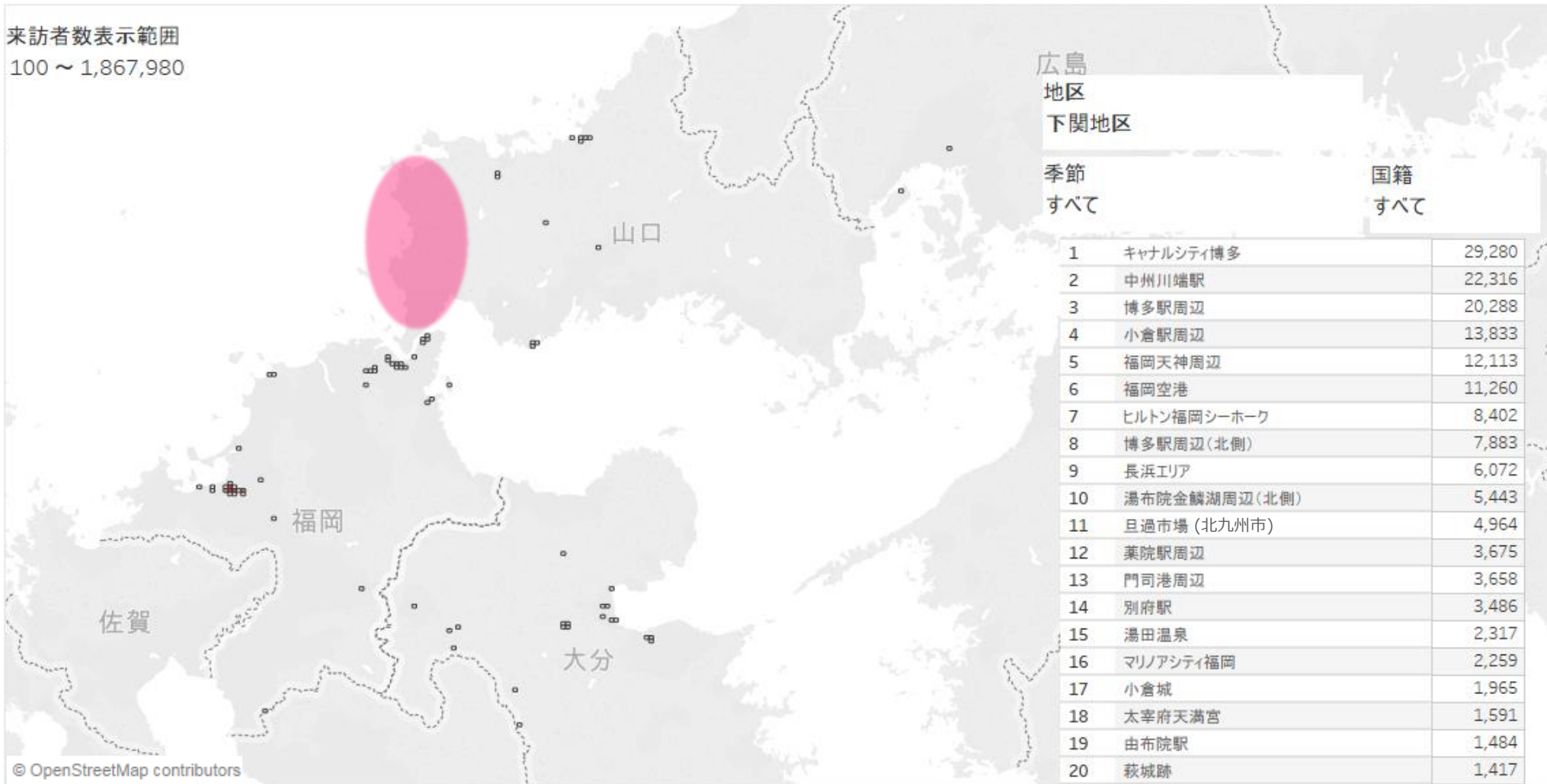
図表 3.4.4 山口・萩地区外国人来訪者の他地域（メッシュ）訪問状況



(4) 山口県 ④他地域訪問状況 (下関地区)

下関地区を訪れた旅行者が訪問したその他の地域 (メッシュ) としては、キャナルシティ博多が最も多く、次いで中州川端駅、博多駅周辺の順となっている。

図表 3.4.5 下関地区外国人来訪者の他地域 (メッシュ) 訪問状況



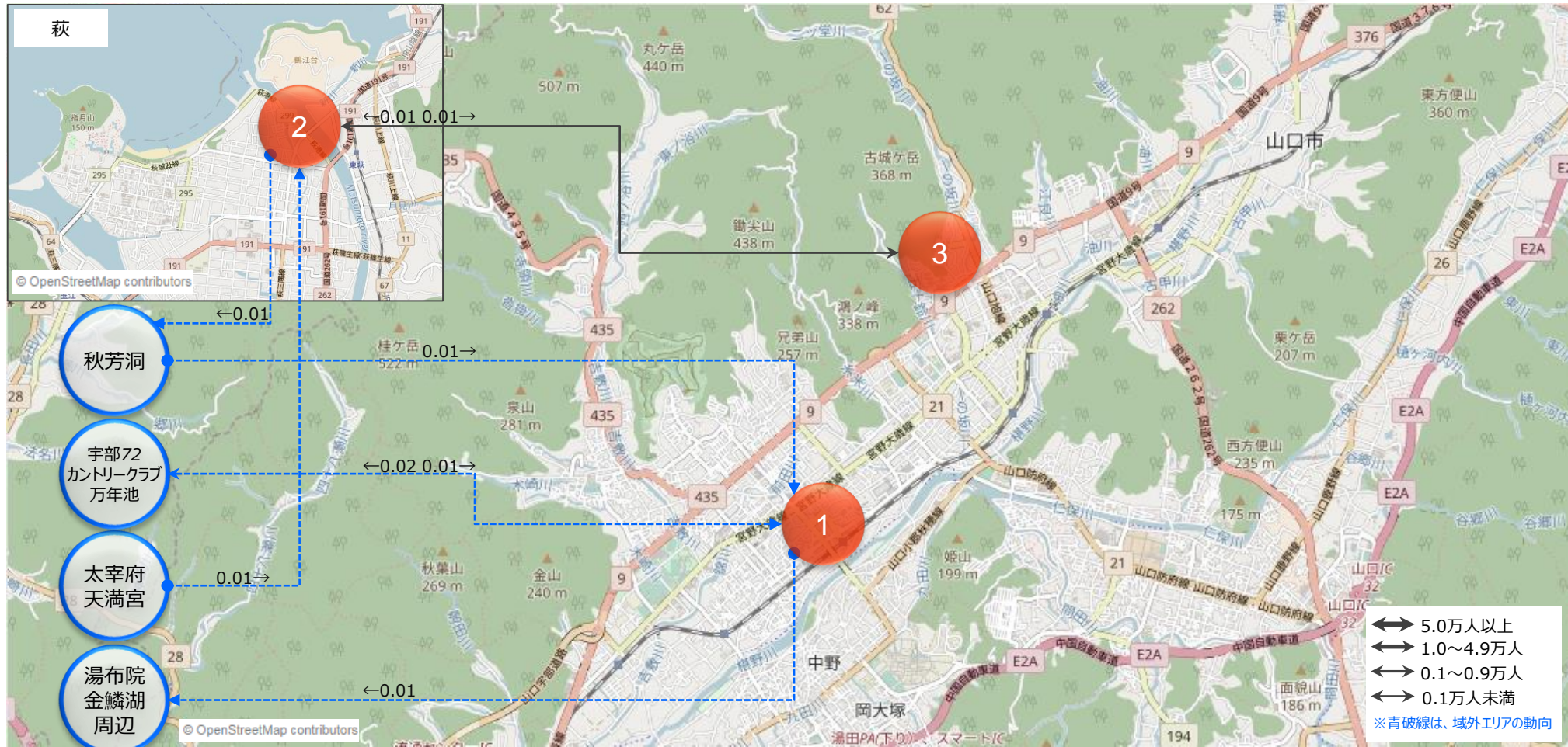
(4) 山口県 ⑦地区内周遊状況 (山口・萩地区)

湯田温泉エリアを訪れる外国人来訪者は、秋芳洞エリアに滞在後、湯田温泉エリアを周遊し、宇部（万年池）、湯布院エリアへ訪問する傾向が見られる。萩エリアでは、大宰府エリアから来訪し、秋芳洞、香山公園エリアへの周遊が見られる。季節に応じた訪問地の大きな変化は見られないが、春、秋、冬シーズンで同様の傾向が見られる。

直前直後滞在状況

No.	メッシュコード	ランドマーク
1	51311396	湯田温泉
2	51315302	萩市内
3	51312327	香山公園 (瑠璃光寺)

- 起点メッシュ
- 直前直後滞在メッシュ
- 直前直後滞在メッシュ (域外エリア)



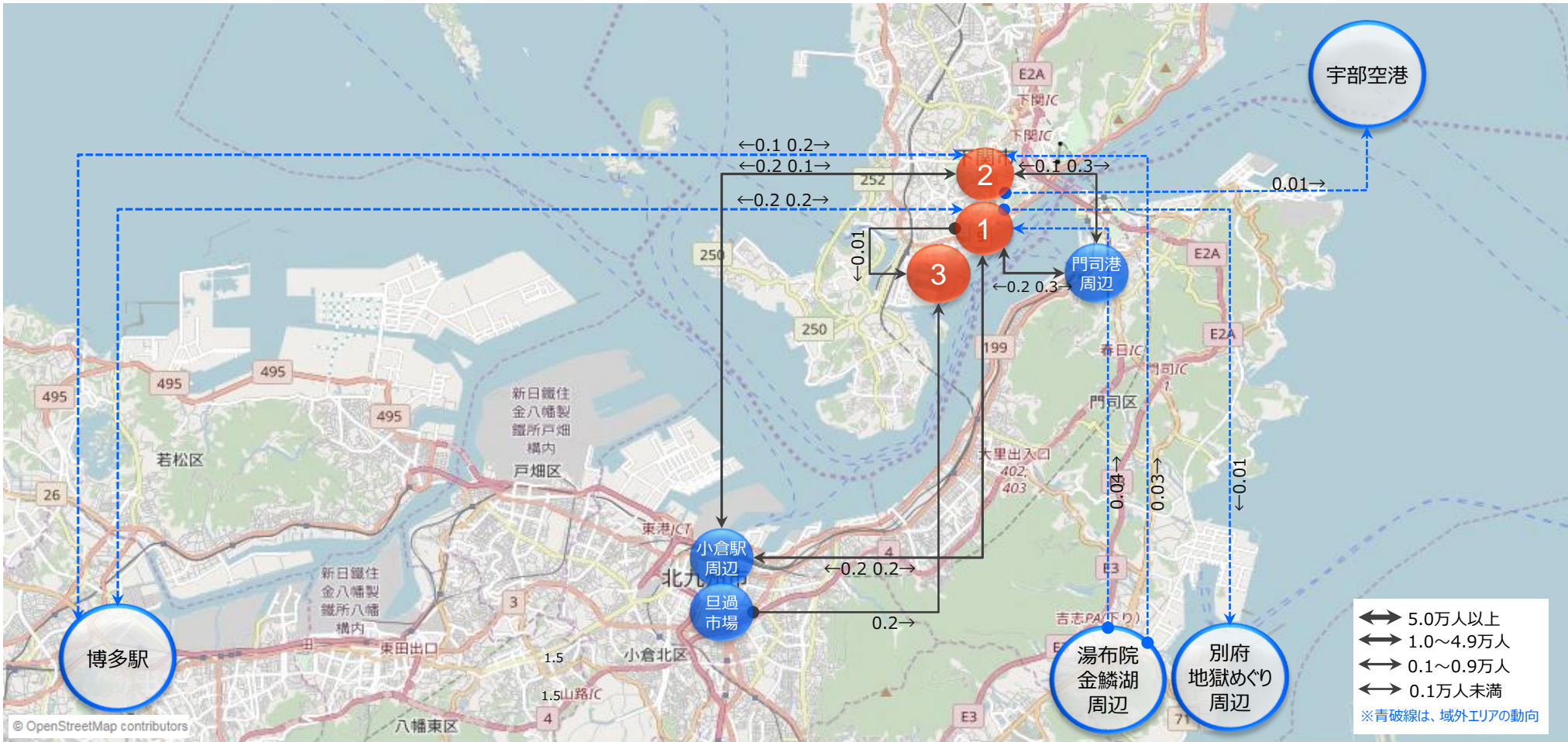
(4) 山口県 ⑦地区内周遊状況 (下関地区)

下関地区を訪れる外国人来訪者は、博多駅、小倉駅、門司港エリアを起点に、海響館／唐戸市場、赤間神宮、ゆめタワー周辺を周遊する傾向が見られる。年間を通じて同様の傾向にあり、季節に応じた訪問地の大きな変化は見られない。

直前直後滞在状況

No.	メッシュコード	ランドマーク
1	50307745	水族館（海響館）／唐戸市場
2	50307755	赤間神宮
3	50307734	ゆめタワー

- 起点メッシュ
- 直前直後滞在メッシュ
- 直前直後滞在メッシュ (域外エリア)



↔ 5.0万人以上
 ↔ 1.0～4.9万人
 ↔ 0.1～0.9万人
 ↔ 0.1万人未満
 ※青破線は、域外エリアの動向

(5) 徳島県 ①国籍別外国人来訪者数及び平均宿泊日数

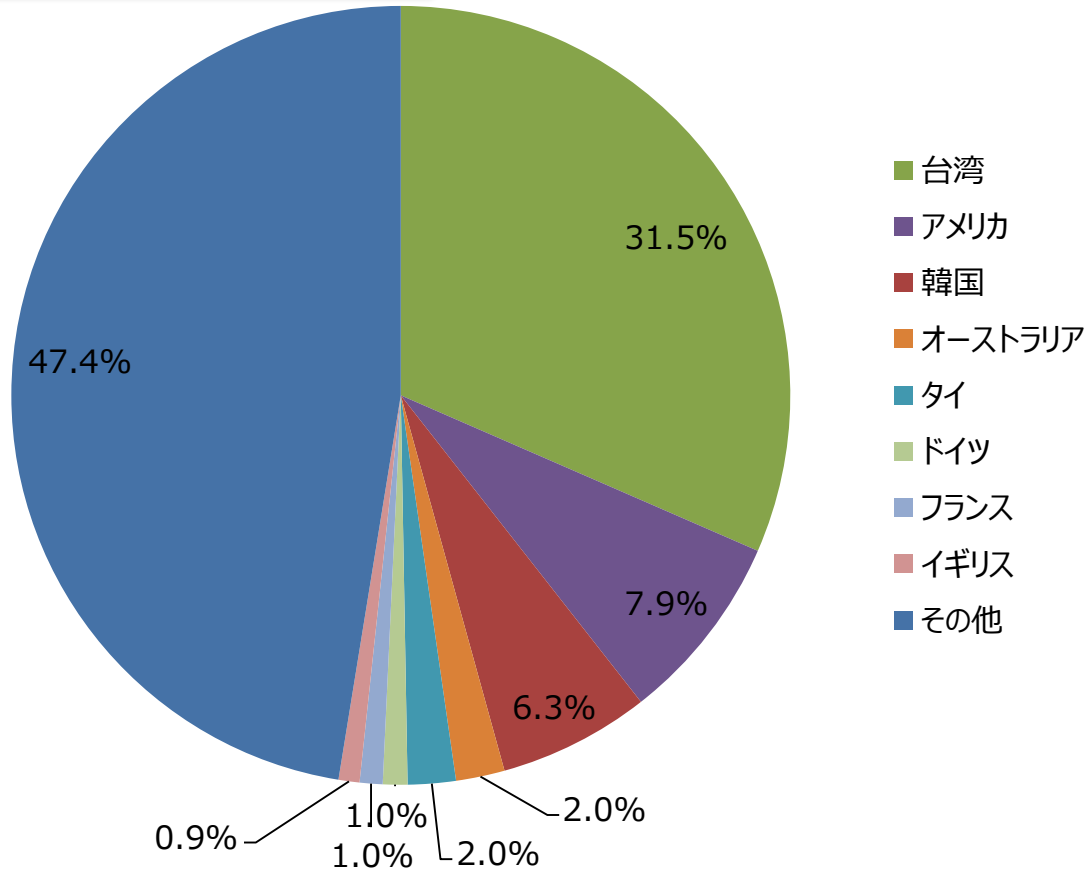
徳島県における年間来訪者数は7.3万人。重点8ヶ国の来訪者構成比は52.6%となっている。国籍別では、台湾が最も多く、31.5%、アメリカ 7.9%、韓国 6.3%の順となっている。東アジア3ヶ国で全体の39.8%、欧米4ヶ国で10.7%を占めている。

重点8ヶ国の平均宿泊日数は2.7日、オーストラリアの宿泊日数が多い。

(平均宿泊日数：最多=オーストラリア_3.2日、最少=台湾_1.7日)

年間来訪者数分析 (累計)

図表 3.5.1 徳島県の外国人来訪者数の国籍別構成比



順位	国籍	来訪者数	割合	平均宿泊日数
1	台湾	23,016	31.5%	1.7日
2	アメリカ	5,754	7.9%	3.1日
3	韓国	4,588	6.3%	2.9日
4	オーストラリア	1,476	2.0%	3.2日
5	タイ	1,453	2.0%	ログデータ僅少のため取得データなし
6	ドイツ	743	1.0%	2.7日
7	フランス	694	1.0%	2.1日
8	イギリス	635	0.9%	3.1日
	その他	34,622	47.4%	-
	合計	72,981	100.0%	8ヶ国平均 2.7日

注記：国籍別構成比については、観光庁等のデータと比較して集計方法の違いから差異がみられるため留意が必要。
平均宿泊日数については、全ての外国人来訪者（全ての来訪目的）を対象としており、観光庁等のデータと比較して差異が見られるため留意が必要。

(5) 徳島県 ②他都市訪問状況 (徳島県訪問者)

徳島県を訪れた外国人来訪者の入出国は、関西空港が47%で最も多く、次いで高松空港（入国25%、出国28%）となっている。他の訪問都市を見ると、香川県高松市が最も多く、次いで愛媛県松山市、大阪府大阪市の順となっている。

図表 3.5.2 徳島県外国人来訪者の出入国空港・港湾

順位	入国空港・港湾	人数	割合
1	関西国際空港	33,466人	46.7%
2	高松空港	18,205人	25.4%
3	成田国際空港	9,224人	12.9%
4	東京国際空港	4,398人	6.1%
5	広島空港	2,969人	4.1%
6	岡山空港	2,751人	3.8%
7	福岡空港	474人	0.7%
8	中部国際空港	219人	0.3%

順位	出国空港・港湾	人数	割合
1	関西国際空港	33,744人	46.8%
2	高松空港	19,983人	27.7%
3	成田国際空港	9,166人	12.7%
4	東京国際空港	4,392人	6.1%
5	岡山空港	2,344人	3.2%
6	広島空港	1,803人	2.5%
7	中部国際空港	704人	1.0%

図表 3.5.3 徳島県外国人来訪者の他都市訪問状況

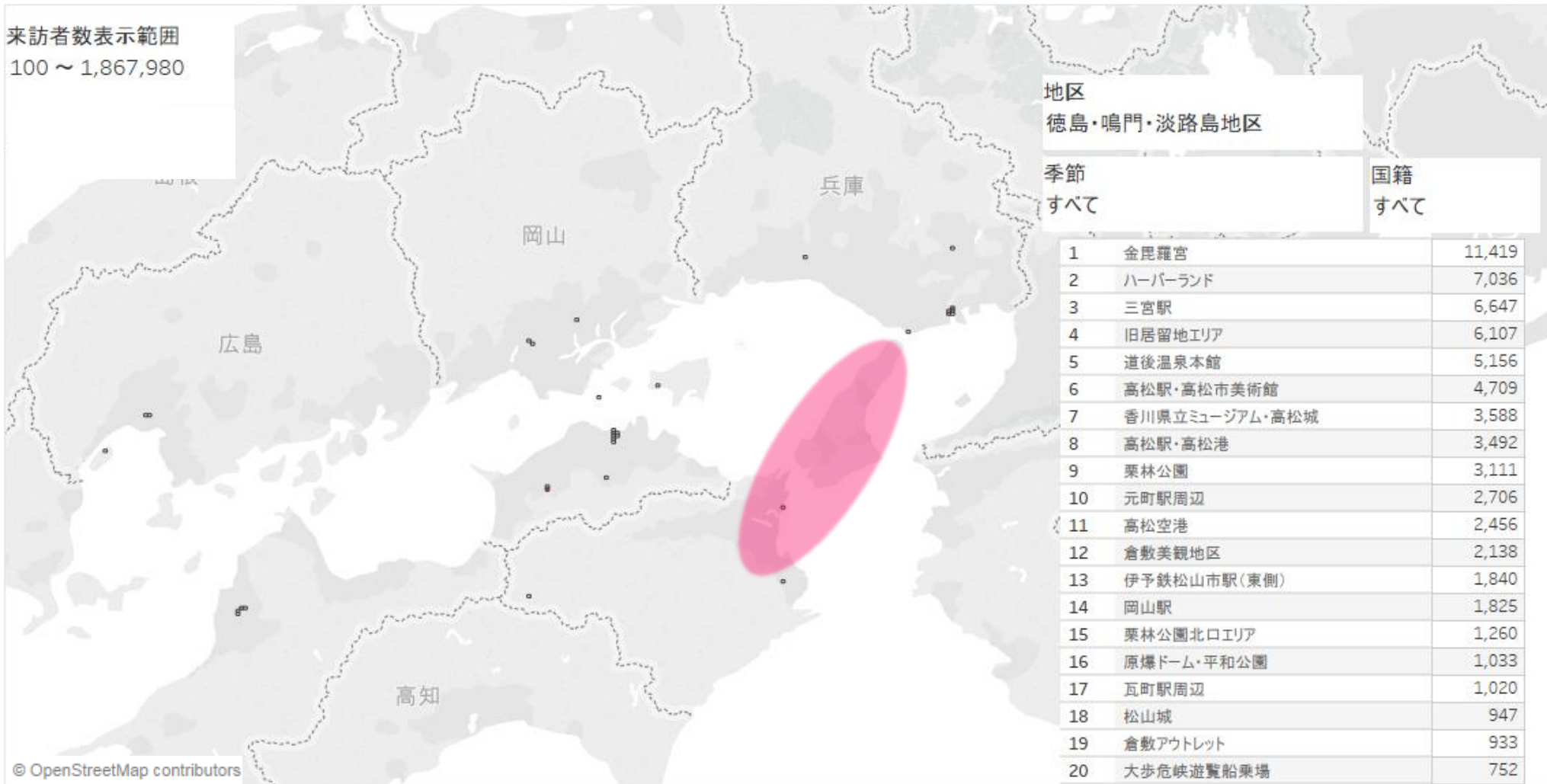


1	香川県 高松市	42,005
2	愛媛県 松山市	30,310
3	大阪府 大阪市	24,331
4	香川県 琴平町	23,544
5	岡山県 倉敷市	16,113
6	高知県 高知市	13,987
7	大阪府 田尻町(関空)	13,283
8	東京都 23区	13,127
9	兵庫県 神戸市中央区	10,376
10	香川県 小豆島町	8,995
11	香川県 丸亀市	8,451
12	岡山県 岡山市北区	8,426
13	大阪府 泉佐野市(関空)	8,047
14	愛媛県 今治市	7,847
15	広島県 廿日市市	7,227
16	高知県 芸西村	6,010
17	香川県 土庄町	5,769
18	兵庫県 姫路市	5,396
19	広島県 広島市中区	4,519
20	岡山県 岡山市中区	3,427

(5) 徳島県 ③他地域訪問状況 (徳島・鳴門・淡路島地区)

他都市訪問状況について、より詳細に見ると、徳島・鳴門・淡路島地区を訪れた旅行者が訪問した地域（メッシュ）としては、金毘羅宮が最も多く、次いでハーバーランド、三宮駅の順となっている。

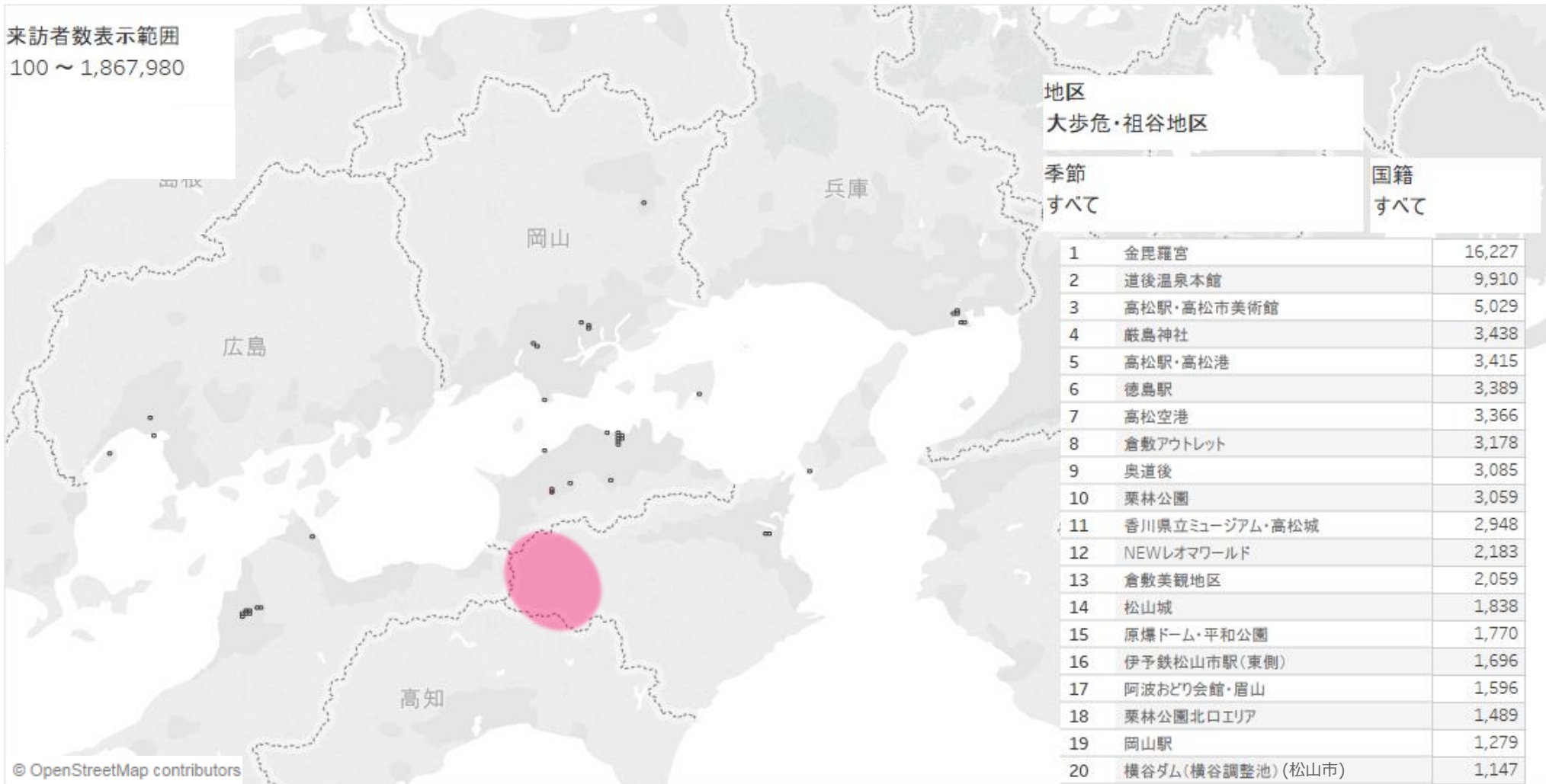
図表 3.5.4 徳島・鳴門・淡路島地区外国人来訪者の他地域（メッシュ）訪問状況



(5) 徳島県 ④他地域訪問状況 (大歩危・祖谷地区)

大歩危・祖谷地区を訪れた旅行者が訪問したその他の地域（メッシュ）としては、金毘羅宮が最も多く、次いで道後温泉本館、高松駅・高松市美術館の順となっている。

図表 3.5.5 大歩危・祖谷地区外国人来訪者の他地域（メッシュ）訪問状況



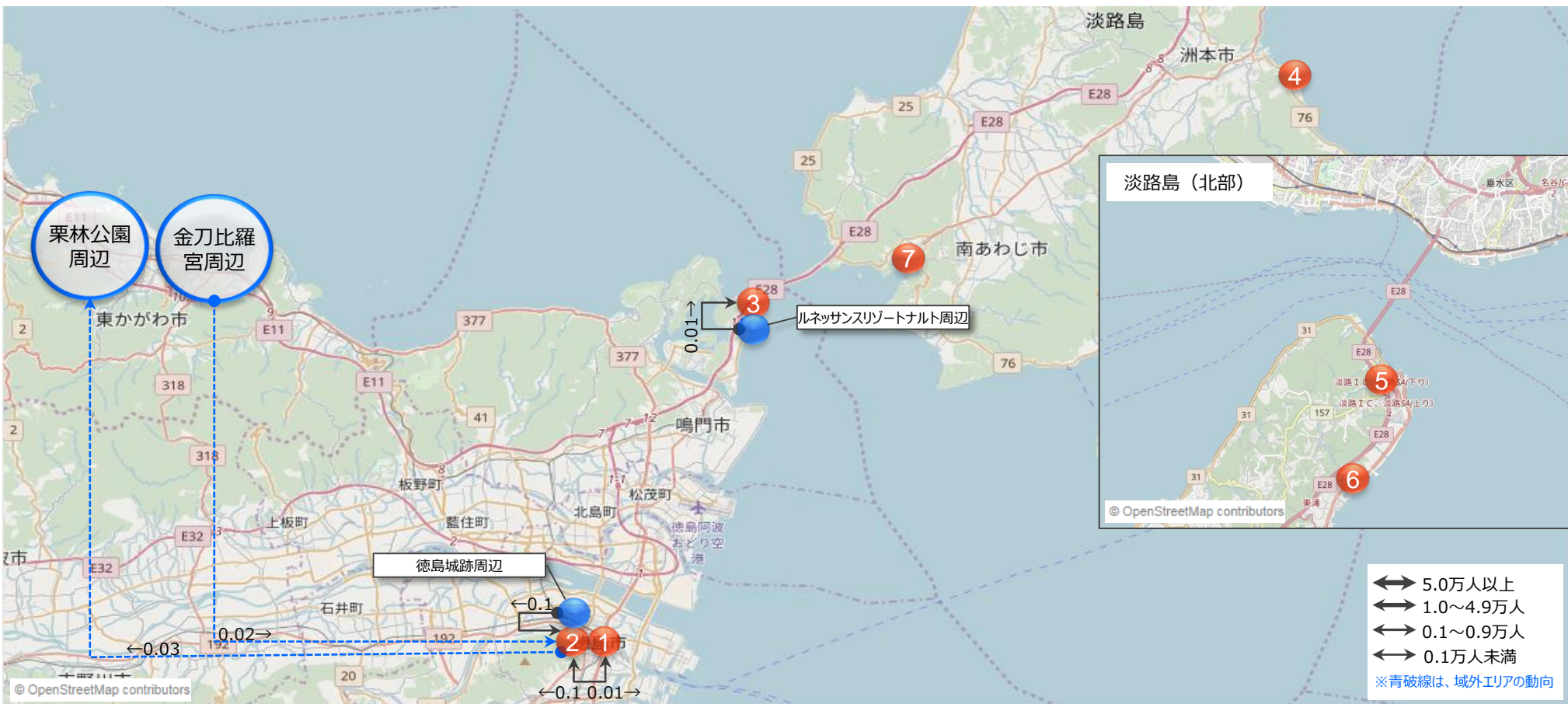
(5) 徳島県 ⑧地区内周遊状況 (徳島・鳴門・淡路島地区)

徳島・鳴門・淡路地区を訪れる外国人来訪者は、金刀比羅宮周辺から、徳島駅、阿波おどり会館・眉山周辺を周遊する傾向が見られる。また、阿波おどり会館・眉山周辺から栗林公園を訪れるルートも見られる。年間を通じて同様の傾向にあり、季節に応じた訪問地の大きな変化は見られないが、主に春シーズンが多い傾向にある。※淡路島（洲本地区、岩屋地区）、淡路夢舞台、福良港周辺については、今回の直前直後滞在調査では、ログデータ僅少のため取得データなし。

直前直後滞在状況

No.	メッシュコード	ランドマーク	No.	メッシュコード	ランドマーク
1	51340484	徳島駅	5	51357001	淡路島 (岩屋地区)
2	51340483	阿波おどり会館・眉山 (びざん)	6	51356060	淡路夢舞台
3	51342570	鳴門渦潮	7	51343507	福良港／淡路人形座
4	51344703	淡路島 (洲本地区)	-	-	-

- 起点メッシュ
- 直前直後滞在メッシュ
- 直前直後滞在メッシュ (域外エリア)



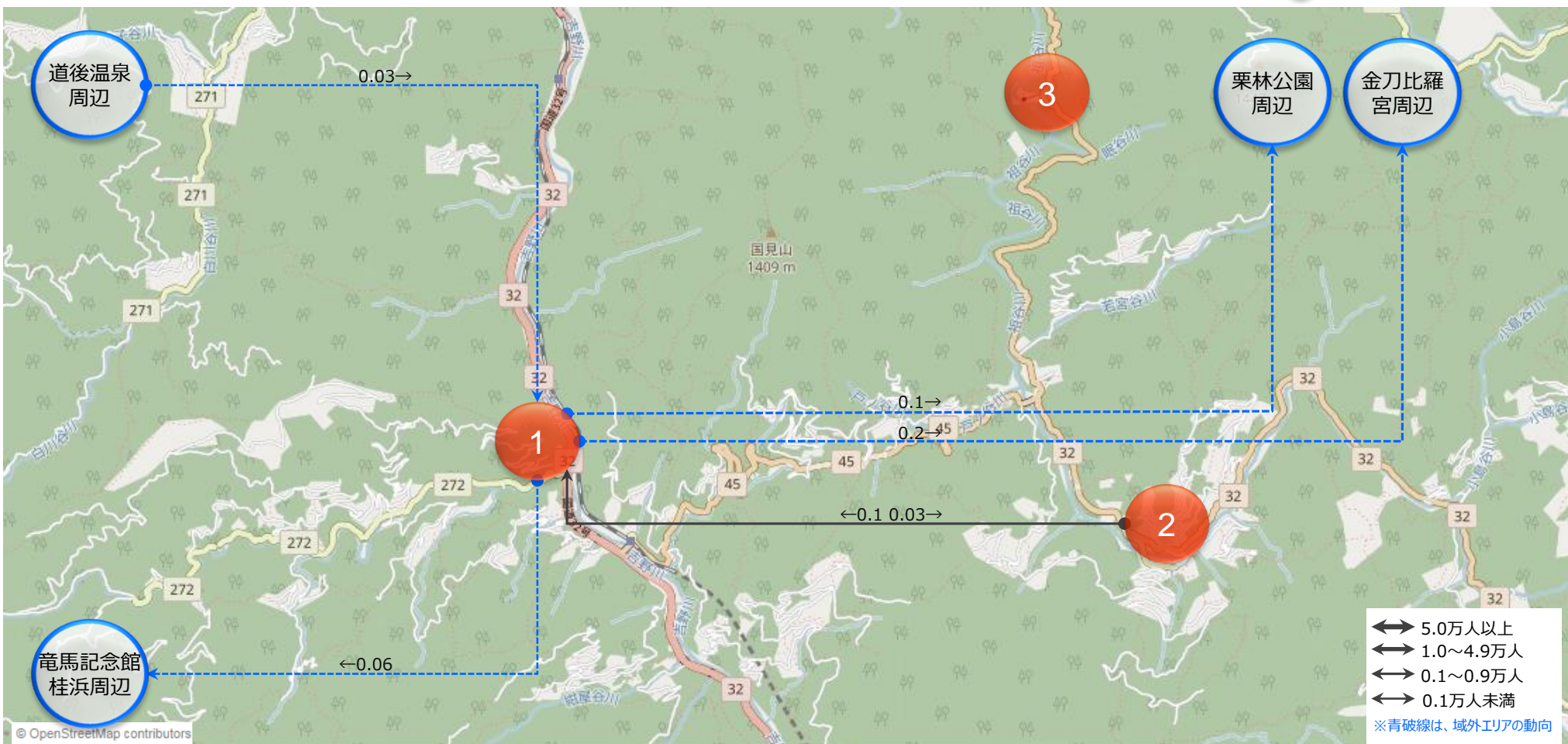
(5) 徳島県 ⑨地区内周遊状況 (大歩危・祖谷地区)

大歩危・祖谷路地区を訪れる外国人来訪者は、道後温泉周辺から大歩危峡周辺を訪れ、祖谷のかずら橋を周遊して栗林公園、金刀比羅宮周辺を訪れる傾向が見られる。年間を通じて同様の傾向にあり、季節に応じた訪問地の大きな変化は見られない。※小便岩周辺については、今回の直前直後滞在調査では、ログデータ僅少のため取得データなし。

直前直後滞在状況

No.	メッシュコード	ランドマーク
1	50336660	大歩危峡遊覧船乗場
2	50336646	祖谷のかずら橋
3	50337605	小便岩 祖谷溪の小便

- 起点メッシュ
- 直前直後滞在メッシュ
- 直前直後滞在メッシュ (域外エリア)



© OpenStreetMap contributors

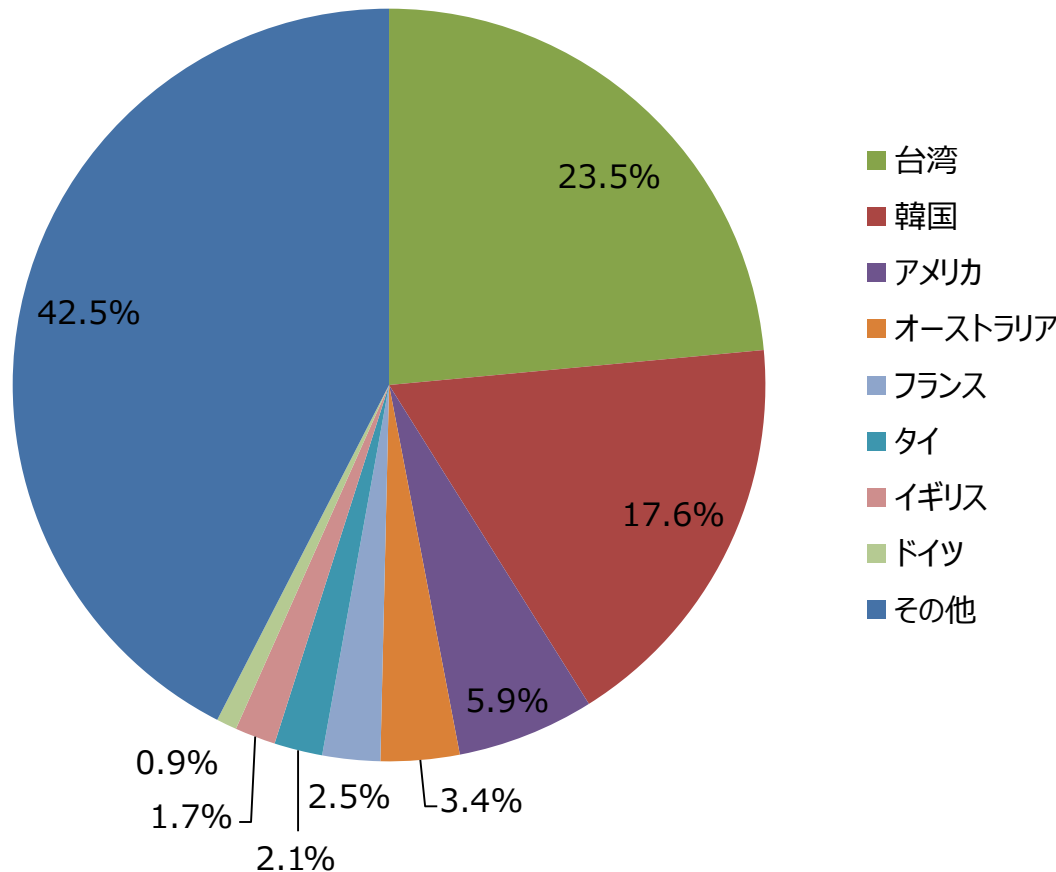
(6) 香川県 ①国籍別外国人来訪者数及び平均宿泊日数

香川県における年間来訪者数は18.9万人。重点8ヶ国の来訪者構成比は、57.5%となっている。国籍別では、台湾が最も多く、23.5%、韓国 17.6%、アメリカ 5.9%の順となっている。東アジア3ヶ国で全体の43.2%、欧米4ヶ国で11.0%を占めている。

重点8ヶ国の平均宿泊日数は2.5日、ドイツ・タイの宿泊日数が多い。
 (平均宿泊日数：最多=ドイツ_3.2日、最少=台湾_2.0日)

年間来訪者数分析 (累計)

図表 3.6.1 香川県の外国人来訪者数の国籍別構成比



順位	国籍	来訪者数	割合	平均宿泊日数
1	台湾	44,335	23.5%	2.0日
2	韓国	33,120	17.6%	2.1日
3	アメリカ	11,117	5.9%	2.5日
4	オーストラリア	6,377	3.4%	2.5日
5	フランス	4,672	2.5%	2.3日
6	タイ	3,907	2.1%	3.0日
7	イギリス	3,295	1.7%	2.4日
8	ドイツ	1,658	0.9%	3.2日
	その他	80,028	42.5%	-
	合計	188,509	100.0%	8ヶ国平均 2.5日

注記：国籍別構成比については、観光庁等のデータと比較して集計方法の違いから差異がみられるため留意が必要。
 平均宿泊日数については、全ての外国人来訪者（全ての来訪目的）を対象としており、観光庁等のデータと比較して差異が見られるため留意が必要。

(6) 香川県 ②他都市訪問状況 (香川県訪問者)

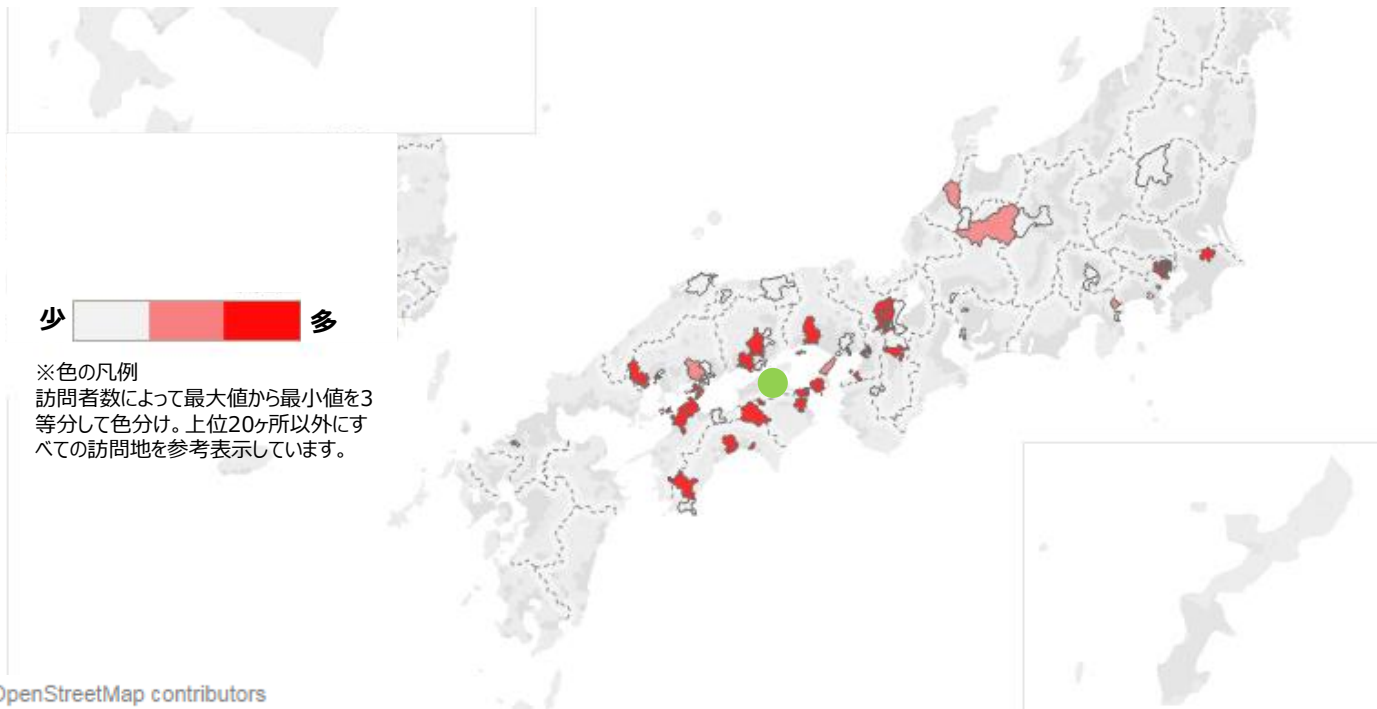
香川県を訪れた外国人来訪者の入出国は、高松空港が37%で最も多く、次いで関西空港が29%となっている。他の訪問都市を見ると、東京都23区が最も多く、次いで京都府京都市、大阪府大阪市の順となっている。

図表 3.6.2 香川県外国人来訪者の出入国空港・港湾

順位	入国空港・港湾	人数	割合
1	高松空港	67,487人	36.6%
2	関西国際空港	54,435人	29.5%
3	成田国際空港	28,126人	15.3%
4	東京国際空港	13,384人	7.3%
5	広島空港	6,300人	3.4%
6	岡山空港	5,830人	3.2%
7	福岡空港	4,022人	2.2%
8	中部国際空港	2,936人	1.6%
9	比田勝港 (対馬)	511人	0.3%
10	新千歳空港	307人	0.2%

順位	出国空港・港湾	人数	割合
1	高松空港	70,175人	37.7%
2	関西国際空港	55,520人	29.9%
3	成田国際空港	27,671人	14.9%
4	東京国際空港	13,246人	7.1%
5	福岡空港	5,356人	2.9%
6	岡山空港	5,287人	2.8%
7	広島空港	4,455人	2.4%
8	中部国際空港	2,799人	1.5%
9	美保飛行場(米子)	459人	0.2%
10	比田勝港 (対馬)	370人	0.2%

図表 3.6.3 香川県外国人来訪者の他都市訪問状況

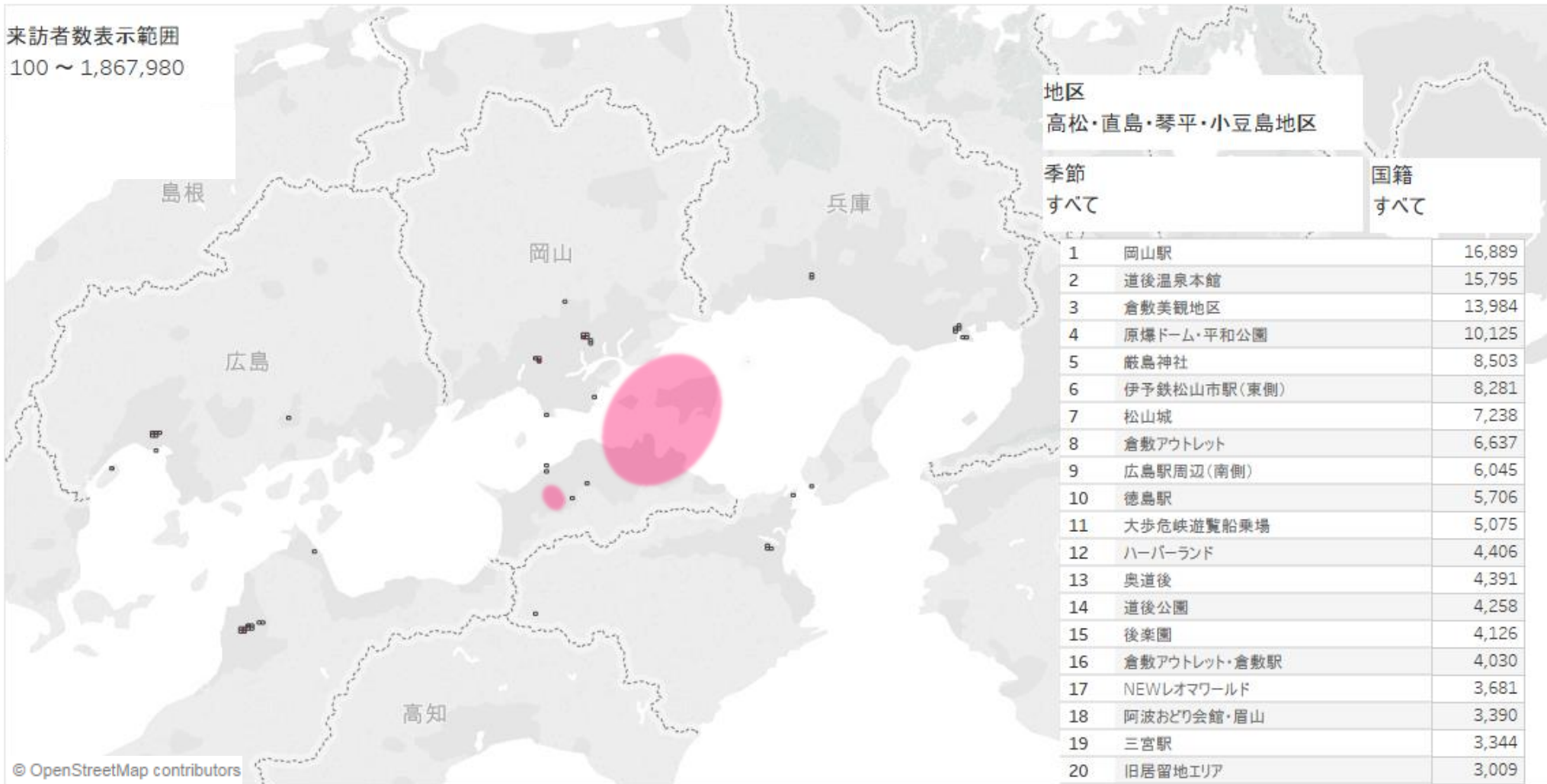


1	東京都 23区	131,912
2	京都府 京都市	77,069
3	大阪府 大阪市	70,292
4	愛媛県 松山市	44,745
5	岡山県 倉敷市	39,380
6	徳島県 三好市	33,399
7	岡山県 岡山市北区	32,543
8	大阪府 田尻町 (関空)	20,721
9	兵庫県 神戸市中央区	19,581
10	高知県 高知市	19,293
11	広島県 広島市中区	18,477
12	広島県 廿日市市	16,912
13	兵庫県 姫路市	16,145
14	徳島県 徳島市	15,602
15	千葉県 成田市	14,332
16	大阪府 泉佐野市 (関空)	13,757
17	奈良県 奈良市	11,207
18	愛媛県 今治市	10,764
19	岡山県 岡山市中区	8,360
20	広島県 広島市南区	6,456

(6) 香川県 ③他地域訪問状況 (高松・直島・琴平・小豆島地区)

他都市訪問状況について、より詳細に見ると、高松・直島・琴平・小豆島地区を訪れた旅行者が訪問した地域（メッシュ）としては、岡山駅が最も多く、次いで道後温泉本館、倉敷美観地区の順となっている。

図表 3.6.3 高松・直島・琴平・小豆島地区外国人来訪者の他地域（メッシュ）訪問状況



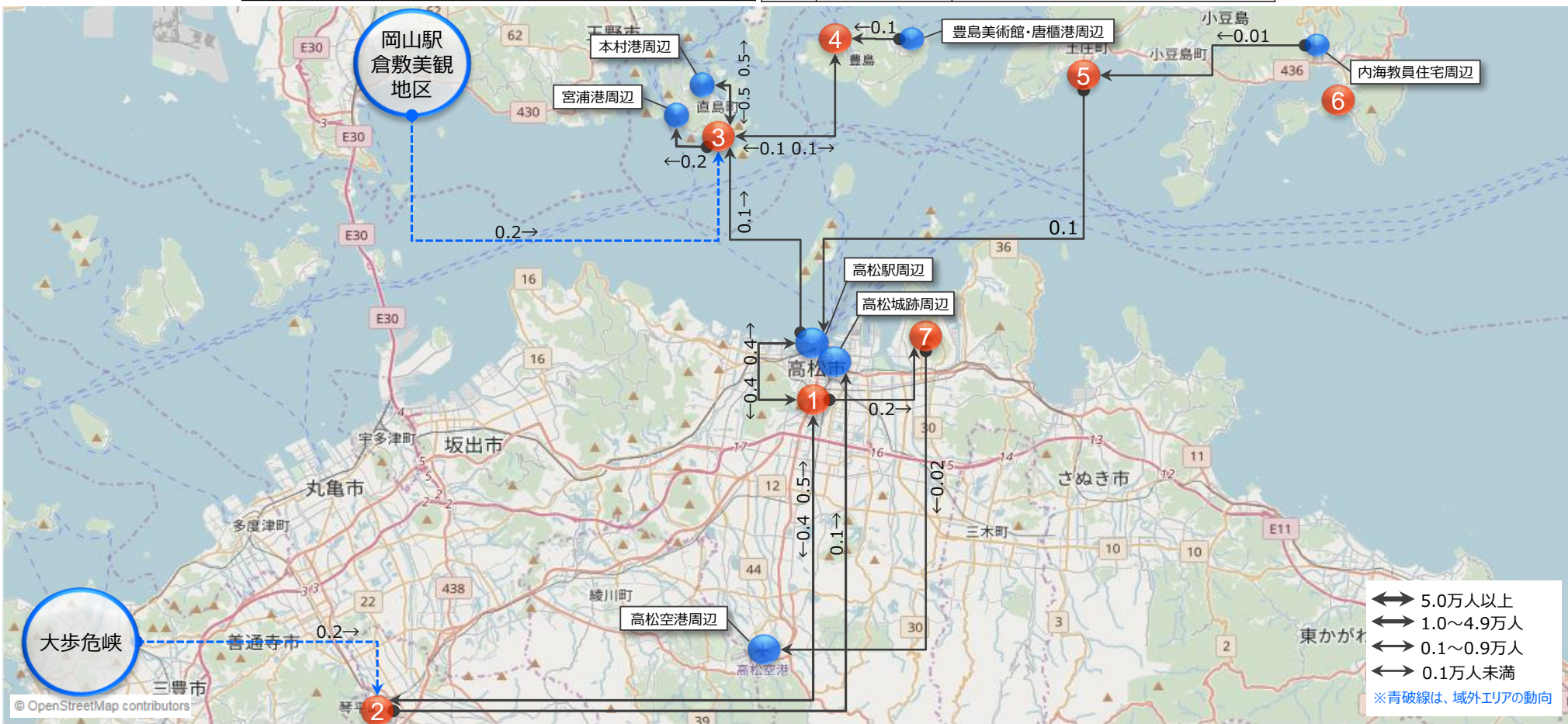
(6) 香川県 ⑩地区内周遊状況 (高松・直島・琴平・小豆島地区)

高松・琴平地区を訪れる外国人旅行者は、高松駅エリアを起点に栗林公園、金毘羅宮エリアを周遊している傾向が見られる。旅行者の一部は大歩危峡エリアから金毘羅宮周辺を訪れ周遊している状況も見られる。岡山・倉敷地区から多くの旅行者が直島・豊島エリアを周遊している状況が見られる。年間を通じて同様の傾向にあり、季節に応じた訪問地の大きな変化は見られない。※小豆島 (マルキン醤油記念館近く) については、今回の直前直後滞在調査では、ログデータ僅少のため取得データなし。

直前直後滞在状況

No.	メッシュコード	ランドマーク	No.	メッシュコード	ランドマーク
1	51343093	栗林公園	5	51345175	小豆島エンジェルロード
2	51332625	金比羅宮	6	51345255	小豆島 (マルキン醤油記念館近く)
3	51335739	ベネッセハウス (直島)	7	51344028	屋島城跡展望台
4	51345084	豊島家浦地区	-	-	-

- 起点メッシュ
- 直前直後滞在メッシュ
- 直前直後滞在メッシュ (域外エリア)



↔ 5.0万人以上
↔ 1.0~4.9万人
↔ 0.1~0.9万人
↔ 0.1万人未満
 ※青破線は、域外エリアの動向

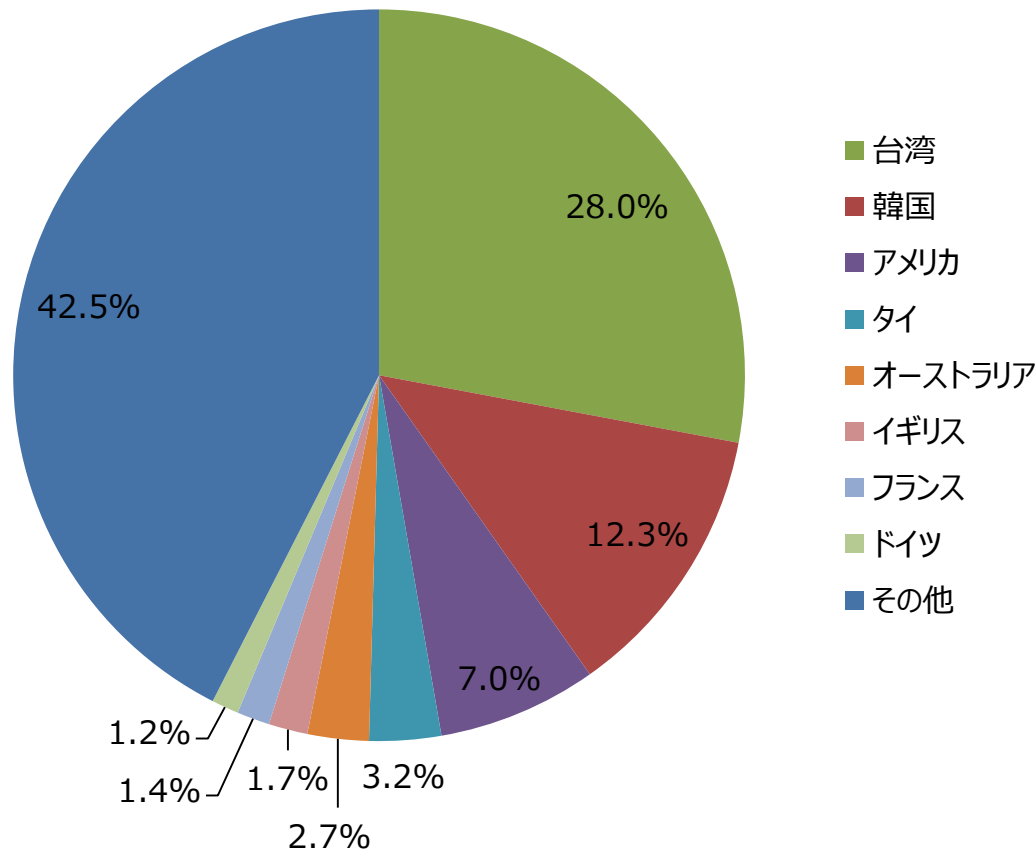
(7) 愛媛県 ①国籍別外国人来訪者数及び平均宿泊日数

愛媛県における年間来訪者数は9.9万人。重点8ヶ国の来訪者構成比は、57.5%となっている。国籍別では、台湾が最も多く、28.0%、韓国 12.3%、アメリカ 7.0%の順となっている。東アジア3ヶ国で全体の43.4%、欧米4ヶ国で11.4%を占めている。

重点8ヶ国の平均宿泊日数は3.0日、欧米豪の宿泊日数が多い。
(平均宿泊日数：最多=ドイツ_3.8日、最少=台湾_1.4日)

年間来訪者数分析 (累計)

図表 3.7.1 愛媛県の外国人来訪者数の国籍別構成比



順位	国籍	来訪者数	割合	平均宿泊日数
1	台湾	27,749	28.0%	1.4日
2	韓国	12,179	12.3%	2.4日
3	アメリカ	6,990	7.0%	3.3日
4	タイ	3,145	3.2%	3.4日
5	オーストラリア	2,687	2.7%	3.3日
6	イギリス	1,711	1.7%	3.6日
7	フランス	1,439	1.4%	3.1日
8	ドイツ	1,188	1.2%	3.8日
	その他	42,171	42.5%	-
	合計	99,259	100.0%	8ヶ国平均 3.0日

注記：国籍別構成比については、観光庁等のデータと比較して集計方法の違いから差異がみられるため留意が必要。
平均宿泊日数については、全ての外国人来訪者（全ての来訪目的）を対象としており、観光庁等のデータと比較して差異が見られるため留意が必要。

(7) 愛媛県 ②他都市訪問状況 (愛媛県訪問者)

愛媛県を訪れた外国人来訪者の入出国は、関西空港（入国24%、出国26%）が最も多く、次いで高松空港となっている。他県と比較して入出国空港が分散している傾向にある。他の訪問都市を見ると、香川県高松市が最も多く、次いで東京都23区、徳島県三好市の順となっている。

図表 3.7.2 愛媛県外国人来訪者の出入国空港・港湾

順位	入国空港・港湾	人数	割合	順位	出国空港・港湾	人数	割合
1	関西国際空港	22,693人	24.0%	1	関西国際空港	24,937人	26.2%
2	高松空港	21,379人	22.6%	2	高松空港	23,181人	24.3%
3	成田国際空港	17,762人	18.8%	3	成田国際空港	17,461人	18.3%
4	広島空港	13,160人	13.9%	4	広島空港	11,397人	12.0%
5	東京国際空港	8,483人	9.0%	5	東京国際空港	8,395人	8.8%
6	福岡空港	5,295人	5.6%	6	福岡空港	4,752人	5.0%
7	岡山空港	3,060人	3.2%	7	岡山空港	2,836人	3.0%
8	中部国際空港	1,394人	1.5%	8	中部国際空港	1,099人	1.2%
9	松山空港	827人	0.9%	9	松山空港	884人	0.9%
10	比田勝港 (対馬)	386人	0.4%	10	比田勝港 (対馬)	383人	0.4%

図表 3.7.3 愛媛県外国人来訪者の他都市訪問状況



少 多

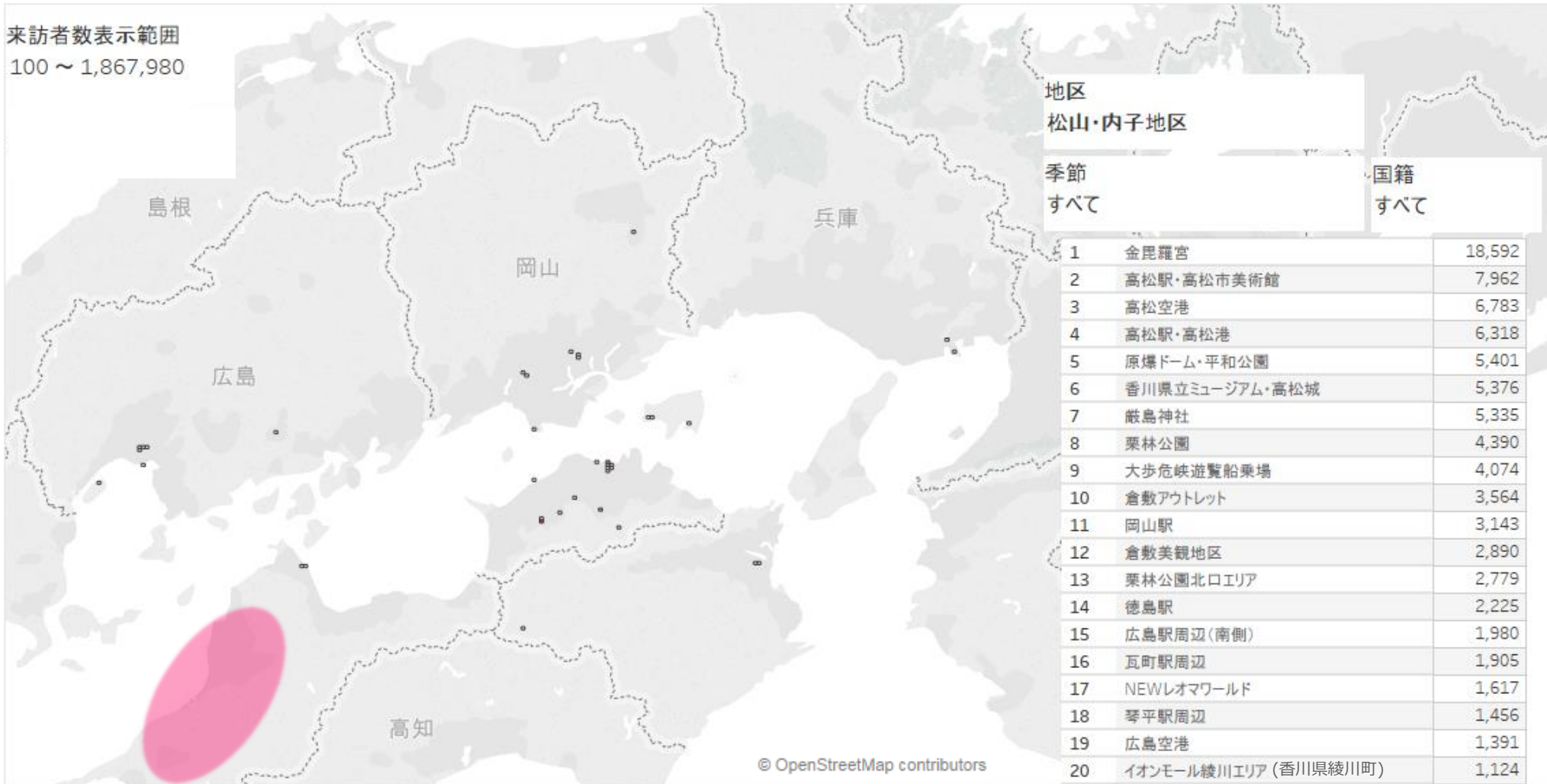
※色の凡例
訪問者数によって最大値から最小値を3等分して色分け。上位20分以外にすべての訪問地を参考表示しています。

1	香川県 高松市	44,761
2	東京都 23区	34,267
3	徳島県 三好市	26,363
4	香川県 琴平町	23,917
5	岡山県 倉敷市	17,661
6	大阪府 大阪市	15,801
7	高知県 高知市	15,170
8	広島県 廿日市市	11,906
9	広島県 広島市中区	11,740
10	岡山県 岡山市北区	10,744
11	大阪府 田尻町 (関空)	8,766
12	徳島県 徳島市	8,559
13	香川県 丸亀市	7,947
14	香川県 小豆島町	7,329
15	京都府 京都市	6,793
16	香川県 土庄町	5,540
17	広島県 三原市	5,483
18	広島県 広島市南区	5,366
19	兵庫県 神戸市中央区	5,041
20	千葉県 成田市	4,862

(7) 愛媛県 ③他地域訪問状況 (松山・内子地区)

他都市訪問状況について、より詳細に見ると、松山・内子地区を訪れた旅行者が訪問したその他の地域（メッシュ）としては、金毘羅宮が最も多く、次いで高松駅・高松市美術館、高松空港の順となっている。

図表 3.7.3 松山・内子地区外国人来訪者の他地域（メッシュ）訪問状況



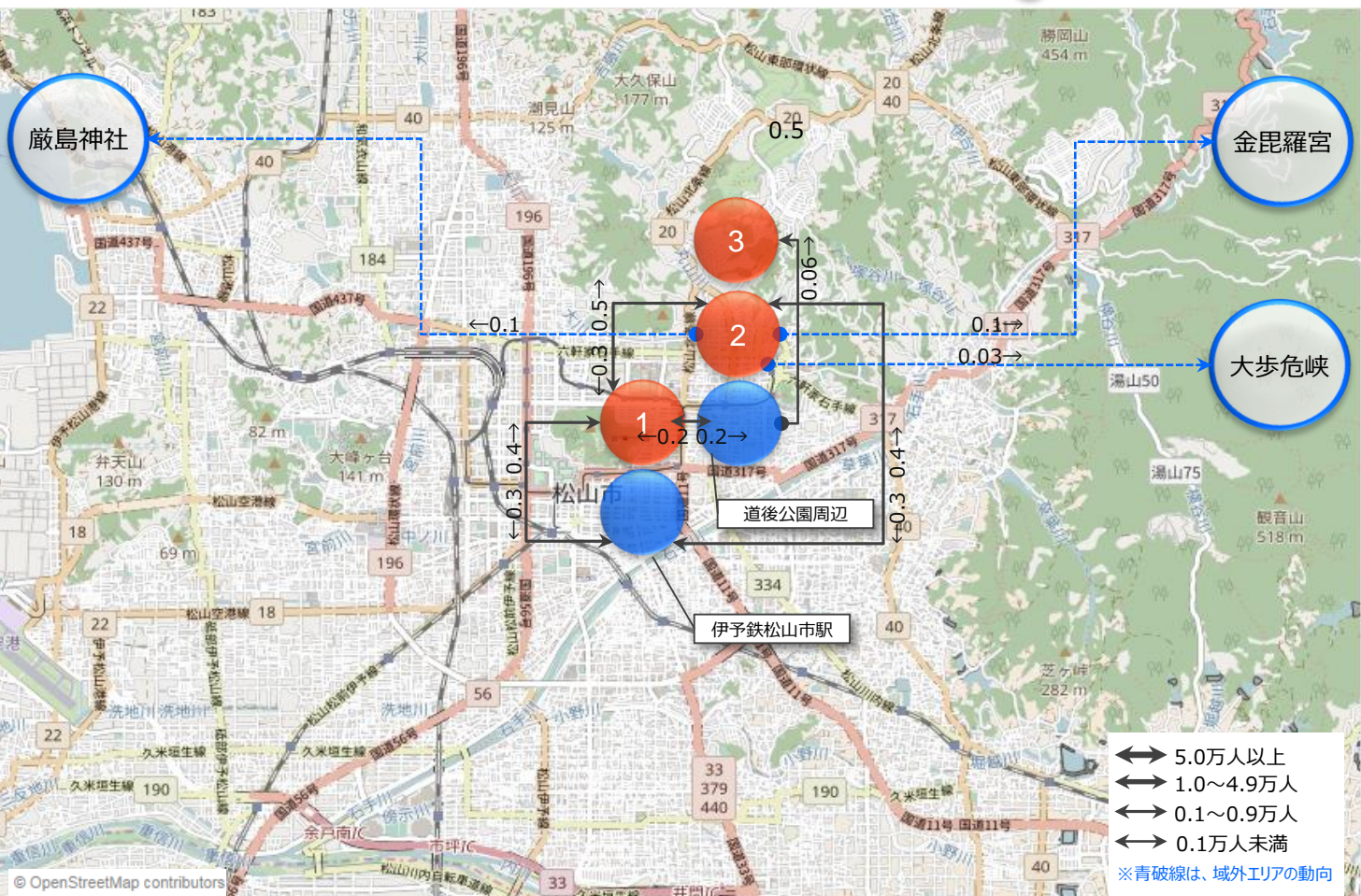
(7) 愛媛県 ⑪地区内周遊状況 (松山・内子地区)

松山地区を訪れる外国人来訪者は、松山駅を起点に、松山城、道後温泉本館エリアを周遊している傾向が見られる。松山地区の前後滞在訪問地として厳島神社、金毘羅宮、大歩危峡エリアへ訪れる傾向が見られる。年間を通じて同様の傾向にあり、季節に応じた訪問地の大きな変化は見られない。※内子町、大洲市エリアについては、今回の直前直後滞在調査では、ログデータ僅少のため取得データなし。

直前直後滞在状況

No.	メッシュコード	ランドマーク	No.	メッシュコード	ランドマーク
1	50326611	松山城	4	50322562	内子町中心地
2	50326622	道後温泉本館	5	50322403	大洲市街地 (臥龍山荘)
3	50326636	奥道後	-	-	-

- 起点メッシュ
- 直前直後滞在メッシュ
- 直前直後滞在メッシュ (域外エリア)



↔ 5.0万人以上
 ↔ 1.0~4.9万人
 ↔ 0.1~0.9万人
 ↔ 0.1万人未満
 ※青破線は、域外エリアの動向

4. 外国人観光客の国籍別動向

- (1) 韓国
- (2) 台湾
- (3) タイ
- (4) オーストラリア
- (5) アメリカ
- (6) フランス
- (7) イギリス
- (8) ドイツ
- (9) 興味あるテーマ (国別)

(1) 韓国 ①入出国空港・港湾、交通手段

韓国から瀬戸内エリアへは63.6万人が訪れている。入出国空港・港湾は、兵庫県、岡山県、徳島県は関西空港、広島県は広島・福岡空港、山口県は福岡・北九州空港、香川県・愛媛県は高松空港の利用が多く、地域内周遊はあまりみられない。

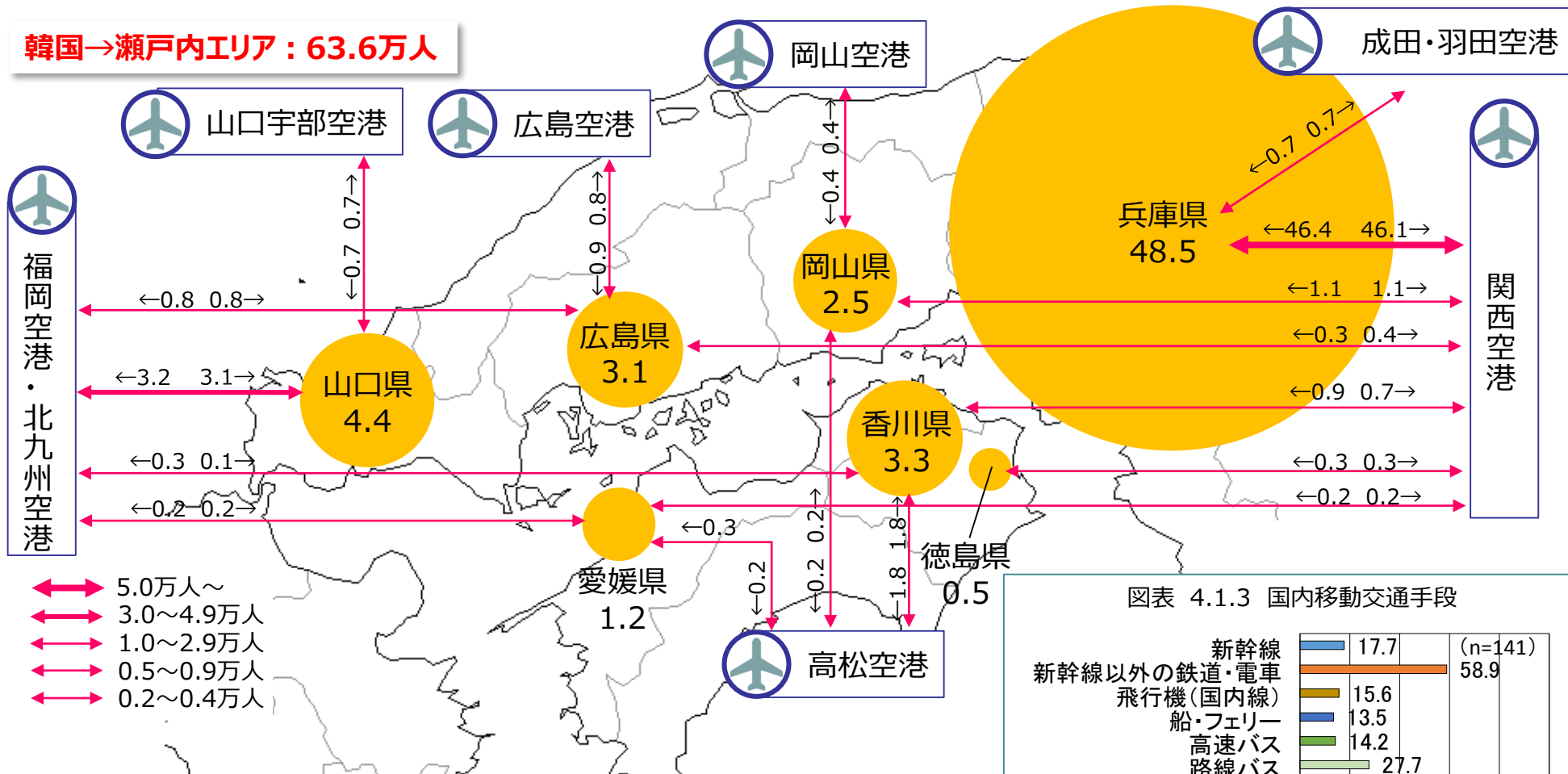
図表 4.1.1 韓国からの来訪者の各県別入出国空港・港湾

30.0%以上 10.0~29.9%

入国		兵庫県		岡山県		広島県		山口県		徳島県		香川県		愛媛県	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
域外 主要 空港	関西国際空港	464,196人	96.6%	10,597人	54.8%	2,690人	11.7%	697人	1.4%	2,588人	71.1%	8,684人	29.4%	1,633人	21.6%
	成田国際空港	4,774人	1.0%	162人	0.8%	855人	3.7%	-	-	-	-	55人	0.2%	-	-
	東京国際空港	2,282人	0.5%	88人	0.5%	418人	1.8%	-	-	-	-	-	-	-	-
	福岡空港	2,287人	0.5%	1,566人	8.1%	8,413人	36.7%	19,171人	38.3%	-	-	1,481人	5.0%	1,756人	23.2%
域内 主要 空港	岡山空港	459人	0.1%	3,829人	19.8%	-	-	-	-	-	-	733人	2.5%	-	-
	広島空港	-	-	477人	2.5%	9,135人	39.9%	375人	0.7%	-	-	85人	0.3%	871人	11.5%
	高松空港	475人	0.1%	2,235人	11.6%	114人	0.5%	-	-	1,053人	28.9%	17,627人	59.8%	2,518人	33.3%
その他 空港・港湾	大阪港	0.6%	美保(米子)	1.2%	博多港	1.5%	北九州空	24.1%	-	-	比田勝港	1.3%	比田勝港	4.7%	
	中部国際	0.4%	境港	0.9%	比田勝港	1.4%	山口宇部	13.2%	-	-	北九州空	0.7%	松山空港	2.4%	
	北九州空港	0.1%	-	-	広島港	0.5%	下関港	8.9%	-	-	新千歳空	0.4%	北九州空	1.9%	

出国		兵庫県		岡山県		広島県		山口県		徳島県		香川県		愛媛県	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
域外	関西国際空港	461,382人	96.1%	11,217人	55.7%	3,755人	16.1%	880人	1.8%	2,824人	71.1%	7,465人	25.1%	2,206人	30.7%
	成田国際空港	5,006人	1.0%	421人	2.1%	1,271人	5.5%	-	-	-	-	164人	0.6%	-	-
	東京国際空港	2,411人	0.5%	181人	0.9%	673人	2.9%	-	-	-	-	36人	0.1%	-	-
	福岡空港	5,880人	1.2%	1,505人	7.5%	8,350人	35.9%	19,328人	38.7%	-	-	3,184人	10.7%	1,594人	22.2%
域内	岡山空港	449人	0.1%	3,717人	18.5%	82人	0.4%	-	-	-	-	586人	2.0%	-	-
	広島空港	-	-	155人	0.8%	7,876人	33.8%	312人	0.6%	-	-	78人	0.3%	271人	3.8%
	高松空港	308人	0.1%	2,265人	11.2%	-	-	-	-	1,150人	28.9%	17,593人	59.3%	2,485人	34.6%
その他	大阪港	0.5%	米子空港	1.7%	博多港	1.8%	北九州空	25.6%	-	-	比田勝港	1.2%	松山空港	2.8%	
	中部国際	0.3%	境港	1.1%	北九州空	1.4%	山口宇部	13.1%	-	-	門司港	0.2%	中部国際	1.1%	
	神戸港	0.1%	中部国際	0.5%	比田勝港	1.3%	比田勝港	6.8%	-	-	博多港	0.2%	-	-	

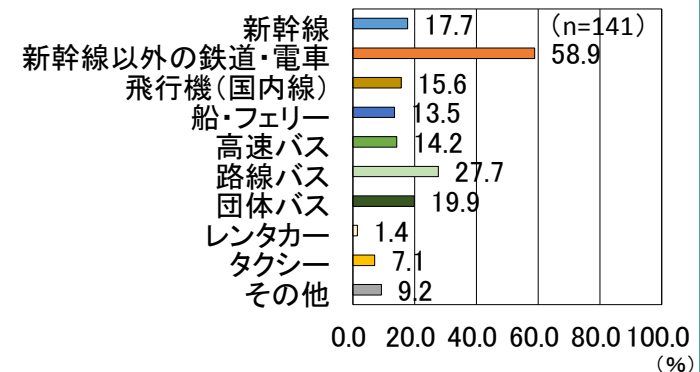
図表 4.1.2 韓国からの各県別来訪者数及び各空港・港湾利用者数



単位：万人

注記：各県の入出国空港・港湾について、0.2万人以上（四捨五入後）の動きを表示。
 空港・港湾の入出国数は重複があることに留意が必要。

図表 4.1.3 国内移動交通手段

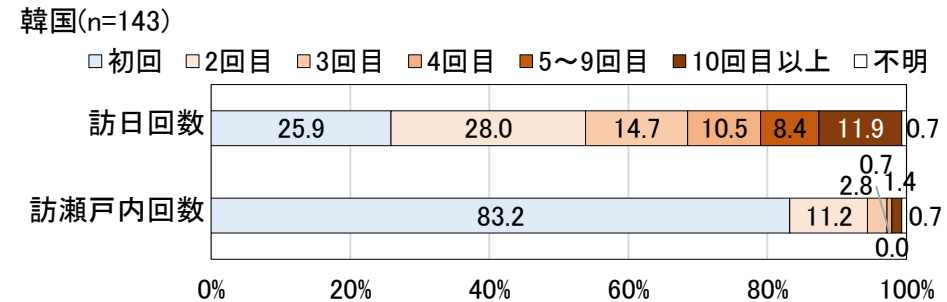


(1) 韓国 ②訪日回数・情報収集場所

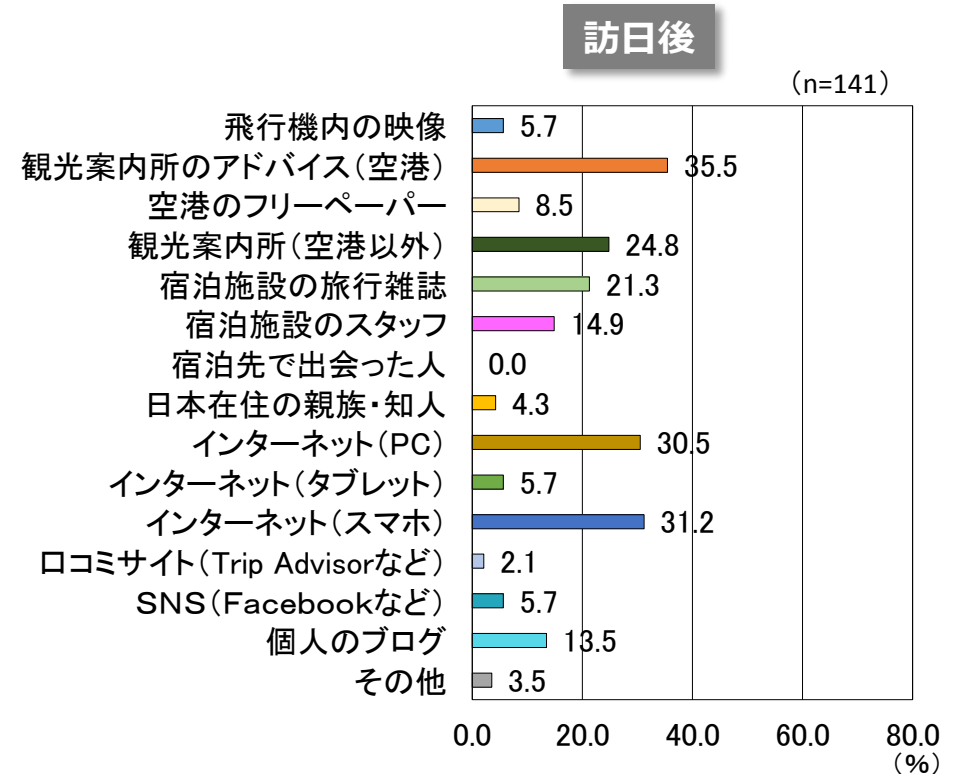
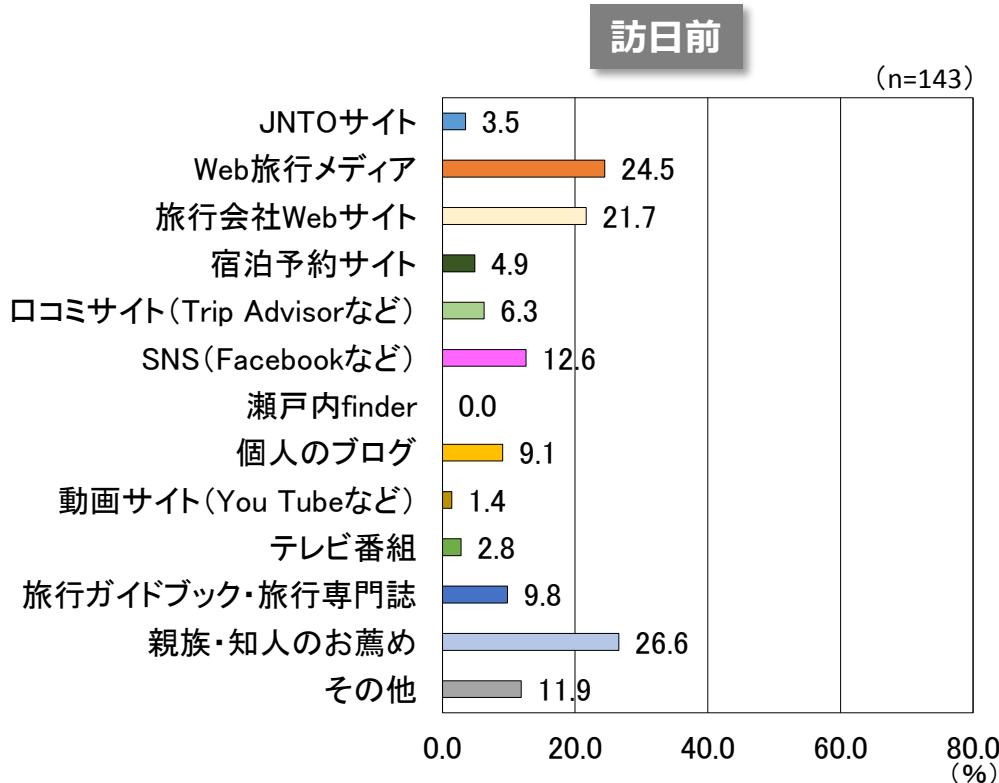
瀬戸内エリアを訪れた観光客に対するアンケート調査によると、訪日リピーターが多く、初めての訪日で瀬戸内エリアを訪れた人は全体の約26%となっている。

また、訪日前の情報収集場所は、親族・知人、WEB旅行メディア、旅行会社WEBサイトが多く、旅行ガイドブック等の紙媒体はあまり活用されていない。訪日後は、PCやスマホ利用のほか、観光案内所の利用が多いことが特徴である。

図表 4.1.4 訪日回数・訪せとうち回数



図表 4.1.5 情報収集場所 (アンケート調査結果)



(2) 台湾 ①入出国空港・港湾

台湾から瀬戸内エリアへは55.5万人が訪れている。入出国空港・港湾は、兵庫県、岡山県は関西空港、広島県は広島空港、山口県は福岡空港、四国3県は高松空港と関西空港の利用が多く、地域内周遊はあまりみられない。

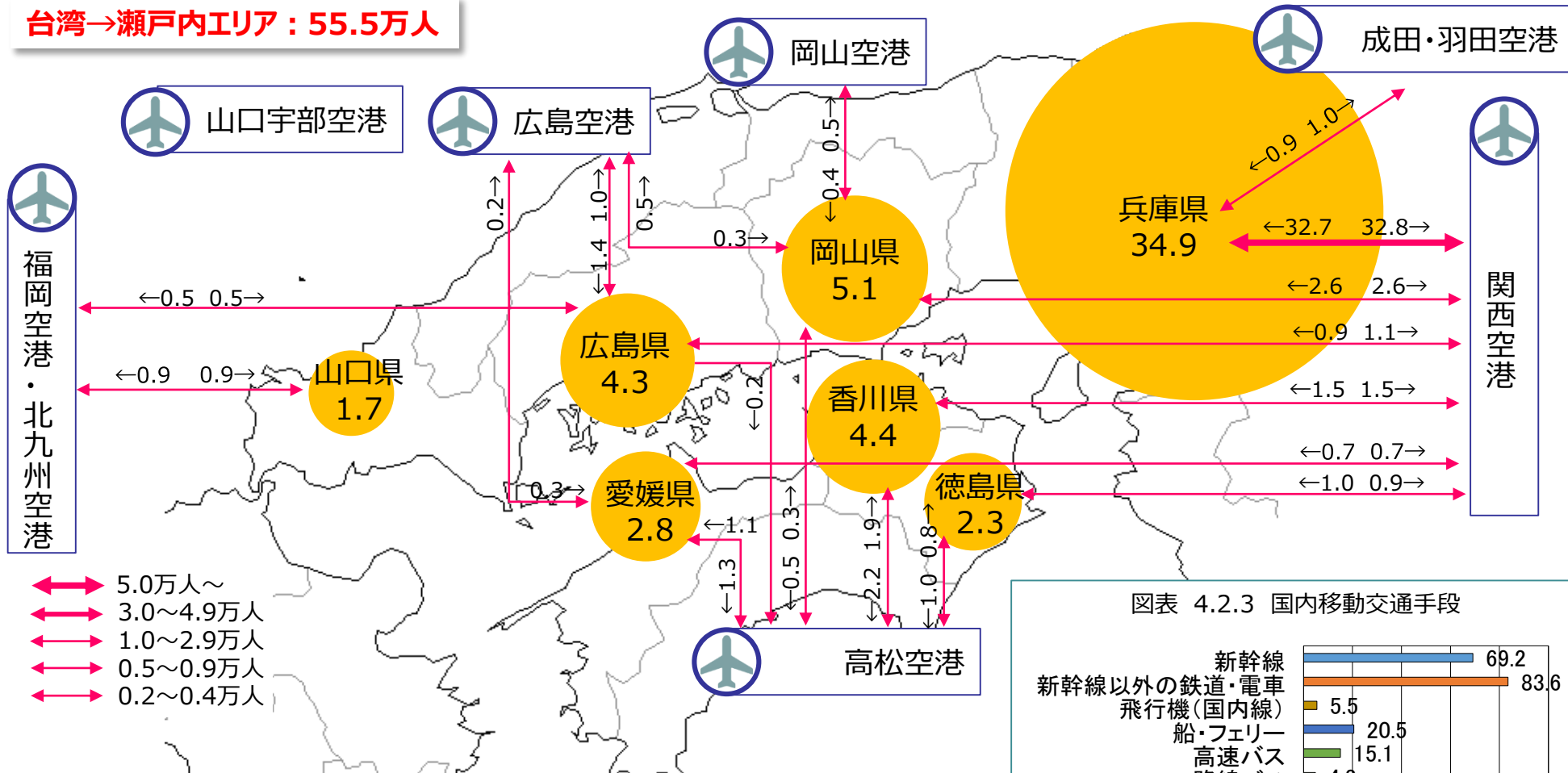
図表 4.2.1 台湾からの来訪者の各県別入出国空港・港湾

30.0%以上 10.0~29.9%

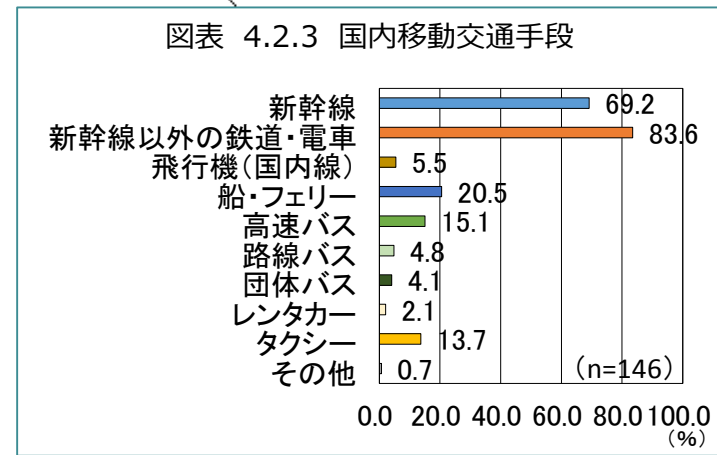
入国	空港・港湾	兵庫県		岡山県		広島県		山口県		徳島県		香川県		愛媛県	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
域外 主要 空港	関西国際空港	327,228人	94.6%	25,857人	66.0%	9,204人	29.9%	314人	3.0%	9,889人	51.6%	14,779人	38.8%	7,234人	33.1%
	成田国際空港	6,386人	1.8%	203人	0.5%	797人	2.6%	-	-	-	-	145人	0.4%	-	-
	東京国際空港	3,041人	0.9%	36人	0.1%	321人	1.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
	福岡空港	1,227人	0.4%	967人	2.5%	4,530人	14.7%	8,644人	81.5%	-	-	395人	1.0%	354人	1.6%
域内 主要 空港	岡山空港	497人	0.1%	3,948人	10.1%	836人	2.7%	-	-	108人	0.6%	1,146人	3.0%	174人	0.8%
	広島空港	1,846人	0.5%	5,042人	12.9%	14,090人	45.7%	951人	9.0%	1,182人	6.2%	2,601人	6.8%	3,178人	14.5%
	高松空港	1,932人	0.6%	3,012人	7.7%	802人	2.6%	-	-	7,986人	41.7%	19,007人	49.9%	10,924人	50.0%
その他 空港・港湾	大阪港		0.6%	中部国際	0.4%	広島港	0.5%	山口宇部	4.2%						
	中部国際		0.5%			中部国際	0.2%	博多港	2.4%						
	神戸港		0.0%												

出国	空港・港湾	兵庫県		岡山県		広島県		山口県		徳島県		香川県		愛媛県	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
域外	関西国際空港	328,084人	94.7%	25,690人	63.7%	11,214人	36.3%	945人	8.8%	9,262人	46.6%	15,141人	38.6%	7,383人	32.2%
	成田国際空港	6,478人	1.9%	210人	0.5%	981人	3.2%	-	-	-	-	-	-	58人	0.3%
	東京国際空港	3,100人	0.9%	102人	0.3%	260人	0.8%	-	-	-	-	-	-	-	-
	福岡空港	1,083人	0.3%	963人	2.4%	5,269人	17.1%	9,282人	86.8%	-	-	191人	0.5%	403人	1.8%
域内	岡山空港	733人	0.2%	4,779人	11.9%	774人	2.5%	-	-	175人	0.9%	1,223人	3.1%	233人	1.0%
	広島空港	410人	0.1%	3,102人	7.7%	10,171人	33.0%	389人	3.6%	548人	2.8%	956人	2.4%	1,729人	7.5%
	高松空港	2,855人	0.8%	5,472人	13.6%	2,146人	7.0%	-	-	9,906人	49.8%	21,711人	55.4%	13,069人	57.0%
その他	大阪港		0.5%			広島港	0.1%	博多港	0.7%					松山空港	0.2%
	中部国際		0.5%												
	神戸港		0.1%												

図表 4.2.2 台湾からの各県別来訪者数及び各空港・港湾利用者数



単位：万人
 注記：各県の入出国空港・港湾について、0.2万人以上（四捨五入後）の動きを表示。
 空港・港湾の入出国数は重複があることに留意が必要。

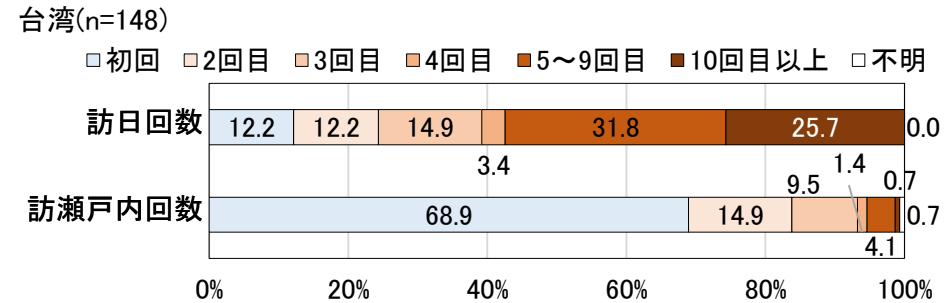


(2) 台湾 ②訪日回数・情報収集場所

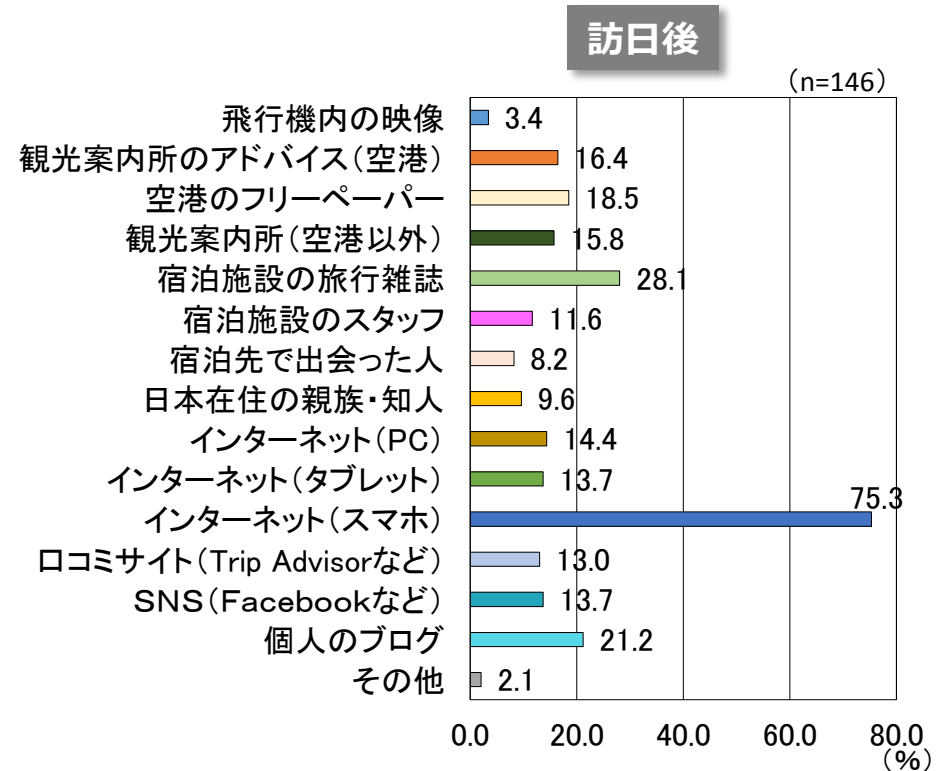
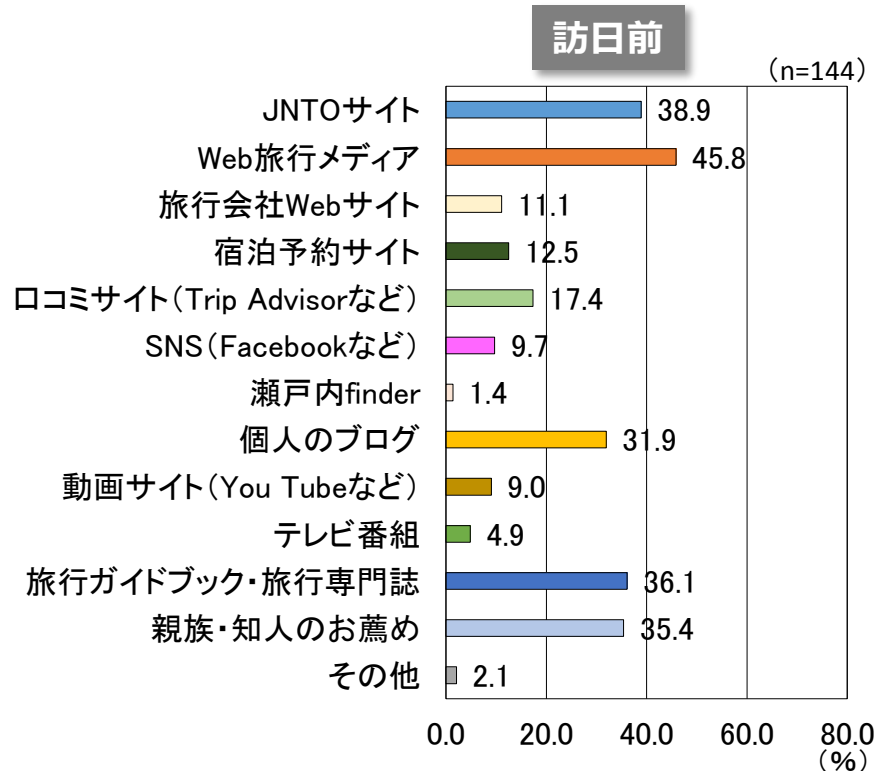
瀬戸内エリアを訪れた観光客に対するアンケート調査によると、訪日リピーターが多く、初めての訪日で瀬戸内エリアを訪れた人は全体の約12%となっている。

また、訪日前の情報収集場所は、WEB旅行メディア、JNTOサイト、旅行ガイドブック、親族・知人が多く、旅行会社WEBサイトはあまり活用されていない。訪日後は、多くがスマホ利用による情報収集を行っていることが特徴である。

図表 4.2.4 訪日回数・訪せとうち回数



図表 4.2.5 情報収集場所 (アンケート調査結果)



(3) タイ ①入出国空港・港湾

タイから瀬戸内エリアへは13.4万人が訪れている。入出国空港・港湾は、兵庫県、岡山県、香川県、愛媛県は関西空港、広島県は関西空港に加えて福岡空港、山口県は福岡空港の利用が多く、広島県を境として地域の東西からの入出国となっており、瀬戸内エリア全体の周遊はあまりみられない。

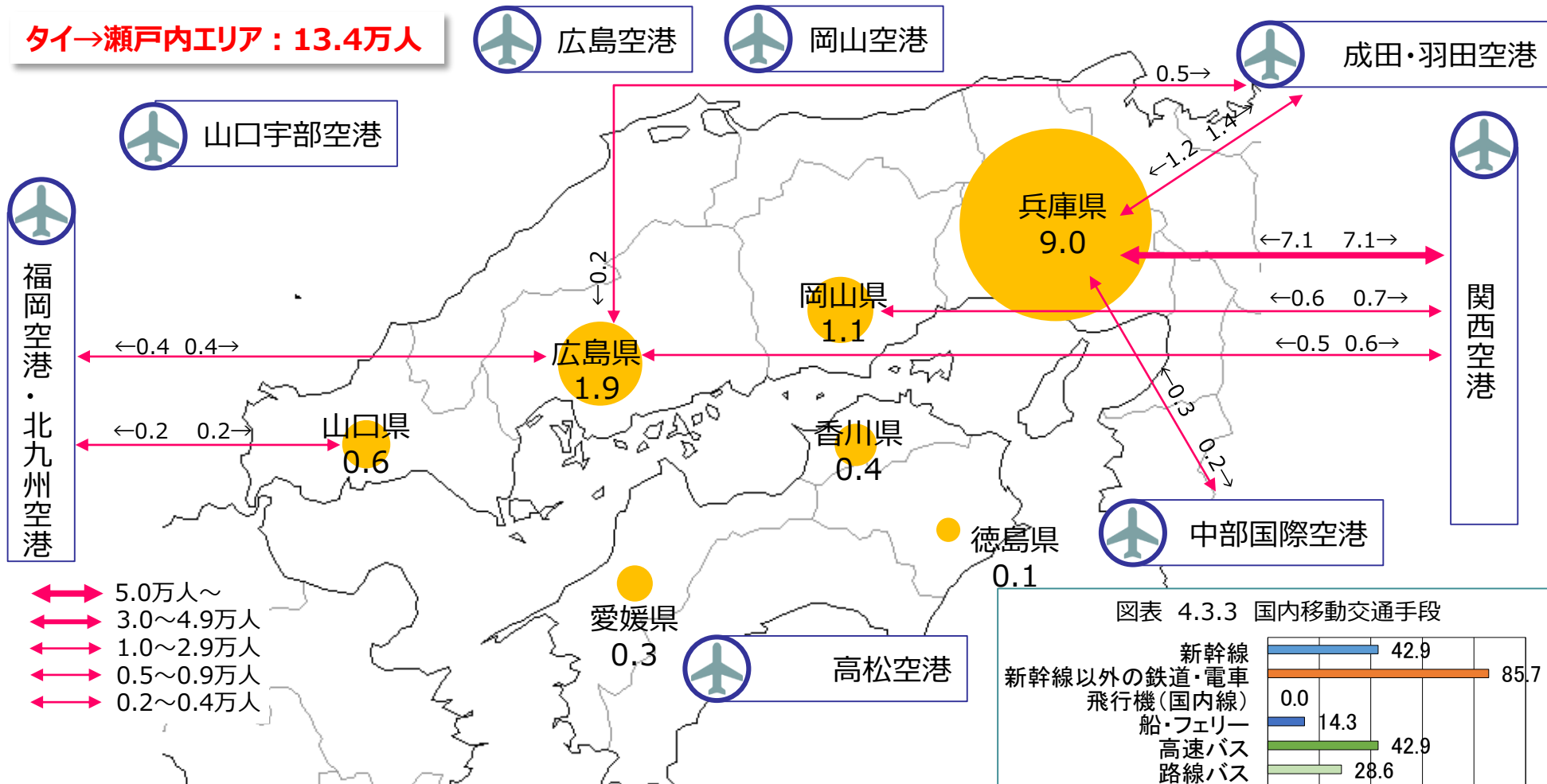
図表 4.3.1 タイからの来訪者の各県別入出国空港・港湾

30.0%以上 10.0~29.9%

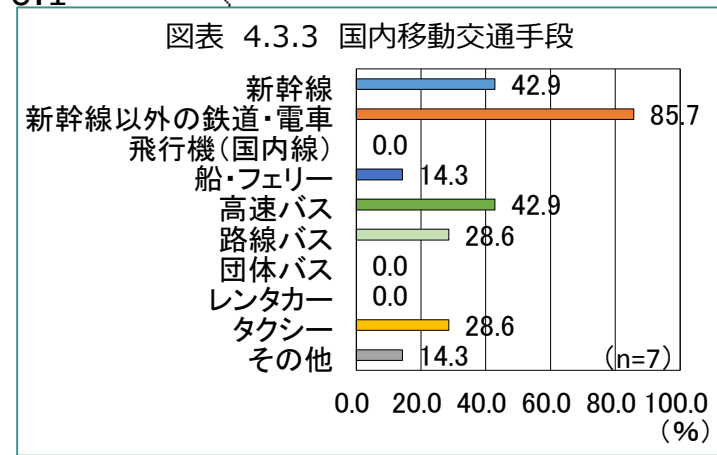
入国	空港・港湾	兵庫県		岡山県		広島県		山口県		徳島県		香川県		愛媛県	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
域外 主要 空港	関西国際空港	71,422人	81.9%	6,463人	91.1%	5,244人	44.5%	313人	14.9%	-	-	1,216人	100.0%	351人	100.0%
	成田国際空港	7,919人	9.1%	390人	5.5%	1,335人	11.3%	-	-	-	-	-	-	-	-
	東京国際空港	3,922人	4.5%	238人	3.4%	846人	7.2%	-	-	-	-	-	-	-	-
	福岡空港	364人	0.4%	-	-	4,134人	35.1%	1,785人	85.1%	-	-	-	-	-	-
域内 主要 空港	岡山空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	広島空港	-	-	-	-	216人	1.8%	-	-	-	-	-	-	-	-
	高松空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他 空港・港湾	中部国際		3.7%							※データなし					
	大阪港		0.3%												
	神戸港		0.0%												

出国	空港・港湾	兵庫県		岡山県		広島県		山口県		徳島県		香川県		愛媛県	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
域外	関西国際空港	70,813人	80.8%	7,055人	94.3%	6,184人	46.2%	159人	8.4%	-	-	1,316人	100.0%	565人	100.0%
	成田国際空港	9,472人	10.8%	303人	4.0%	2,407人	18.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
	東京国際空港	4,583人	5.2%	125人	1.7%	1,214人	9.1%	-	-	-	-	-	-	-	-
	福岡空港	190人	0.2%	-	-	3,594人	26.8%	1,736人	91.6%	-	-	-	-	-	-
域内	岡山空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	広島空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	高松空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	中部国際		2.7%							※データなし					
	大阪港		0.3%												

図表 4.3.2 タイからの各県別来訪者数及び各空港・港湾利用者数



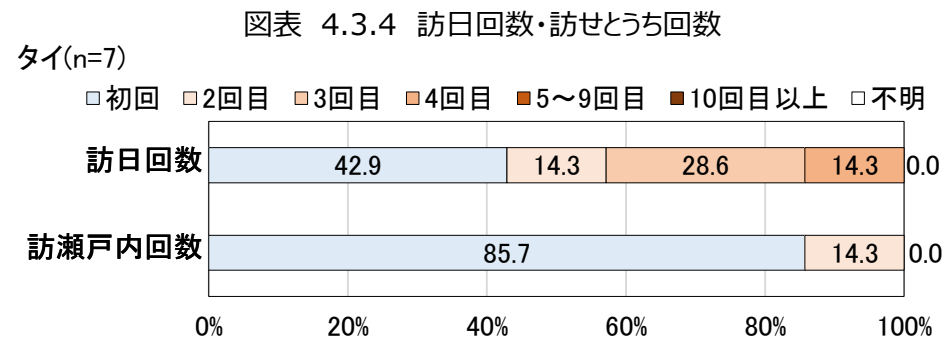
単位：万人
 注記：各県の入出国空港・港湾について、0.2万人以上（四捨五入後）の動きを表示。
 空港・港湾の入出国数は重複があることに留意が必要。



(3) タイ ②訪日回数・情報収集場所

サンプル数が少ないため参考データ

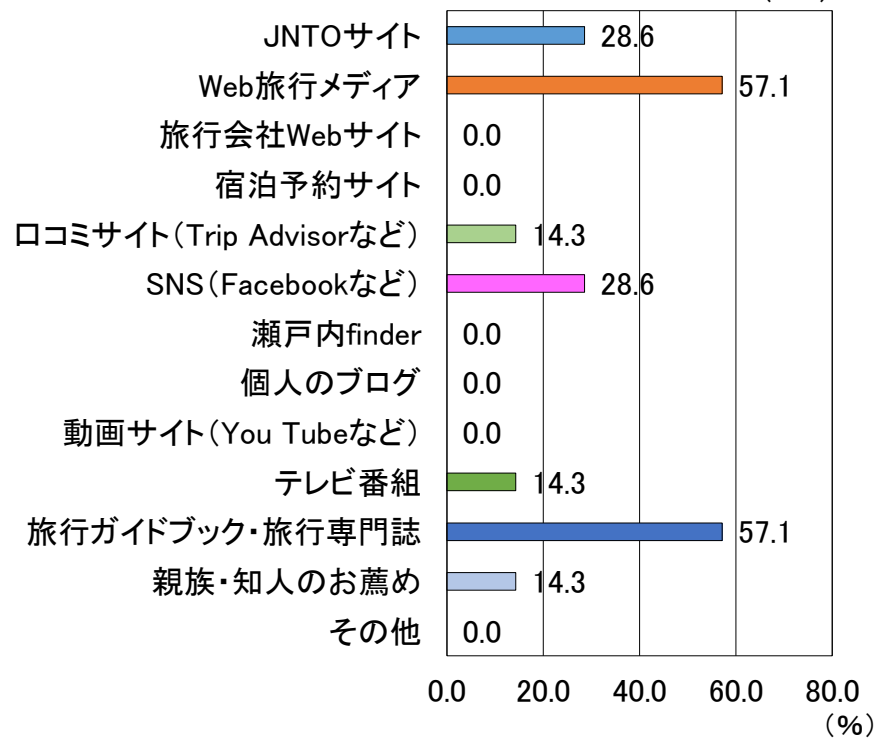
瀬戸内エリアを訪れた観光客に対するアンケート調査によると、訪日リピーターと初訪問層の比は4：6程度であり、初めての訪日で瀬戸内エリアを訪れた人は全体の約43%となっている。
また、訪日前の情報収集場所は、WEB旅行メディア、旅行ガイドブックが多い。訪日後は、多くがタブレット、スマホ、PCの利用による情報収集を行っていることが特徴である。



図表 4.3.5 情報収集場所 (アンケート調査結果)

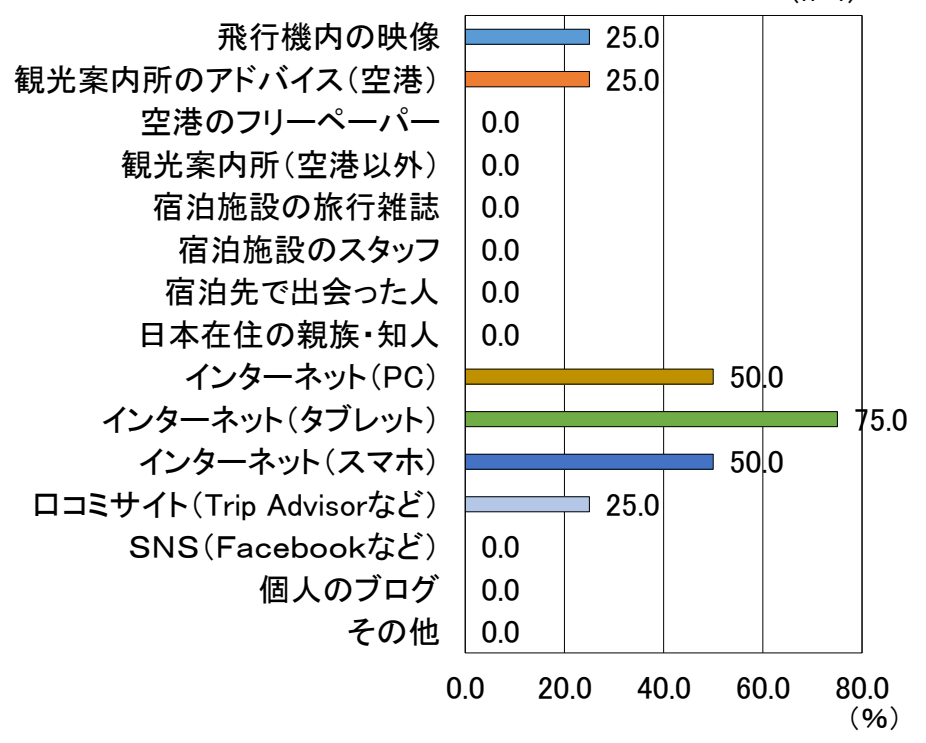
訪日前

(n=7)



訪日後

(n=4)



(4) オーストラリア ①入出国空港・港湾

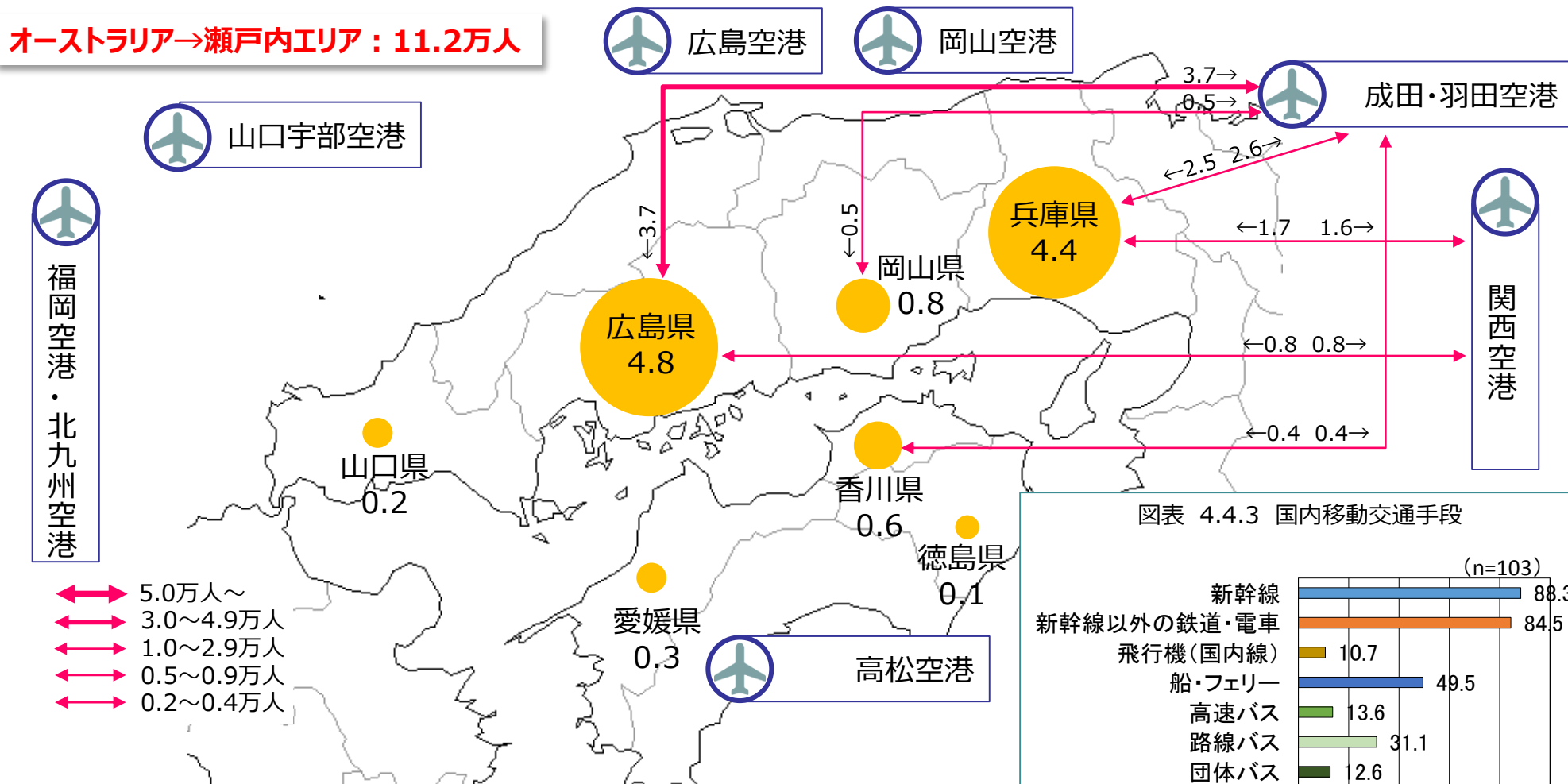
オーストラリアから瀬戸内エリアへは11.2万人が訪れている。入出国空港・港湾は、兵庫県で関西空港が約4割みられる以外は、成田・羽田空港利用となっており、関東から瀬戸内エリアへの来訪がみられるが、兵庫県、広島県以外の各県への訪問は少ない。

図表 4.4.1 オーストラリアからの来訪者の各県別入出国空港・港湾 30.0%以上 10.0~29.9%

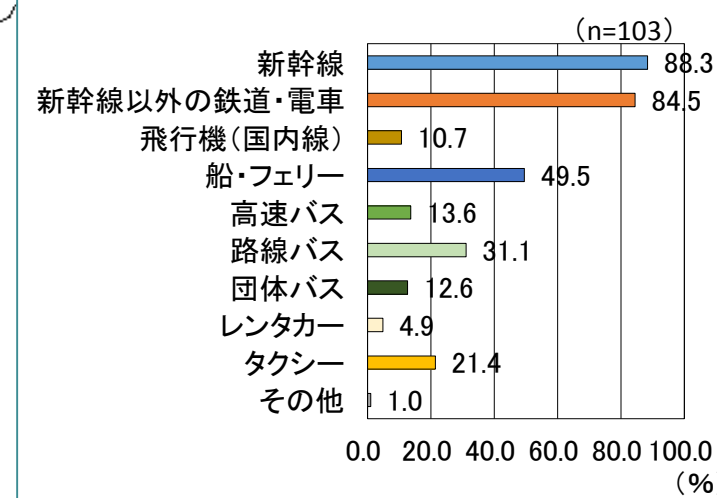
入国	空港・港湾	兵庫県		岡山県		広島県		山口県		徳島県		香川県		愛媛県	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
域外 主要 空港	関西国際空港	17,245人	40.9%	1,343人	21.2%	7,595人	16.9%	68人	10.9%	90人	34.0%	776人	15.6%	66人	5.1%
	成田国際空港	16,797人	39.8%	3,397人	53.7%	24,857人	55.4%	360人	57.7%	175人	66.0%	2,931人	58.7%	871人	66.7%
	東京国際空港	8,064人	19.1%	1,588人	25.1%	11,915人	26.6%	143人	22.9%	-	-	1,283人	25.7%	369人	28.3%
	福岡空港	96人	0.2%	-	-	287人	0.6%	53人	8.5%	-	-	-	-	-	-
域内 主要 空港	岡山空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	広島空港	-	-	-	-	182人	0.4%	-	-	-	-	-	-	-	-
	高松空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他空港・港湾															

出国	空港・港湾	兵庫県		岡山県		広島県		山口県		徳島県		香川県		愛媛県	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
域外	関西国際空港	15,960人	38.1%	1,428人	21.0%	8,190人	18.1%	53人	5.6%	186人	38.6%	860人	16.4%	95人	6.4%
	成田国際空港	17,396人	41.6%	3,691人	54.2%	24,762人	54.9%	572人	60.7%	199人	41.3%	3,064人	58.6%	988人	66.9%
	東京国際空港	8,409人	20.1%	1,697人	24.9%	11,944人	26.5%	258人	27.4%	97人	20.1%	1,308人	25.0%	393人	26.6%
	福岡空港	-	-	-	-	239人	0.5%	60人	6.4%	-	-	-	-	-	-
域内	岡山空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	広島空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	高松空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	新千歳空港		0.2%												

図表 4.4.2 オーストラリアからの各県別来訪者数及び各空港・港湾利用者数



図表 4.4.3 国内移動交通手段



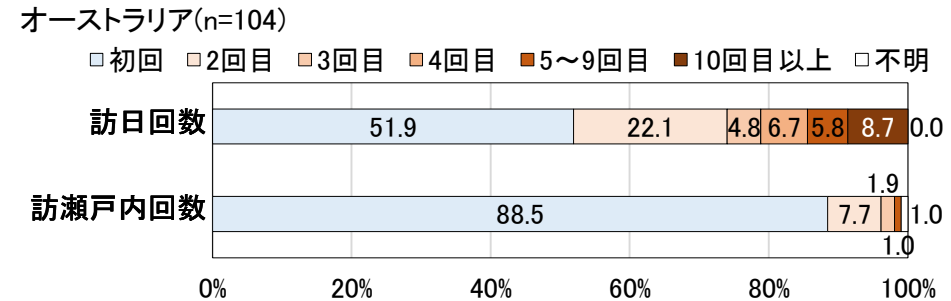
単位：万人
 注記：各県の入出国空港・港湾について、0.2万人以上（四捨五入後）の動きを表示。
 空港・港湾の入出国数は重複があることに留意が必要。

(4) オーストラリア ②訪日回数・情報収集場所

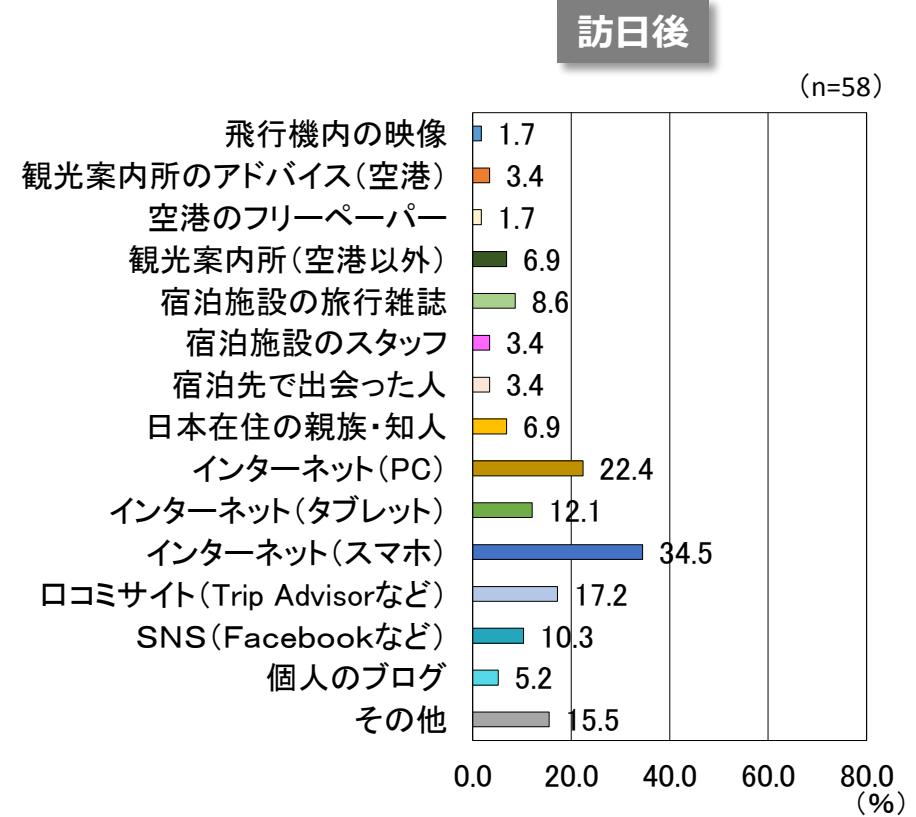
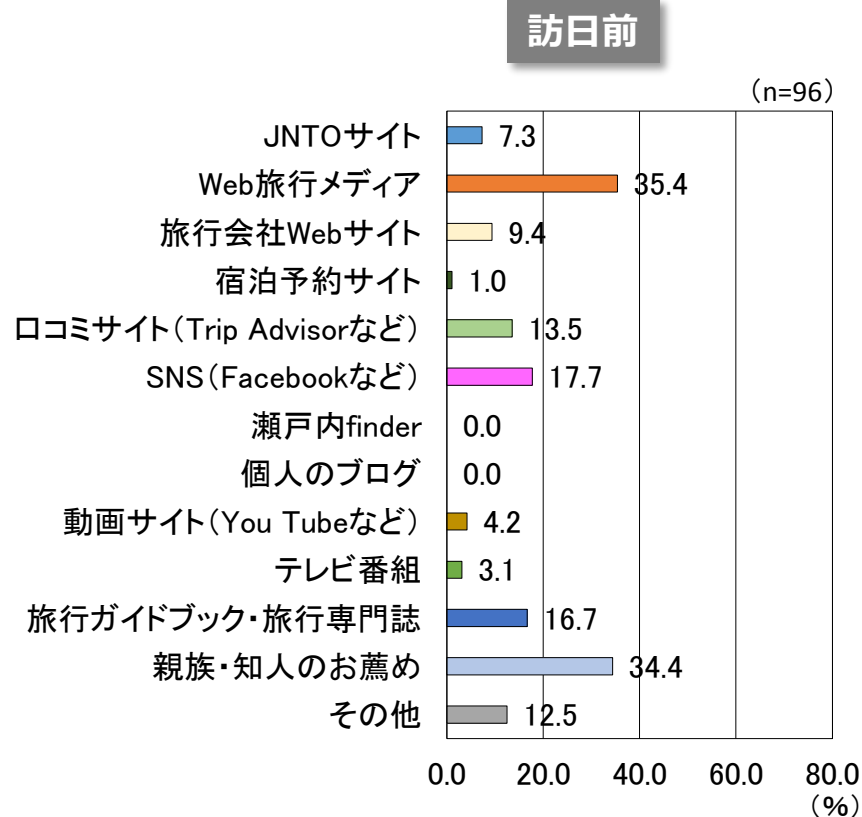
瀬戸内エリアを訪れた観光客に対するアンケート調査によると、約半数が訪日リピーターであり、初めて瀬戸内エリアを訪れた人は全体の約9割となっている。

また、訪日前の情報収集場所は、WEB旅行メディア、親族・知人が多い。訪日後は、スマホ、PCの利用による情報収集を行っており、案内所等の利用が少ないことが特徴である。

図表 4.4.4 訪日回数・訪せとうち回数



図表 4.4.5 情報収集場所 (アンケート調査結果)



(5) アメリカ ①入出国空港・港湾

アメリカから瀬戸内エリアへは23.2万人が訪れている。入出国空港・港湾は、兵庫県で関西空港が約3割みられる以外は、成田・羽田空港利用となっており、関東から瀬戸内エリアへの来訪がみられるが、兵庫県、広島県以外の各県への訪問は少ない。

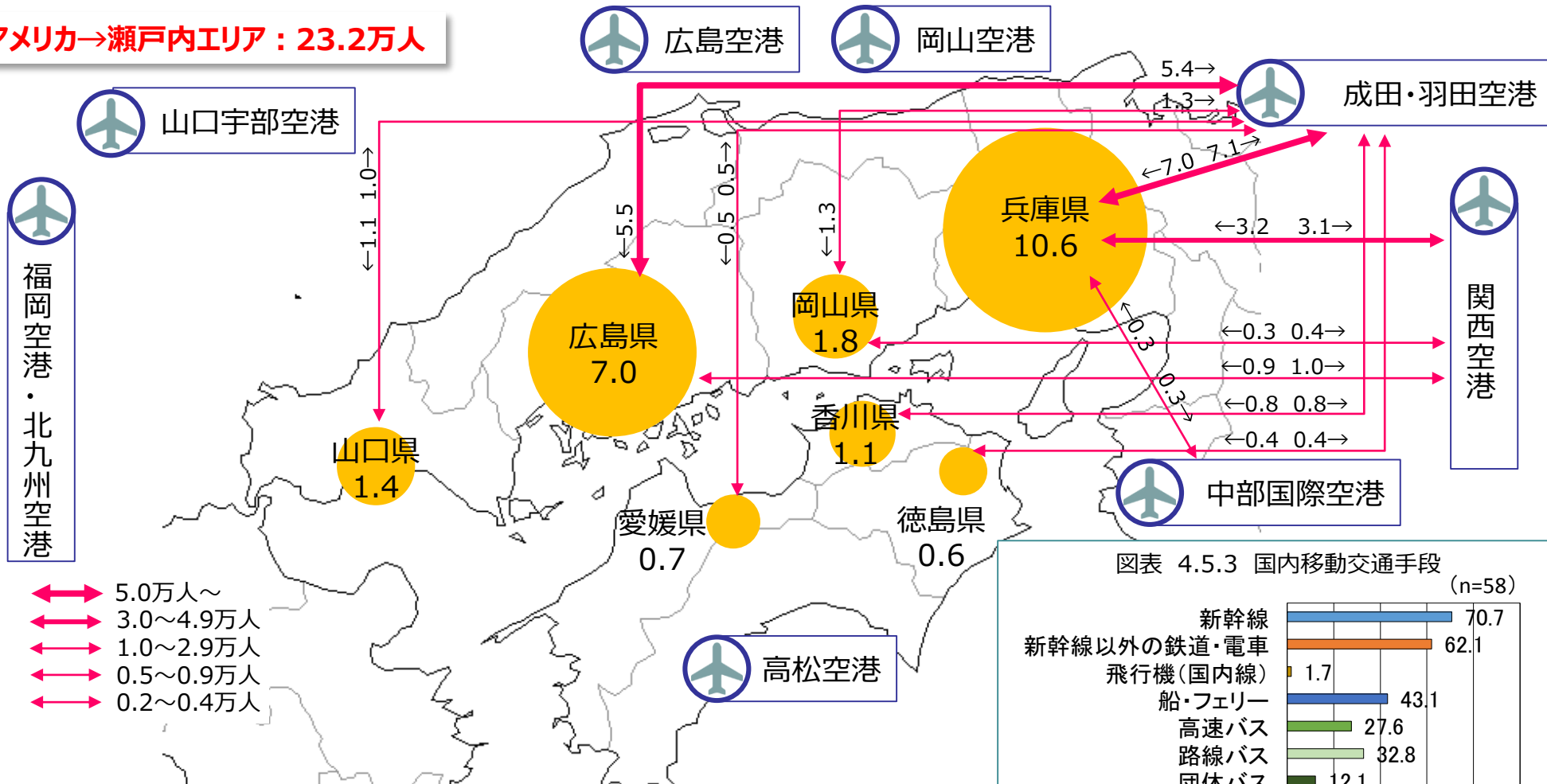
図表 4.5.1 アメリカからの来訪者の各県別入出国空港・港湾 30.0%以上 10.0~29.9%

入国 空港・港湾		兵庫県		岡山県		広島県		山口県		徳島県		香川県		愛媛県	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
域外 主要 空港	関西国際空港	32,468人	31.2%	3,075人	18.5%	8,529人	12.8%	704人	6.0%	781人	16.9%	1,553人	15.9%	383人	7.1%
	成田国際空港	47,130人	45.2%	8,990人	54.1%	37,163人	55.9%	7,140人	60.8%	2,682人	58.0%	5,577人	57.2%	3,604人	66.5%
	東京国際空港	22,487人	21.6%	4,286人	25.8%	17,667人	26.6%	3,408人	29.0%	1,158人	25.1%	2,580人	26.5%	1,432人	26.4%
	福岡空港	206人	0.2%	40人	0.2%	736人	1.1%	495人	4.2%	-	-	-	-	-	-
域内 主要 空港	岡山空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	広島空港	-	-	-	-	1,141人	1.7%	-	-	-	-	-	-	-	-
	高松空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35人	0.4%	-	-
その他 空港・港湾	中部国際	1.8%	中部国際	1.4%	中部国際	1.9%									
	大阪港	0.0%													

出国 空港・港湾		兵庫県		岡山県		広島県		山口県		徳島県		香川県		愛媛県	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
域外	関西国際空港	30,594人	29.4%	3,544人	21.2%	9,848人	14.7%	978人	8.3%	940人	20.8%	2,001人	20.2%	775人	13.7%
	成田国際空港	48,245人	46.3%	8,795人	52.6%	36,370人	54.4%	7,037人	59.4%	2,594人	57.3%	5,342人	54.1%	3,437人	60.7%
	東京国際空港	23,156人	22.2%	4,223人	25.2%	17,406人	26.0%	3,378人	28.5%	996人	22.0%	2,507人	25.4%	1,450人	25.6%
	福岡空港	151人	0.1%	-	-	639人	1.0%	458人	3.9%	-	-	-	-	-	-
域内	岡山空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	広島空港	-	-	-	-	1,302人	1.9%	-	-	-	-	-	-	-	-
	高松空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33人	0.3%	-	-
その他	中部国際	1.9%	中部国際	1.0%	中部国際	1.9%									

図表 4.5.2 アメリカからの各県別来訪者数及び各空港・港湾利用者数

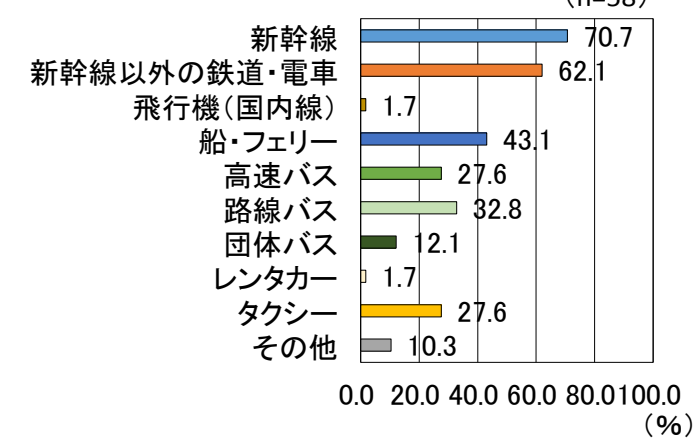
アメリカ→瀬戸内エリア：23.2万人



- ↔ 5.0万人～
- ↔ 3.0～4.9万人
- ↔ 1.0～2.9万人
- ↔ 0.5～0.9万人
- ↔ 0.2～0.4万人

単位：万人
 注記：各県の入出国空港・港湾について、0.2万人以上（四捨五入後）の動きを表示。
 空港・港湾の入出国数は重複があることに留意が必要。

図表 4.5.3 国内移動交通手段 (n=58)

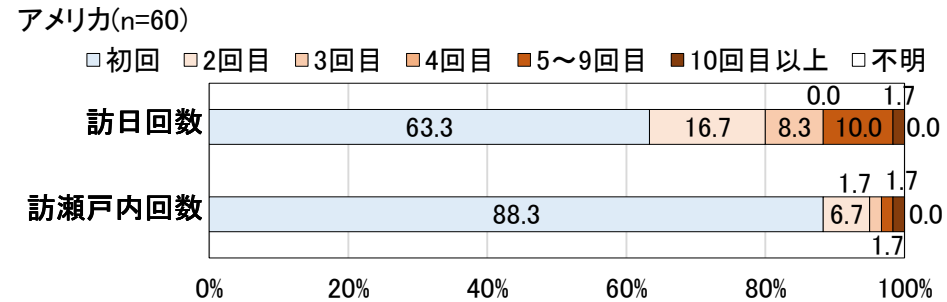


(5) アメリカ ②訪日回数・情報収集場所

瀬戸内エリアを訪れた観光客に対するアンケート調査によると、訪日リピーターは4割弱であり、初めて瀬戸内エリアを訪れた人は全体の約9割となっている。

また、訪日前の情報収集場所は、親族・知人が最も多くなっている。訪日後は、スマホ、PCの利用による情報収集のほか、日本在住の親族・知人を情報源としており、案内所の利用は少ない。

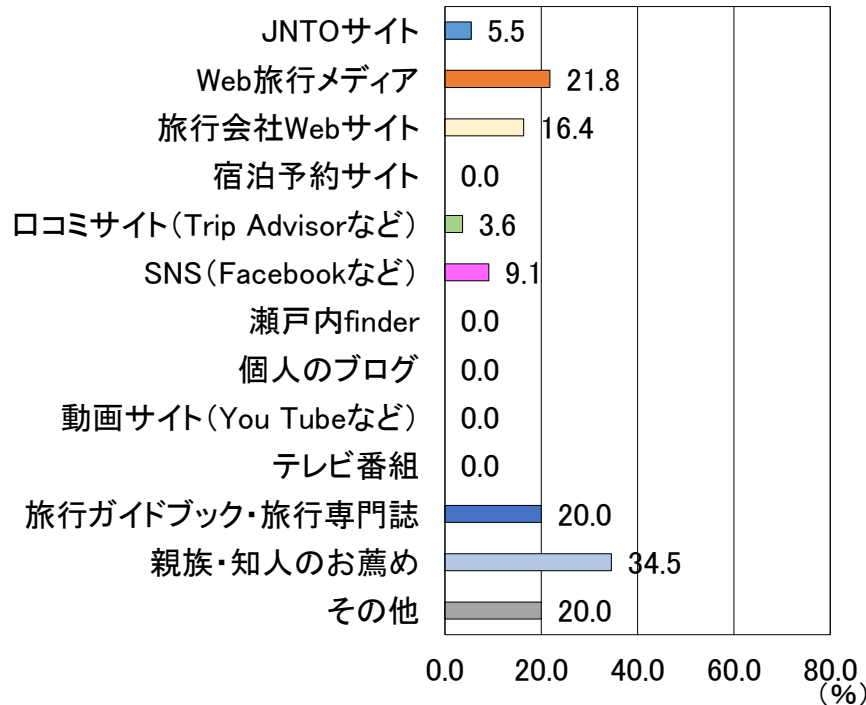
図表 4.5.4 訪日回数・訪せとうち回数



図表 4.5.5 情報収集場所 (アンケート調査結果)

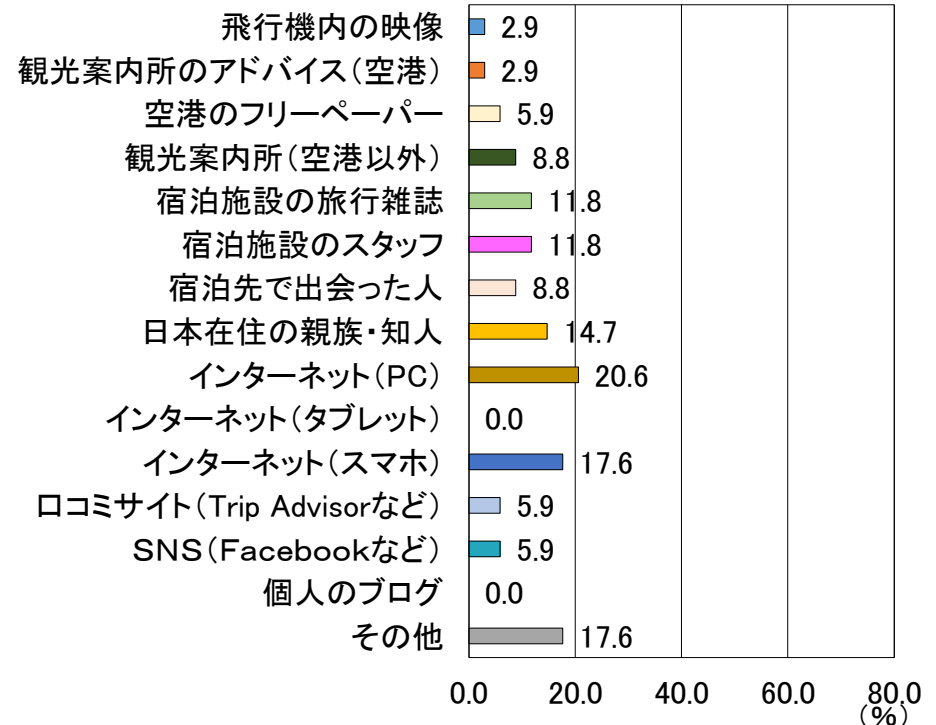
訪日前

(n=55)



訪日後

(n=34)



(6) フランス ①入出国空港・港湾

フランスから瀬戸内エリアへは6.3万人が訪れている。入出国空港・港湾は、兵庫県、岡山県、徳島県で関西空港利用が多くみられるが、全体として成田・羽田空港利用となっており、関東から瀬戸内エリアへの来訪がみられる。山口県や四国への来訪は少ない。

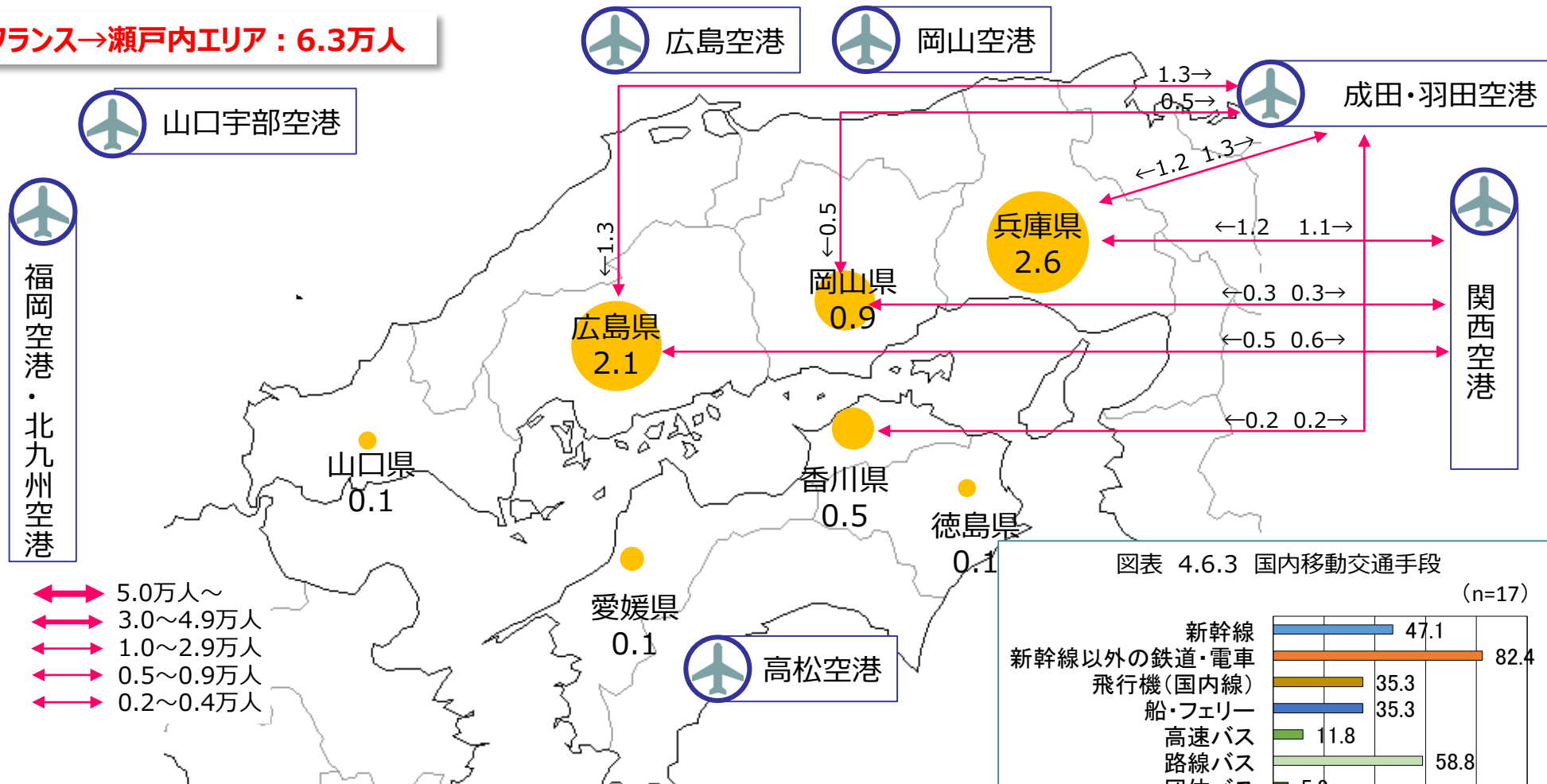
図表 4.6.1 フランスからの来訪者の各県別入出国空港・港湾 30.0%以上 10.0~29.9%

入国 空港・港湾		兵庫県		岡山県		広島県		山口県		徳島県		香川県		愛媛県	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
域外 主要 空港	関西国際空港	11,955人	49.6%	2,685人	36.4%	4,848人	27.1%	-	-	89人	72.4%	778人	22.5%	-	-
	成田国際空港	8,177人	33.9%	3,152人	42.7%	8,801人	49.2%	-	-	-	-	1,791人	51.7%	146人	53.1%
	東京国際空港	3,864人	16.0%	1,545人	20.9%	4,171人	23.3%	-	-	34人	27.6%	896人	25.9%	129人	46.9%
	福岡空港	119人	0.5%	-	-	72人	0.4%	-	-	-	-	-	-	-	-
域内 主要 空港	岡山空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	広島空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	高松空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他空港・港湾								※データなし							

出国 空港・港湾		兵庫県		岡山県		広島県		山口県		徳島県		香川県		愛媛県	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
域外	関西国際空港	10,602人	44.3%	2,625人	35.9%	5,593人	30.4%	-	-	143人	100.0%	1,227人	32.8%	-	-
	成田国際空港	8,993人	37.6%	3,080人	42.2%	8,685人	47.2%	-	-	-	-	1,652人	44.2%	151人	60.4%
	東京国際空港	4,344人	18.1%	1,597人	21.9%	4,134人	22.5%	-	-	-	-	860人	23.0%	99人	39.6%
	福岡空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
域内	岡山空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	広島空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	高松空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他								※データなし							

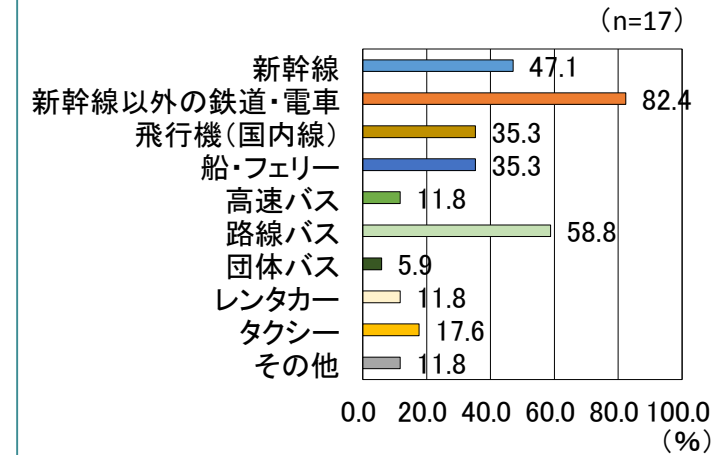
図表 4.6.2 フランスからの各県別来訪者数及び各空港・港湾利用者数

フランス→瀬戸内エリア : 6.3万人



単位：万人
 注記：各県の入出国空港・港湾について、0.2万人以上（四捨五入後）の動きを表示。
 空港・港湾の入出国数は重複があることに留意が必要。

図表 4.6.3 国内移動交通手段

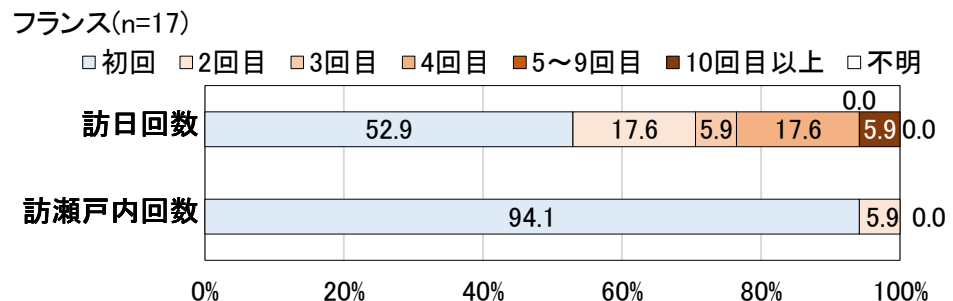


(6) フランス ②訪日回数・情報収集場所

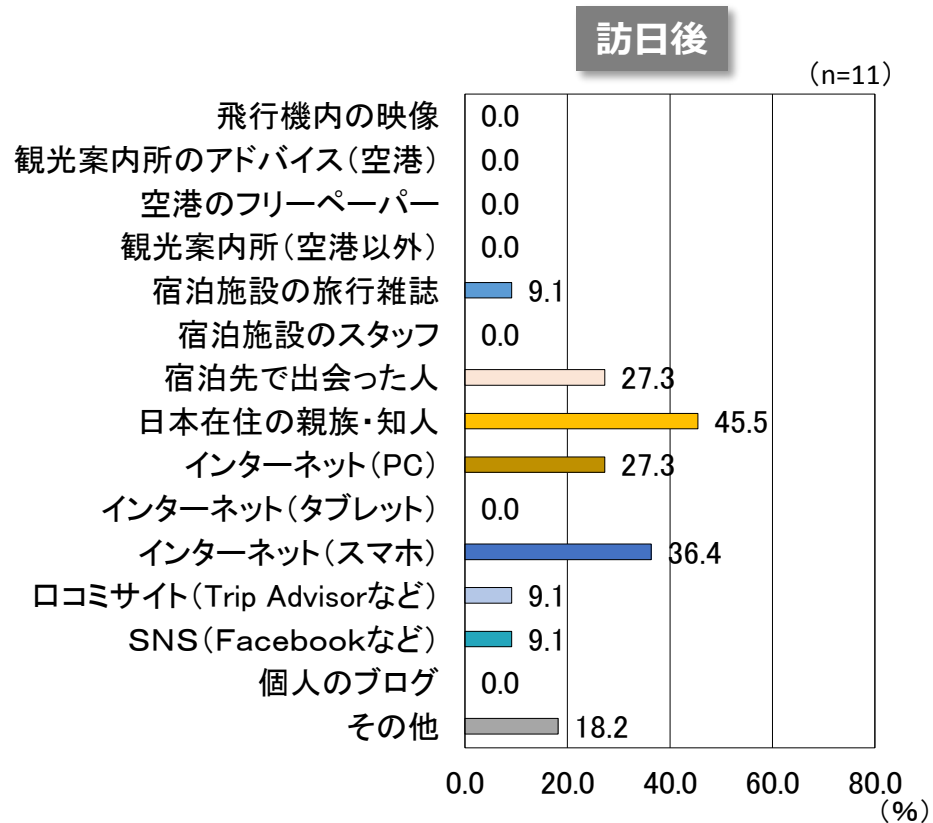
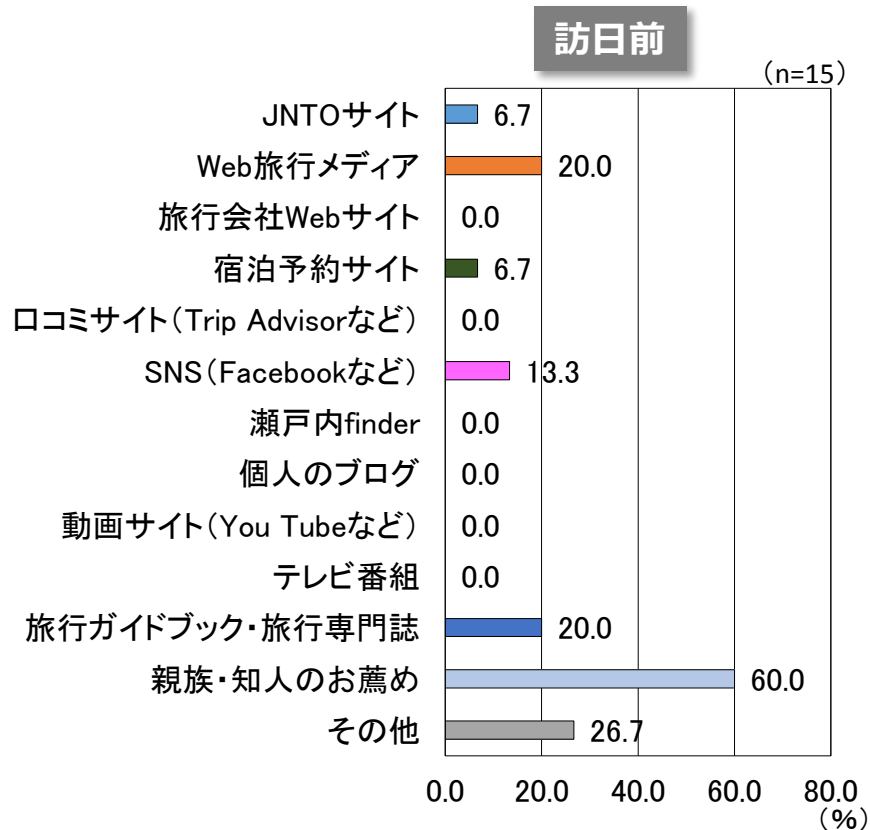
サンプル数が少ないため参考データ

瀬戸内エリアを訪れた観光客に対するアンケート調査によると、訪日リピーターは約半数であり、初めて瀬戸内エリアを訪れた人は全体の94%を占めている。
また、訪日前の情報収集場所は、親族・知人が最も多くなっている。訪日後は、日本在住の親族・知人が最も多いことが特徴である。

図表 4.6.4 訪日回数・訪せとうち回数



図表 4.6.5 情報収集場所 (アンケート調査結果)



(7) イギリス ①入出国空港・港湾

イギリスから瀬戸内エリアへは6.5万人が訪れている。入出国空港・港湾は、兵庫県で関西空港利用が半数近くみられる以外は成田・羽田空港利用が多く、関東から瀬戸内エリアへの来訪がみられる。山口県や四国への来訪は少ない。

図表 4.7.1 イギリスからの来訪者の各県別入出国空港・港湾

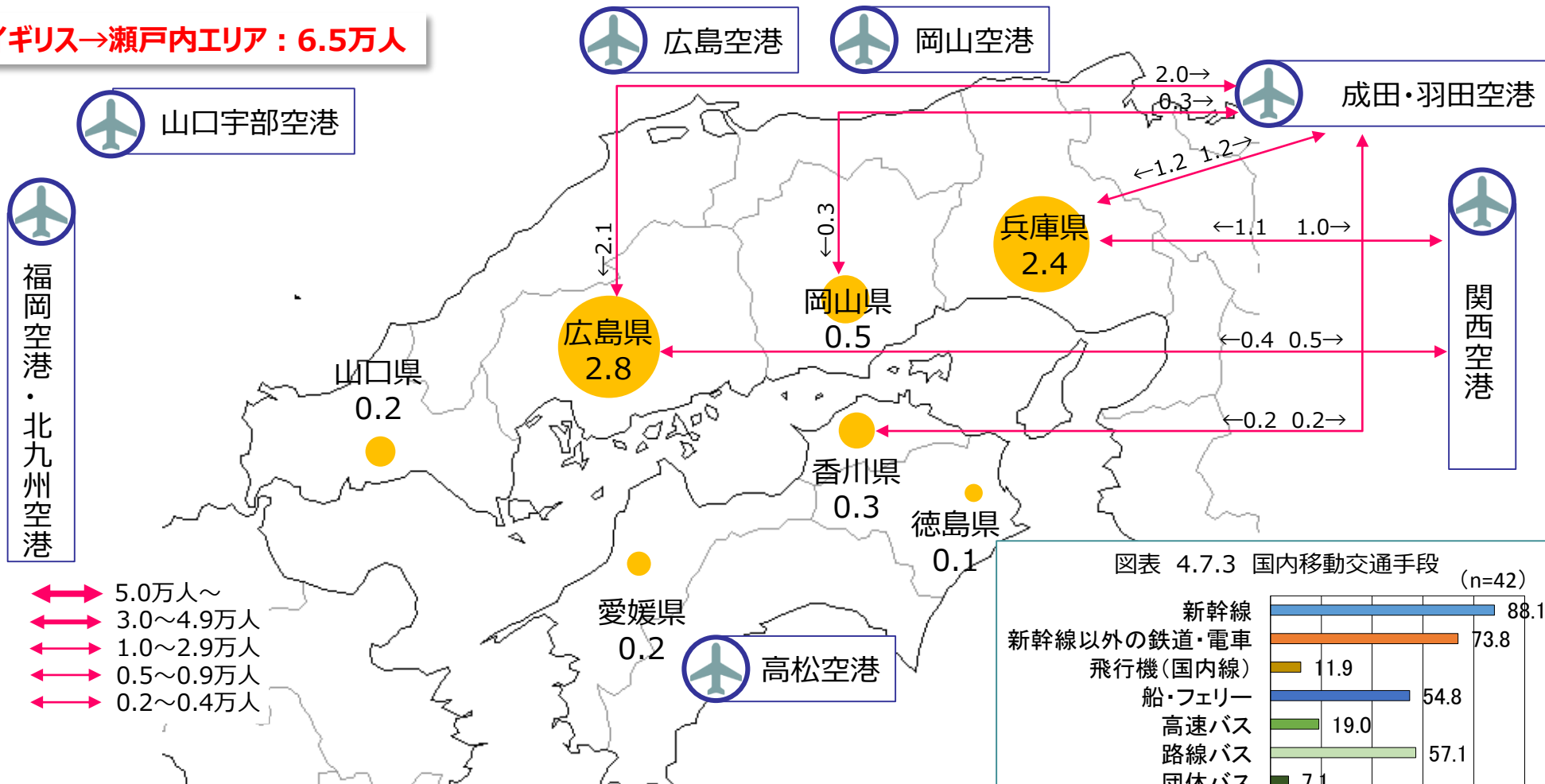
30.0%以上 10.0~29.9%

入国	空港・港湾	兵庫県		岡山県		広島県		山口県		徳島県		香川県		愛媛県	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
域外 主要 空港	関西国際空港	10,605人	46.5%	1,092人	25.3%	3,703人	14.8%	57人	31.7%	-	-	436人	17.4%	62人	24.3%
	成田国際空港	8,270人	36.3%	2,186人	50.7%	14,264人	57.1%	42人	23.3%	-	-	1,449人	57.9%	107人	42.0%
	東京国際空港	3,933人	17.2%	1,036人	24.0%	6,763人	27.1%	81人	45.0%	-	-	617人	24.7%	86人	33.7%
	福岡空港	-	-	-	-	87人	0.3%	-	-	-	-	-	-	-	-
域内 主要 空港	岡山空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	広島空港	-	-	-	-	100人	0.4%	-	-	-	-	-	-	-	
	高松空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他 空港・港湾						中部国際	0.2%			※データなし					

出国	空港・港湾	兵庫県		岡山県		広島県		山口県		徳島県		香川県		愛媛県	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
域外	関西国際空港	10,499人	46.3%	1,299人	28.7%	4,914人	19.5%	142人	27.6%	60人	54.5%	608人	23.7%	56人	21.1%
	成田国際空港	8,244人	36.3%	2,203人	48.7%	13,339人	53.0%	198人	38.4%	50人	45.5%	1,364人	53.1%	117人	44.2%
	東京国際空港	3,941人	17.4%	1,022人	22.6%	6,366人	25.3%	175人	34.0%	-	-	595人	23.2%	92人	34.7%
	福岡空港	-	-	-	-	253人	1.0%	-	-	-	-	-	-	-	-
域内	岡山空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	広島空港	-	-	-	-	213人	0.8%	-	-	-	-	-	-	-	
	高松空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他						中部国際	0.2%								

図表 4.7.2 イギリスからの各県別来訪者数及び各空港・港湾利用者数

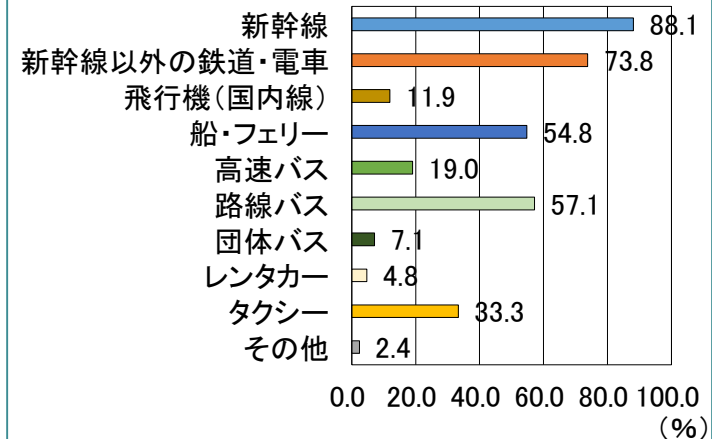
イギリス→瀬戸内エリア：6.5万人



単位：万人

注記：各県の入出国空港・港湾について、0.2万人以上（四捨五入後）の動きを表示。
 空港・港湾の入出国数は重複があることに留意が必要。

図表 4.7.3 国内移動交通手段 (n=42)

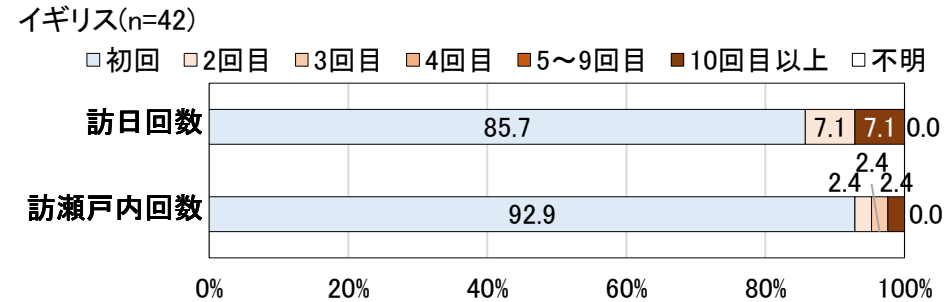


(7) イギリス ②訪日回数・情報収集場所

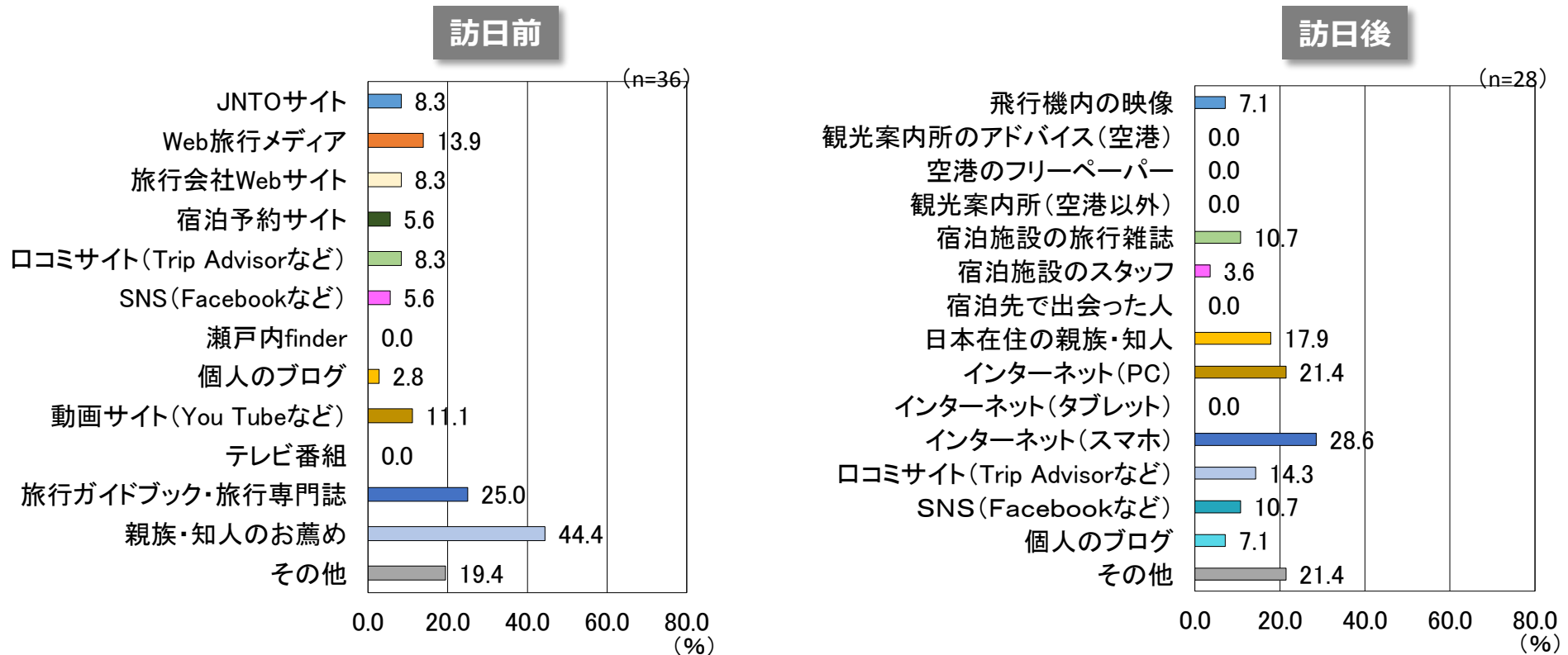
瀬戸内エリアを訪れた観光客に対するアンケート調査によると、初訪日の人が86%と多く、初めて瀬戸内エリアを訪れた人は全体の93%を占めている。

また、訪日前の情報収集場所は、親族・知人が最も多くなっている。訪日後は、スマホ、PCの利用による情報収集のほか、日本在住の親族・知人を情報源としており、案内所の利用は少ない。

図表 4.7.4 訪日回数・訪せとうち回数



図表 4.7.5 情報収集場所 (アンケート調査結果)



(8) ドイツ ①入出国空港・港湾

ドイツから瀬戸内エリアへは4.1万人が訪れている。入出国空港・港湾は、兵庫県では関西空港利用が半数以上と多くなっている。広島県では成田・羽田で7～8割近くを占めている。山口県や四国への来訪は少ない。

図表 4.8.1 ドイツからの来訪者の各県別入出国空港・港湾

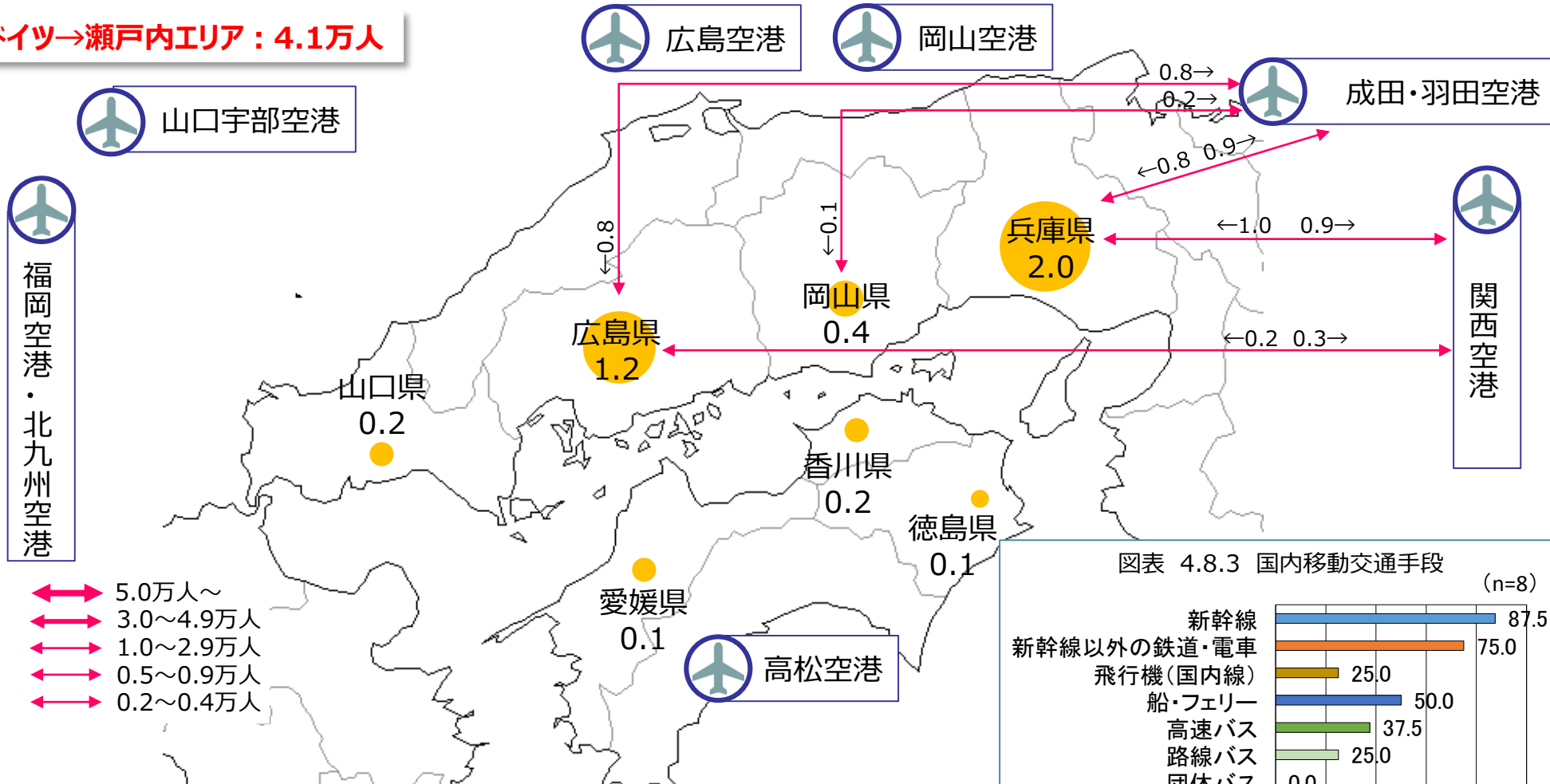
30.0%以上 10.0～29.9%

入国	空港・港湾	兵庫県		岡山県		広島県		山口県		徳島県		香川県		愛媛県	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
域外 主要 空港	関西国際空港	9,625人	52.9%	806人	35.1%	2,101人	21.2%	127人	53.6%	66人	100.0%	99人	21.9%	-	-
	成田国際空港	5,643人	31.0%	1,048人	45.7%	5,147人	51.8%	74人	31.2%	-	-	219人	48.5%	102人	67.5%
	東京国際空港	2,689人	14.8%	441人	19.2%	2,442人	24.6%	36人	15.2%	-	-	134人	29.6%	49人	32.5%
	福岡空港	43人	0.2%	-	-	78人	0.8%	-	-	-	-	-	-	-	-
域内 主要 空港	岡山空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	広島空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	高松空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他 空港・港湾	中部国際		0.7%			比田勝港	1.0%								
	比田勝港		0.5%			中部国際	0.6%								

出国	空港・港湾	兵庫県		岡山県		広島県		山口県		徳島県		香川県		愛媛県	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
域外	関西国際空港	9,234人	50.8%	870人	35.7%	2,586人	24.5%	175人	100.0%	66人	100.0%	173人	31.8%	73人	100.0%
	成田国際空港	6,016人	33.1%	1,009人	41.4%	5,200人	49.2%	-	-	-	-	227人	41.7%	-	-
	東京国際空港	2,879人	15.8%	558人	22.9%	2,485人	23.5%	-	-	-	-	144人	26.5%	-	-
	福岡空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
域内	岡山空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	広島空港	-	-	-	-	294人	2.8%	-	-	-	-	-	-	-	-
	高松空港	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	中部国際		0.4%												

図表 4.8.2 ドイツからの各県別来訪者数及び各空港・港湾利用者数

ドイツ→瀬戸内エリア：4.1万人

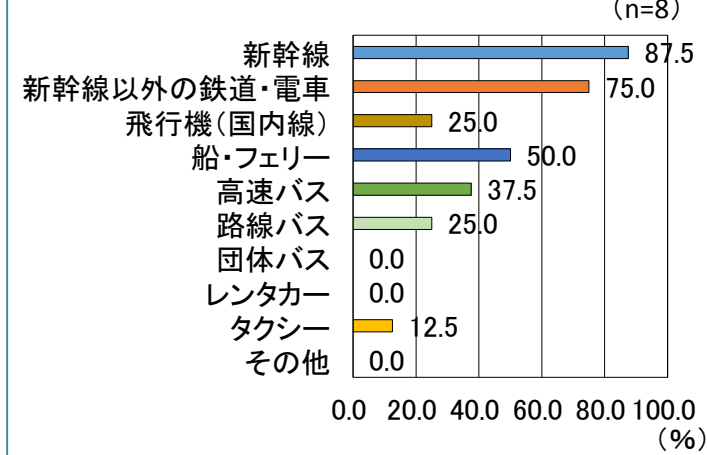


- ↔ 5.0万人～
- ↔ 3.0～4.9万人
- ↔ 1.0～2.9万人
- ↔ 0.5～0.9万人
- ↔ 0.2～0.4万人

単位：万人

注記：各県の入出国空港・港湾について、0.2万人以上（四捨五入後）の動きを表示。空港・港湾の入出国数は重複があることに留意が必要。

図表 4.8.3 国内移動交通手段

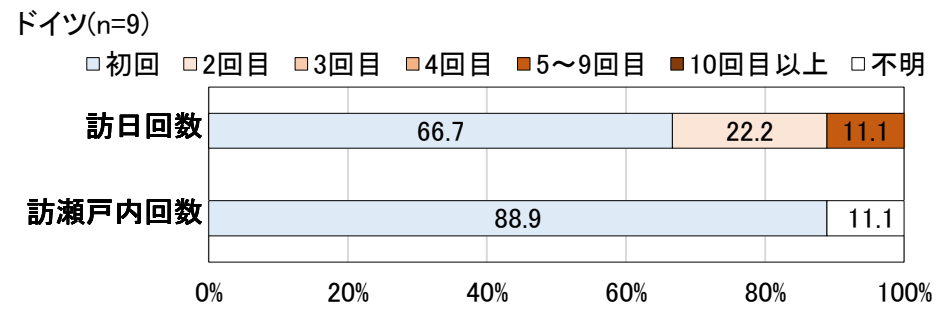


(8) ドイツ ②訪日回数・情報収集場所

サンプル数が少ないため参考データ

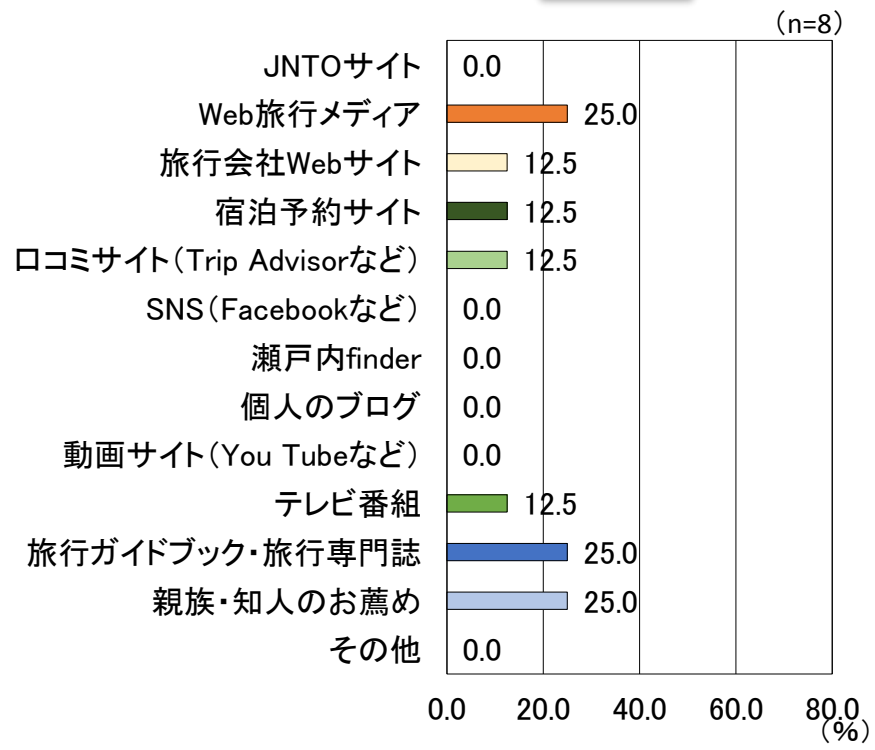
瀬戸内エリアを訪れた観光客に対するアンケート調査によると、初訪日の方が67%と多く、初めて瀬戸内エリアを訪れた人は全体の89%を占めている。
 また、訪日前の情報収集場所は、WEB旅行メディア、旅行ガイドブック、親族・知人が最も多くなっている。訪日後は、口コミサイトの利用による情報収集が多く、案内所の利用は少ない。

図表 4.8.4 訪日回数・訪せとうち回数

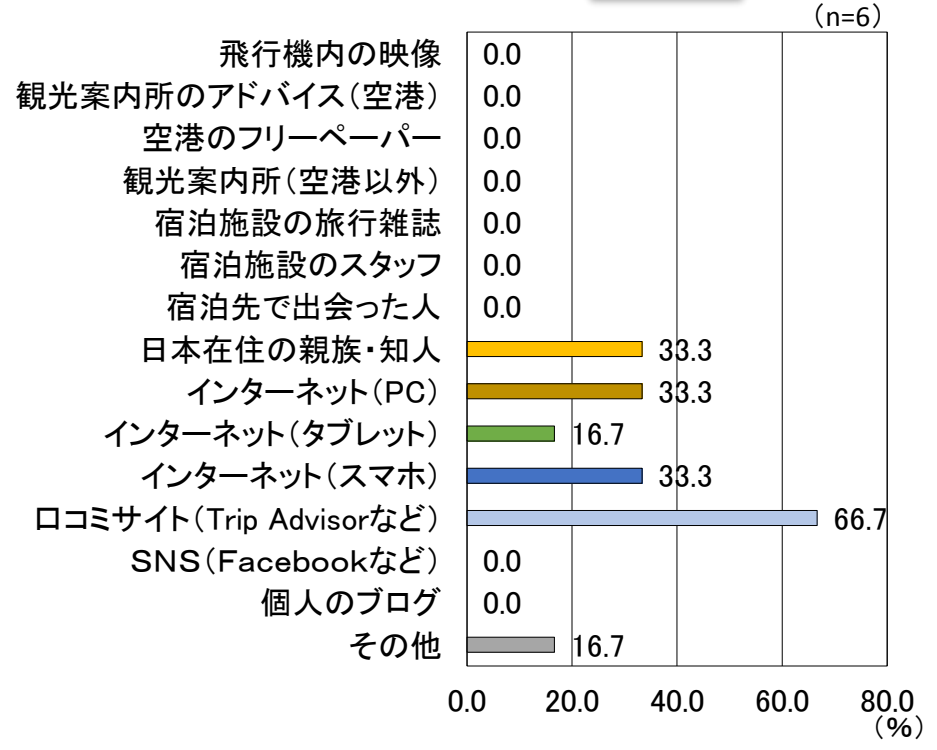


図表 4.8.5 情報収集場所 (アンケート調査結果)

訪日前



訪日後

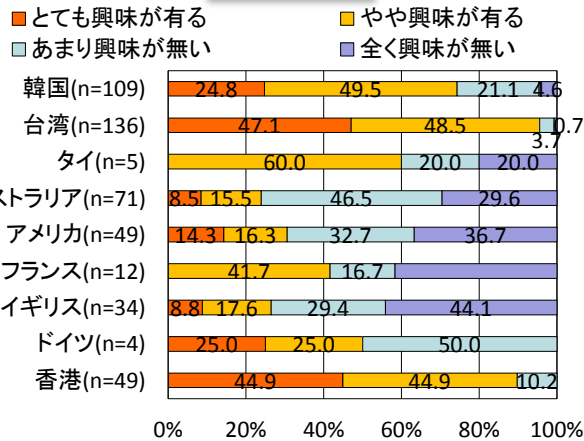


(9) 興味あるテーマ (国別)

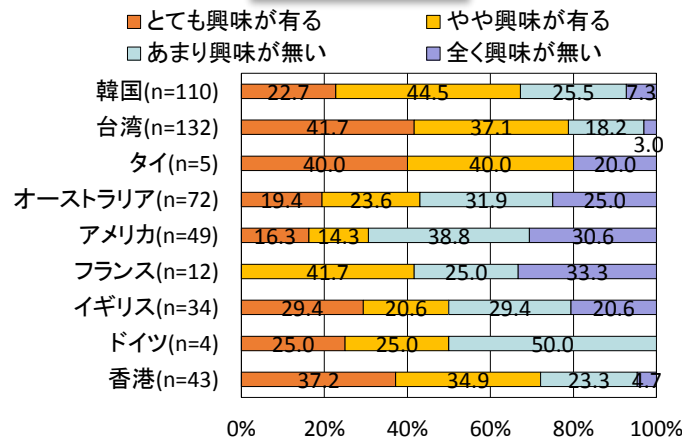
「クルーズ」や「サイクリング」はアジアの興味はあるが、欧米豪の興味は低い。「アート」や「宿泊施設」についても同じ傾向がみられるが、欧米豪の興味は比較的高い。全国籍で高い評価を得ているテーマは「食」であり、瀬戸内エリアの「食」はPRの核となりえる。

図表 4.9.1 6つのテーマに関する国別興味

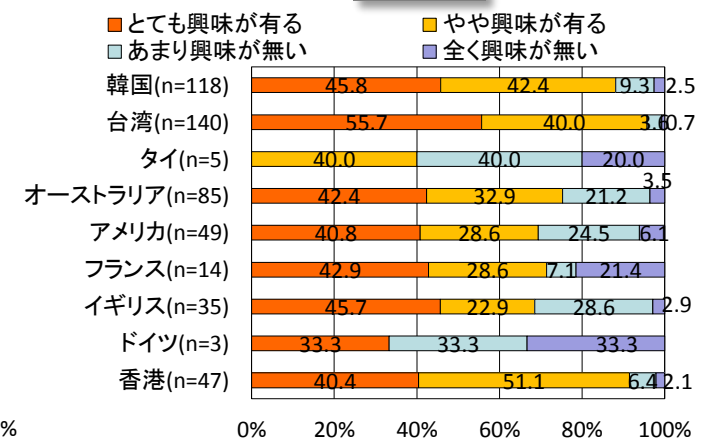
クルーズ



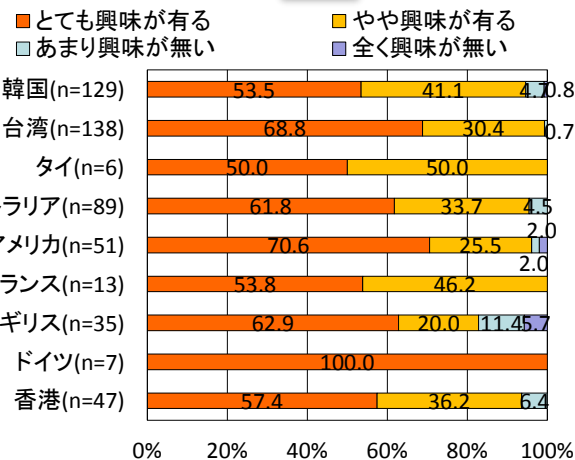
サイクリング



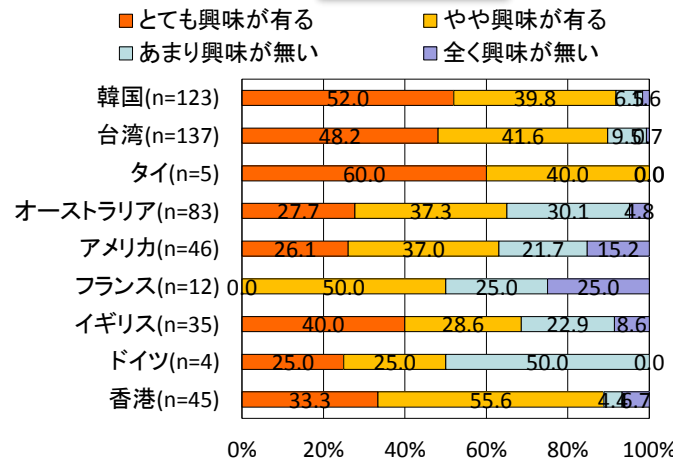
アート



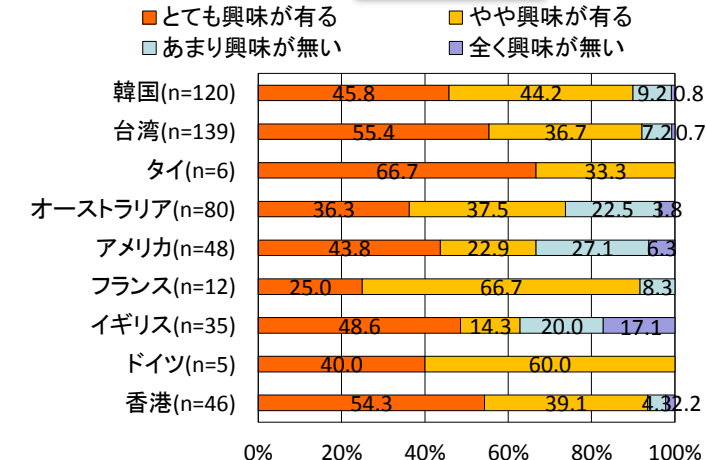
食



宿泊施設



地域産品



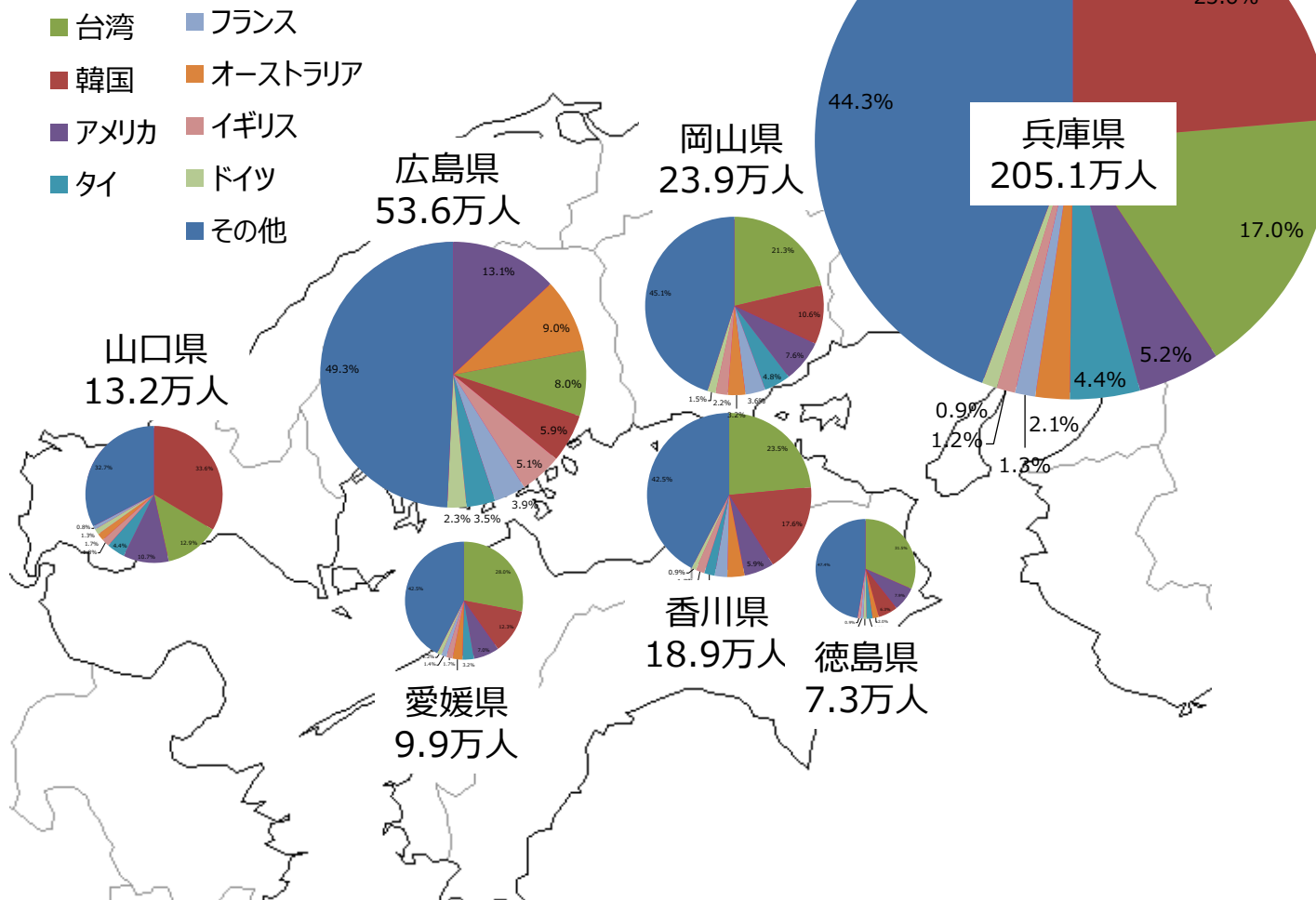
5. 打ち手の検討

- (1) 瀬戸内エリアへの来訪属性からみる課題と方向性
- (2) 瀬戸内エリア周遊に向けた戦略の考え方
- (3) 県別の来訪属性からみる周遊促進の方向性
- (4) 国別の特性からみる周遊促進の方向性

(1) 瀬戸内エリアへの来訪属性からみる課題と方向性

瀬戸内地域の年間外国人来訪者数：3,318,881人

重点8ヶ国外国人来訪者総数：1,838,655人



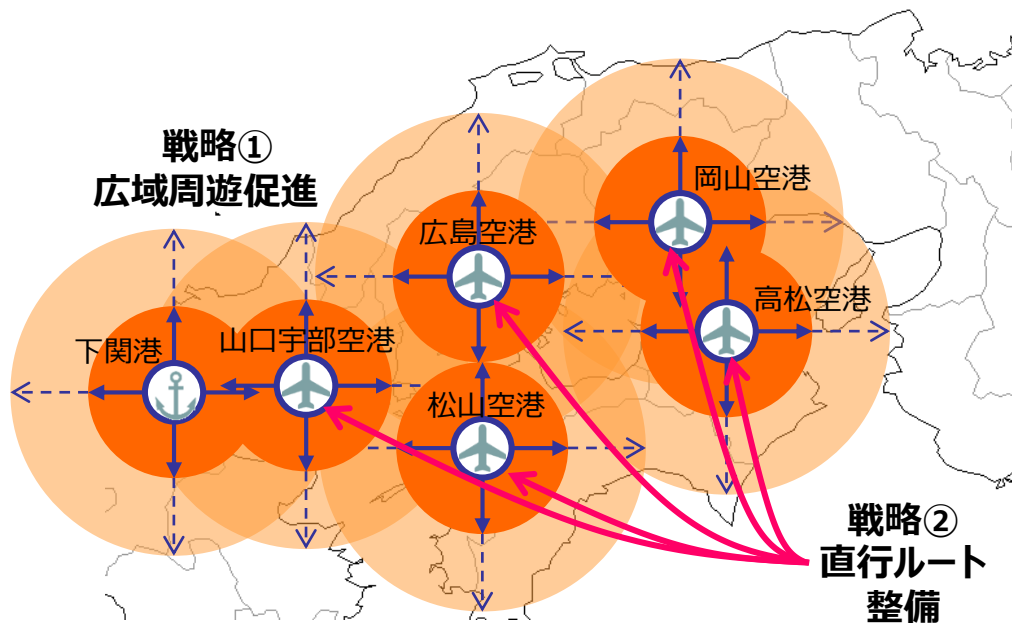
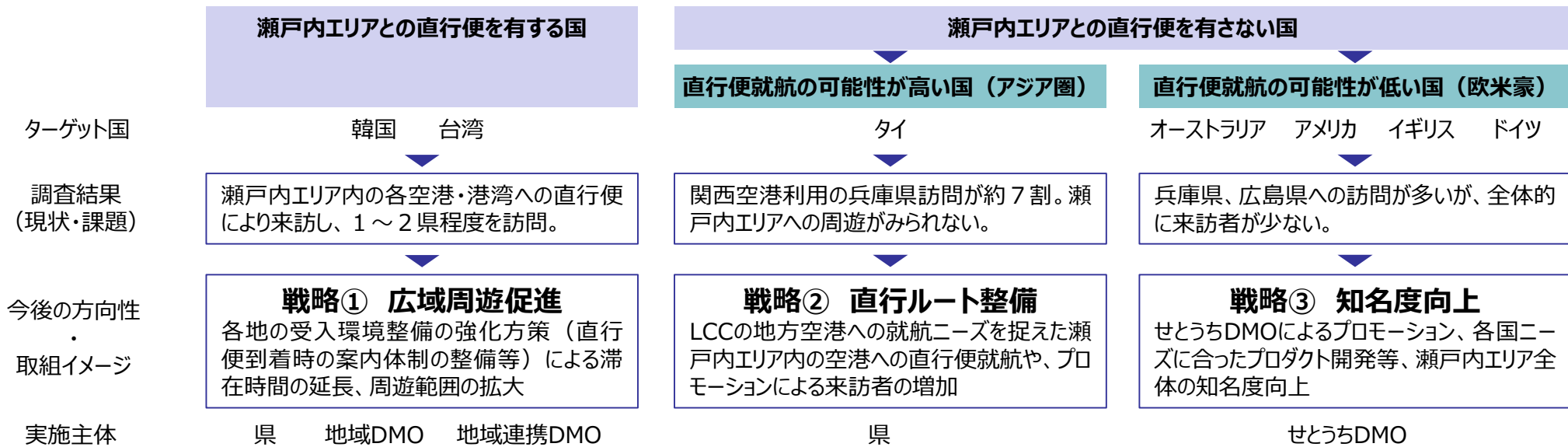
<来訪属性からみる課題>

- ・関西空港利用による関西地域周遊行動がみられ、兵庫県には多くの外国人観光客が訪問しているが、兵庫県から瀬戸内エリアへの周遊に繋がっていない。
- ・「広島」の知名度により広島県には欧米豪を中心に多くの外国人観光客が訪問しているが、瀬戸内エリアへの周遊に繋がっていない。
- ・韓国、台湾から、直行便利用により各県に観光客が訪問しているが、1～2県の周遊に留まっており、瀬戸内エリアへの周遊に繋がっていない。
- ・タイからの観光客は各県とも少ない。

<周遊促進の方向性>

- ・隣接圏域（関西圏、九州圏）からの周遊範囲の拡大を図るため、瀬戸内エリアとしての認知度向上を図るとともに、広域周遊交通パス等交通利便性の確保、各地域の満足度の向上が求められる。
- ・域内空港への直行便利用は、瀬戸内エリアにとって地域内での長い滞在時間が期待できる。直行便の新設・増便、体験プログラムの充実等による各地域での滞在時間の延長、域内交通パス等による周遊範囲の拡大が求められる。

(2) 瀬戸内エリア周遊に向けた戦略の考え方



(3) 県別の来訪属性からみる周遊促進の方向性

	調査結果	瀬戸内エリア周遊に向けた今後の方向性（打ち手）
兵庫県	韓国、台湾を主体に瀬戸内エリアで最も多い外国人観光客の来訪がある。関西圏であり大阪府、京都府との間の流動が主体。神戸地区内周遊は活発であり、滞在時間は比較的長い。	瀬戸内エリアの東の玄関口として、関西圏を訪れた外国人観光客の瀬戸内エリアへの誘客促進が求められる。神戸市、姫路市での案内所機能の充実や神戸市、姫路市を発着する瀬戸内周遊ツアー造成等により、瀬戸内地域への誘客とともに、兵庫県における宿泊、滞在の増加を図る。
岡山県	台湾が最も多く、域内空港利用と関西空港利用がみられる。広域周遊の際の立ち寄り観光地であり、県内での来訪は岡山市と倉敷市の中心部に集中している。	瀬戸内エリアの交通ハブとして、岡山駅を拠点として各県への周遊を進めることにより、岡山市内における宿泊数の増加を図る。また、東南アジアから岡山空港への直行便就航を図る等、岡山空港利用の外国人観光客増加を図る。
広島県	オーストラリア、イギリスは瀬戸内エリアで最も多いなど、欧米豪が主体。そのため、首都圏から高山、金沢、関西圏を経由し広島県を訪れる広域周遊型の観光客が多い。県内では広島と宮島の来訪が多い。	欧米豪からの目的地であることを活かし、広島市内での広域情報提供や広域周遊交通パスの開発等により、広島を訪れた人を瀬戸内エリアへ周遊させる。また、各県へ福山、尾道、大久野島等の県内各地へ広島市からの往復移動がみられていることから、広島市発着の日帰り訪問先情報の拡充により、宿泊数の増加を図る。
山口県	九州から訪れる韓国からの観光客が最も多い。福岡県や大分県を訪れて山口県にも来訪しており、瀬戸内エリアの他県への流動は少ない。	瀬戸内エリアの西の玄関口として、「九州＋瀬戸内」を打ち出したプロモーション等、九州から瀬戸内エリアへの誘客促進が求められる。また、広島県まで訪れた欧米豪の観光客に対し、宿泊施設等でのPRにより、山口県内への周遊促進を図る。
徳島県	高松空港や関西空港利用の台湾からの観光客が主体であるが、全体として瀬戸内エリアの中では外国人観光客数が少ない。	関西空港や大阪市等からのバス便について、外国人割引や周遊パス等、外国人観光客の利便性向上を図る等、関西圏との近接性を活かしアジア系観光客。また、祖谷地区等について瀬戸内エリアを代表する欧米豪向けコンテンツとして整備する。
香川県	直行便を有する台湾、香港が主体であり、瀬戸内エリアを比較的広域に周遊している。また、欧米豪は首都圏から訪れている。	四国の拠点として、高松空港利用による周遊促進を図る。また、直島等、瀬戸内国際芸術祭開催地域について、欧米豪だけでなく、アートの関心が高い台湾、韓国等にもプロモーションを行うことが必要である。
愛媛県	台湾が主となっており、関西空港、高松空港、広島空港の利用がみられる。香川県を訪れた前後で愛媛県を訪れる人が多い。	四国内周遊に加え、しまなみ海道利用、広島からの船利用等、多様な流入経路を活かした広域周遊ルートを形成し、ツアー造成や周遊マップ、交通パス等による広域周遊を図る。

(4) 国別の特性からみる周遊促進の方向性

	入出国・周遊状況	情報源	興味
韓国	直行便利用により1～2県訪問。3～4日程度の行程で広域周遊は見られない。よりテーマ性の高い周遊の誘発が必要。	訪日後の観光案内所利用が多く、直行便の有る空港において、到着便に合わせた韓国語の案内体制整備が必要。	「食」「宿泊施設」への興味が高い。旅行会社利用も多く、韓国の旅行会社に対するそれらの詳細情報提供が必要。
台湾	四国、岡山では最多。域内空港利用と関西空港利用がみられる。域内空港利用の周遊型観光への展開が必要。	訪日後のスマートフォン利用が突出。繁体字スマホアプリ、スマホクーポン等、スマートフォンによる情報発信が必要。	6つのテーマ全てに興味が高く、クルーズやサイクリング等は台湾を対象に誘客を図ることが望まれる。
タイ	関西空港利用の兵庫県訪問が約7割。瀬戸内エリアへの周遊がみられない。直行便誘致、認知度向上等、誘客基盤が必要。	旅行ガイドブックやWEB旅行メディア等、メディアを活用した情報発信が効果的。タイからのメディアファムが必要。	「地域産品」の興味が高い。瀬戸内エリアの産品についてテストマーケティングを行い、ニーズに合う産品の情報発信が必要。
オーストラリア	広島県、兵庫県を訪れており、それ以外への訪問は少ない。広島、兵庫から四国への誘客促進が必要。	案内所の利用が少なく、親族、知人、口コミを情報源としている。来訪者の満足度を高めて、口コミを誘発することが必要。	クルーズやサイクリングニーズは少なく、「食」への関心が高い。瀬戸内の「食」による誘客が必要。
アメリカ	兵庫県、広島県への訪問が多く、成田・羽田空港利用の広域周遊型が多い。瀬戸内エリア全体の周遊促進が必要。	親族・知人を情報源とする人が多く、在住者や訪日経験者の口コミが重要。在住者向けモニターツアー等も有効。	オーストラリアと同様に、クルーズやサイクリングニーズは少なく、「食」への関心が高い。瀬戸内の「食」による誘客が必要。
フランス	兵庫県、広島県への訪問が多いが、全体的に来訪者が少ない。瀬戸内エリアの認知度向上が最重要。	親族・知人を情報源とする人が多く、在住者や訪日経験者の口コミが重要。口コミサイトとタイアップしたPR等が必要。	「アート」や「地域産品」への関心がみられる。現代アートや歴史的建造物等、テーマに沿った情報提供が必要。
イギリス	広島県、兵庫県を訪れており、それ以外への訪問は少ない。広島、兵庫から四国への誘客促進が必要。	案内所の利用が少なく、親族、知人、口コミを情報源としている。来訪者の満足度を高めて、口コミを誘発することが必要。	オーストラリアと同様に、クルーズやサイクリングニーズは少なく、「食」への関心が高い。瀬戸内の「食」による誘客が必要。
ドイツ	日本を周遊している中で、広島県、兵庫県を訪れている。瀬戸内エリアの認知度向上が最重要。	口コミサイト利用が多い。各地域の「おもてなし」により来訪者の満足度を高めていくことが重要。	6つのテーマの中では「食」への関心が高い。瀬戸内の「食」による誘客が必要。